

平成 24 年（2012 年）
運動・スポーツに関するアンケート調査
報 告 書

西宮市教育委員会

- 目 次 -

1 . 調査概要	1
〔 1 〕 調査の目的	1
〔 2 〕 調査項目	1
〔 3 〕 調査方法	1
〔 4 〕 回収結果	1
〔 5 〕 調査結果の見方	2
2 . 調査結果の概要	3
3 . 調査結果の内容	7
〔 1 〕 回答者の属性	7
〔 2 〕 健康状態	12
〔 3 〕 運動・スポーツに対する関心	14
〔 4 〕 学生時代のクラブ・サークル活動	16
〔 5 〕 普段の運動・スポーツの頻度	18
〔 6 〕 運動・スポーツをする理由	21
〔 7 〕 一緒に運動・スポーツをする相手	24
〔 8 〕 運動・スポーツをする場所	27
〔 9 〕 関心のある運動・スポーツの種目	31
〔 10 〕 新しい種目をはじめられない理由	40
〔 11 〕 スポーツクラブ 2 1 の認知度	43
〔 12 〕 今後、運動・スポーツに関して望むこと	45
〔 13 〕 運動・スポーツに関わるボランティア活動	48
〔 14 〕 障害者の運動・スポーツの普及・振興のために必要なこと	53
〔 15 〕 利用したことがある施設	55
〔 16 〕 中央体育館に対する評価	61
〔 17 〕 市立体育施設の利用目的	77
〔 18 〕 希望する施設内容	80

1 . 調査概要

〔 1 〕 調査の目的

本調査は、市民のふだんの運動・スポーツへの取組み状況やニーズ等を把握するとともに、その結果を踏まえ、スポーツ推進に関する基本的な考え方や主な施策の方向性を示す「スポーツ推進計画」を策定するための基礎資料として活用することを目的に実施した。

〔 2 〕 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 健康状態
- (3) 運動・スポーツに対する関心
- (4) 学生時代のクラブ・サークル活動
- (5) 普段の運動・スポーツの頻度
- (6) 運動・スポーツをする理由
- (7) 一緒に運動・スポーツをする相手
- (8) 運動・スポーツをする場所
- (9) 関心のある運動・スポーツの種目
- (10) 新しい種目をはじめられない理由
- (11) スポーツ 2 1 の認知度
- (12) 今後、運動・スポーツに関して望むこと
- (13) 運動・スポーツに関わるボランティア活動
- (14) 障害者の運動・スポーツの普及・振興のために必要なこと
- (15) 利用したことがある施設
- (16) 中央体育館に対する評価
- (17) 市立体育施設の利用目的
- (18) 希望する施設内容

〔 3 〕 調査方法

- (1) 調査地域 : 本市全域
- (2) 調査対象者 : 本市にお住まいの20歳以上80歳未満の方
- (3) 標本数 : 3,675人
- (4) 抽出方法 : 本市お住まいの20歳以上の方から無作為抽出
- (5) 調査期間 : 平成24年2月29日～3月31日
- (6) 調査方法 : アンケート方式(郵送による配布・回収) 及び、WEB方式

〔 4 〕 回収結果

- (1) 調査票配布数 : 3,675件
- (2) 有効回収数 : 1,385件 (郵送による回答・1,348件、Webによる回答・37件)
- (3) 有効回収率 : 37.7%

〔 5 〕 調査結果の見方

- (1) 本調査結果は、それぞれ配布した調査票の設問に沿う形で構成している。
- (2) 回答結果は、全有効サンプル数に対するそれぞれの割合を、小数第 2 位を四捨五入して示している。
- (3) 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- (4) 図表中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問である。
 - ・ M A % (Multiple Answer): 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 2 L A % (2 Limited Answer): 回答選択肢の中からあてはまるものを 2 つ以内で選択する場合
 - ・ 3 L A % (3 Limited Answer): 回答選択肢の中からあてはまるものを 3 つ以内で選択する場合
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていないもの又は回答の判別が著しく困難なものである。
- (6) グラフおよび表の n 数 (number of case) は、有効標本数 (集計対象者総数) を表している。
- (7) 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合がある。
- (8) その他回答の内容について記述があるものは、各設問に図表とともに併記している。
- (9) 設問の一部については、平成18年度に実施した調査の数値と対比するかたちでグラフを作成している。その場合、グラフには「今回」「前回」と表記している。
 - ・「今回」: 今年度実施の調査（郵送による回答・1,348件、Webによる回答・37件）
 - ・「前回」: 平成18年度実施の調査（20歳以上の市民3,500人を対象に郵送方法により実施。有効回収数2,060件 / 有効回収率58.9%）

2. 調査結果の概要

〔1〕回答者の属性

性別については、「女性」が52.0%に対し、「男性」は43.0%となっている。

年齢については、「40歳～49歳」が19.5%で最も多く、次いで「60歳～69歳」が19.4%、「30歳～39歳」が19.2%となっている。

同居者の有無については、「配偶者」が61.8%で最も多く、次いで「子ども」が45.3%となっている。世帯構成をみると、「子どもがいる世帯」(45.3%)が最も多く、次いで「配偶者と2人暮らし世帯」(25.5%)、「1人暮らし世帯」(14.7%)となっている。

同居している子どもについては、「子どもはいない」が32.3%で最も多く、次いで「学校に通う子どもがいる」が19.4%、「社会人の子どもがいる」が17.0%となっている

就業形態については、「正社員・フルタイム」が37.3%で最も多く、次いで「年金受給者」が18.8%、「専業主婦・主夫」が13.8%、「パート・アルバイト」が13.1%となっている。

勤め人(自営業含む)は全体の56.5%に対し、無職・その他(年金受給者・学生含む)は39.7%となっている。

居住地区については、「市役所」が40.1%で最も多く、次いで「鳴尾支所」が21.9%、「甲東支所」が13.3%となっている。

居住年数については、「20年以上」が52.6%と過半数を占めて最も多く、次いで「3～11年未満」が19.6%、「11～20年未満」が17.0%となっている。

〔2〕健康状態

健康状態については、「健康である」が68.1%を占め、「あまり健康ではない」「健康ではない」では10.3%となっている。年齢別でみると、「健康である」「まあ健康である」が高齢になるほど割合が低下し、70歳以上では「あまり健康ではない」「健康ではない」が24.0%を占めている。

〔3〕運動・スポーツに対する関心

運動・スポーツに対する関心については、「とても関心がある」「関心がある」は73.1%に対し、「あまり関心がない」「全く関心がない」では11.8%となっている。性別でみると、男女とも「とても関心がある」「関心がある」が過半数を占め、男性のほうの割合が高い。一方、「あまり関心がない」「全く関心がない」の割合は、女性のほうが高い。

〔4〕学生時代のクラブ・サークル活動

学生時代のクラブ・サークル活動については、「3～6年未満」が27.7%で最も多く、次いで「していない」が24.8%、「6年以上」が24.2%、「3年未満」が22.6%となっている。

性別でみると、男性は「6年以上」(34.1%)が最も多いのに対し、女性では「していない」(30.8%)が最も多くなっている。

〔5〕普段の運動・スポーツの頻度

普段の運動・スポーツの頻度については、「全くしていない」が33.4%で最も多い。年に数回以上運動をしている人の割合65.4%のうち、「週に1～2回」が20.4%で最も多く、次いで「年に数回」が16.5%、「月に1～3回」は12.6%となっている。年齢別でみると、いずれの年代も「全くしていない」が3割台で最も多い。世帯構成別では、いずれの世帯構成も「全くしていない」が最も多いが、配偶者と2人暮らし世帯では、年に数回以上運動・スポーツをしている割合が7割台を占めている。就労有無別でみると、週1回以上運動・スポーツをしている人の割合は、勤め人（31.2%）より無職・学生・その他（42.3%）のほうが高くなっている。

〔6〕運動・スポーツをする理由

運動・スポーツをする理由については、「健康・体力づくりのため」が66.0%で最も多く、次いで「楽しみや気晴らしのため」が51.6%、「運動不足を感じるため」が50.1%と続いている。年齢別でみると、「楽しみや気晴らしのため」が高齢になるほど低下し、「健康・体力づくりのため」が30歳以上の年代で最も多い。世帯構成別でみると、「健康・体力づくりのため」は、1人暮らし世帯と配偶者と2人暮らし世帯が7割台と高い。また、子どもがいる世帯は「運動不足を感じるため」（54.1%）の割合が高くなっている。運動・スポーツの頻度別でみると、月1回以上運動・スポーツをしている人は「健康・体力づくりのため」が最も多い。

〔7〕一緒に運動・スポーツをする相手

一緒に運動・スポーツをする相手は、「1人」が50.8%で最も多く、次いで「家族・親戚」が25.4%となっている。世帯構成別でみると、いずれの世帯も「1人」が5割前後で最も多く、1人暮らし世帯では「クラブ・サークルの仲間」（27.2%）、「学校・職場以外の友人・知人」（26.4%）が、配偶者と2人暮らし世帯と子どもがいる世帯では「家族・親戚」が多くなっている。また、普段、運動・スポーツの頻度の高い人ほど「1人」の割合が高く、頻度が低い人ほど「家族・親戚」や「学校・職場の友人・知人」の割合が高い。

〔8〕運動・スポーツをする場所

運動・スポーツをする場所については、「緑地公園、海浜公園、河川敷」が37.3%で最も多く、次いで「自宅（室内・庭など）」が21.9%、「民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ」が21.5%と続いている。

〔9〕関心のある運動・スポーツの種目

過去1年間に行った種目は、「散歩（ぶらぶら歩き）」が56.7%で最も多く、次いで「ウォーキング」が40.6%、「体操（健康体操含む）・ストレッチ・太極拳」が21.4%と続いている。

年齢別でみると、いずれの年代も「散歩（ぶらぶら歩き）」が最も多いが、高齢になるほど低下し、「ウォーキング」が上昇している。性別・世代に関係なく、“歩くこと”が運動の主流となっている。普段の運動・スポーツの頻度別でみると、週3回以上運動する人は「ウォーキング」、週2回以下運動する人または全くしていない人では「散歩（ぶらぶら歩

き)」が最も多い。

今後、はじめてみたい種目については、「水泳・水中運動(アクアビクス)」と「ヨガ・ピラティス」がともに16.0%で最も多く、次いで「登山・ハイキング・キャンプなど野外活動」が14.7%と続いている。

〔10〕新しい種目をはじめられない理由

新しい種目をはじめられない理由は、「時間がない」が58.9%で最も多く、次いで「身近で実施できる施設がない」が26.9%、「経済的に余裕がない」が23.4%と続いている。年齢別でみると、70歳以上は「高齢のため」が最も多く、それ以下の年代は「時間がない」が最も多いが、高齢になるほど割合が低下している。また、若い年代ほど「経済的に余裕がない」の割合が高い。世帯構成別では、「時間がない」は、子どもがいる世帯で65.1%と高くなっている。就労有無別でも「時間がない」が最も多いが、無職・学生・その他(41.8%)より勤め人(69.6%)のほうが高く、「経済的に余裕がない」でも無職・学生・その他(19.1%)より勤め人(25.5%)のほうが高い。

〔11〕スポーツクラブ21の認知度

スポーツクラブ21を「知らない・わからない」が53.2%と過半数を占めて最も多く、次いで「参加したことはないが、知っている」が34.5%、「参加している・参加したことがある」が9.2%となっている。性別でみると、「参加している・参加したことがある」、「参加したことはないが、知っている」は、女性の割合のほうが高い。

〔12〕今後、運動・スポーツに関して望むこと

今後、運動・スポーツに関して望むことは、「気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい」が61.7%で最も多く、次いで「スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい」(25.9%)と「体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など)」(25.7%)、「気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい」(25.2%)となっている。居住地区別でみると、いずれの地区も「気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい」が最も多い。

〔13〕運動・スポーツに関わるボランティア活動

ボランティア活動の参加状況については、「参加したことがなく、今後行う予定はない」が69.7%で最も多く、次いで「参加していないが今後、行いたい」(18.2%)が多くなっている。一方、「参加したことがあり、今後行う予定」と「参加したが、今後、行う予定はない」を合わせた割合(6.8%)は1割にも満たない。

ボランティア活動内容については、「地域のスポーツイベントの運営や運営補助」が16.3%で最も多く、次いで「国際的・全国的なスポーツイベントの運営や運営補助」が8.4%、「日常的なスポーツの指導・審判」が6.9%となっている。ボランティア活動の参加状況別でみると、参加状況に関わらず「地域のスポーツイベントの運営や運営補助」が最も多い。

〔14〕 障害者の運動・スポーツの普及・振興のために必要なこと

障害者の運動・スポーツの普及・振興のために必要なことについては、「既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する」が46.9%で最も多く、次いで「障害者スポーツを支えるボランティアを養成する」が29.9%、「障害者スポーツ指導員等の養成を行う」が25.7%と続いている。

〔15〕 利用したことがある施設

体育施設を「利用したことはない」が、いずれの施設も過半数を占めている。一方、利用したことがある施設は、いずれも「市内の公立施設」が最も多く、なかでも体育館（屋内施設）が25.3%で最も高くなっている。

〔16〕 中央体育館に対する評価

中央体育館に対する評価をみると、“交通の便が良い”では「そう思わない」、「あまりそう思わない」をあわせた割合が43.0%となっている。それ以外の項目では「どちらとも言えない」が最も多く、いずれも「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合（評価する意見）より「そう思わない」、「あまりそう思わない」をあわせた割合（評価しない意見）の割合のほうが高い。

〔17〕 市立体育館の利用目的

市立体育施設の利用目的については、「健康や体力の維持・増進のため」が60.1%で最も多く、次いで「運動することが好きなため（趣味・余暇活動）」が18.8%、「試合・大会を観覧するため」が14.3%と続いている。居住地区別でみると、いずれの地区も「健康や体力の維持・増進のため」が最も多い。

〔18〕 希望する施設内容

市立体育館にあると良い施設については、「プール」が49.0%で最も多く、次いで「トレーニングルーム」が45.1%、「リラクゼーション機能（風呂など）」が40.5%、「カフェ・レストラン」が34.6%と続いている。

体育館以外にあれば良い施設については、「多目的運動場」が45.5%で最も多く、次いで「テニスコート」が22.8%、「サッカー場」が12.4%、「野球場」が11.2%と続いている。

3. 調査結果の内容

〔1〕回答者の属性

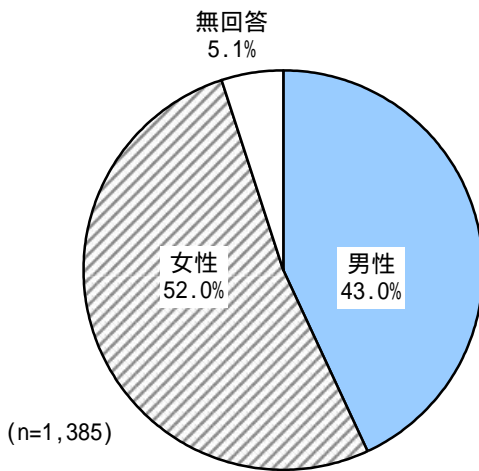
(1) 性別

回答者の性別については、「女性」が52.0%に対し、「男性」は43.0%となっている。(図1-1)

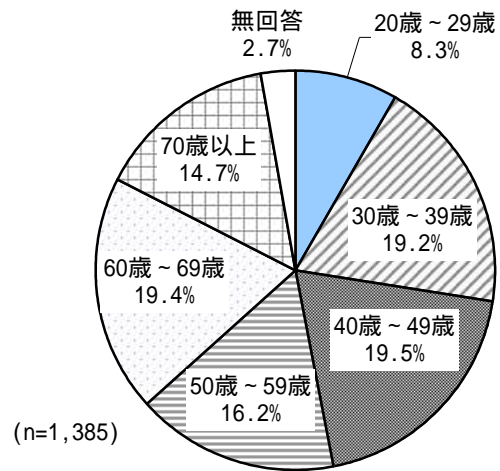
(2) 年齢

回答者の年齢については、「40歳～49歳」が19.5%で最も多く、次いで「60歳～69歳」が19.4%、「30歳～39歳」が19.2%となっている。(図1-2)

【図1-1 性別】

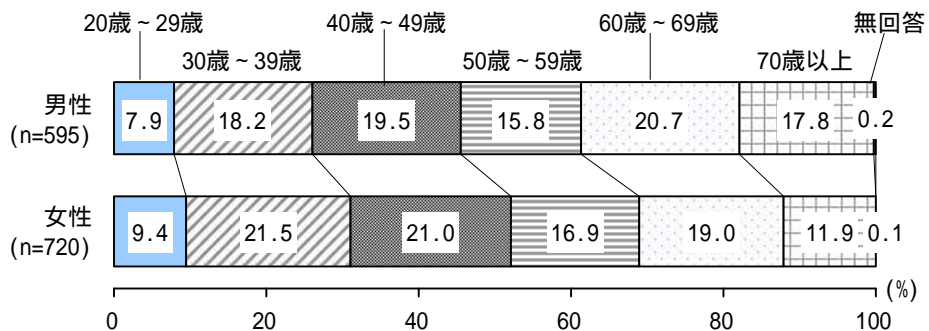


【図1-2 年齢】



年齢を性別で見ると、男性は「60歳～69歳」(20.7%)、女性は「30歳～39歳」(21.5%)が最も多くなっており、女性は20歳～59歳の年代で男性より多く、男性は60歳以上の年代が女性より多くなっている。(図1-2-1)

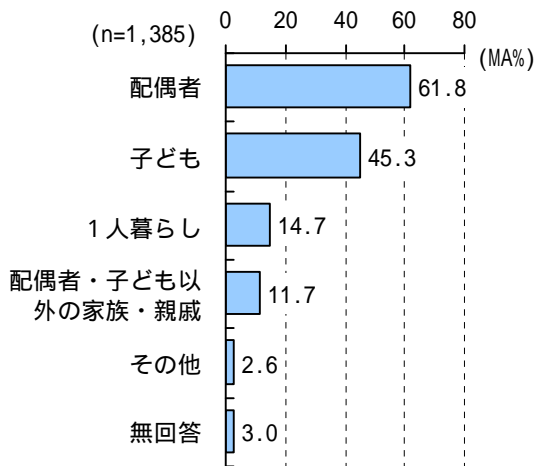
【図1-2-1 性別 年齢】



(3 -) 同居者の有無

同居者の有無については、「配偶者」が61.8%で最も多く、次いで「子ども」が45.3%となっており、「1人暮らし」は14.7%となっている。(図1-3-)

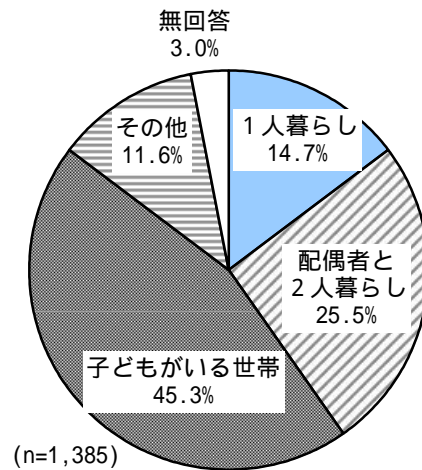
【図1-3- 同居者の有無】



(3 -) 世帯構成

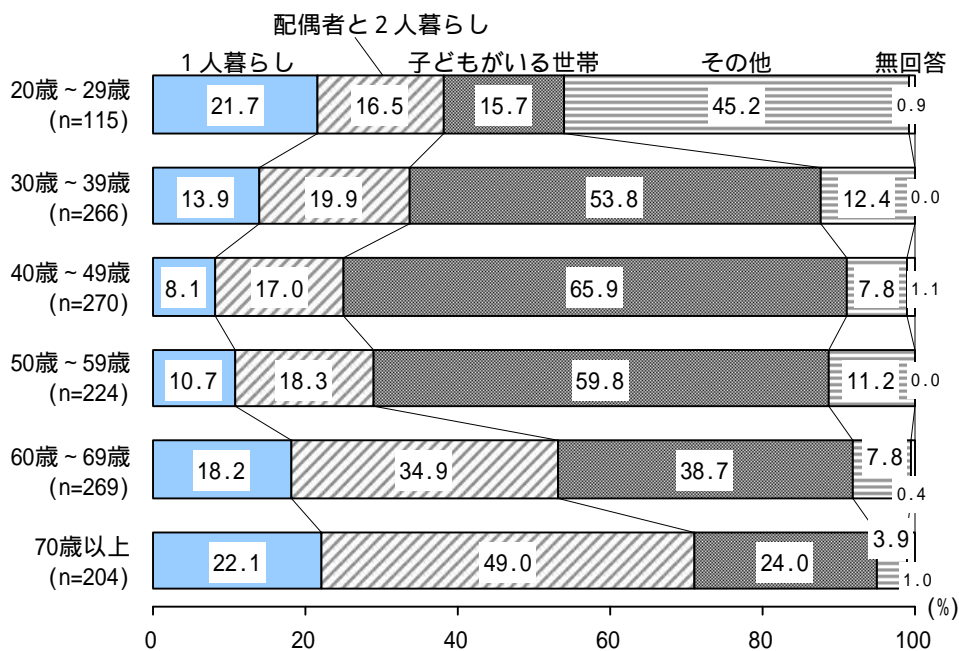
同居者の有無から世帯構成をみると、「子どもがいる世帯」が45.3%で最も多く、次いで「配偶者と2人暮らし」が25.5%、「1人暮らし」が14.7%となっている。(図1-3-)

【図1-3- 世帯構成】



世帯構成を年齢別で見ると、20歳～29歳では「その他」(45.2%)が最も多く、「配偶者・子ども以外の家族・親戚」との同居が多い。30歳～69歳の年代では「子どものいる世帯」が最も多くなっているが、高齢になるほど割合が低くなっている。逆に、高齢になるほど「配偶者と2人暮らし」の割合が高くなり、70歳以上では49.0%で最も多くなっている。(図1-3- -1)

【図1-3- -1 年齢別 世帯構成】

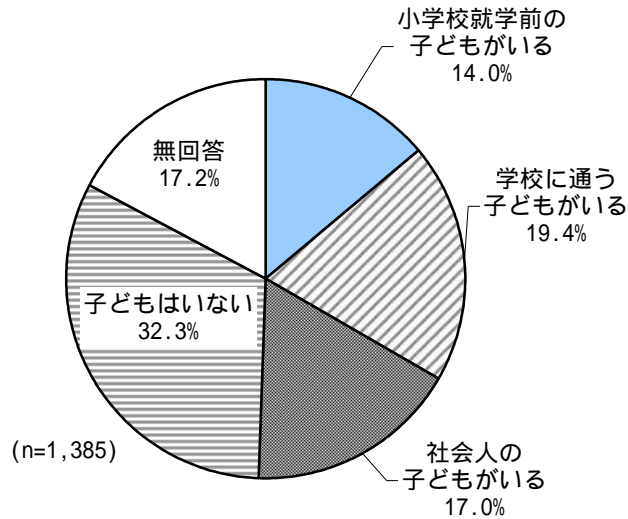


(4) 同居している子ども

同居している子どもについては、「子どもはいない」が32.3%で最も多く、次いで「学校に通う子どもがいる」が19.4%、「社会人の子どもがいる」が17.0%となっている。

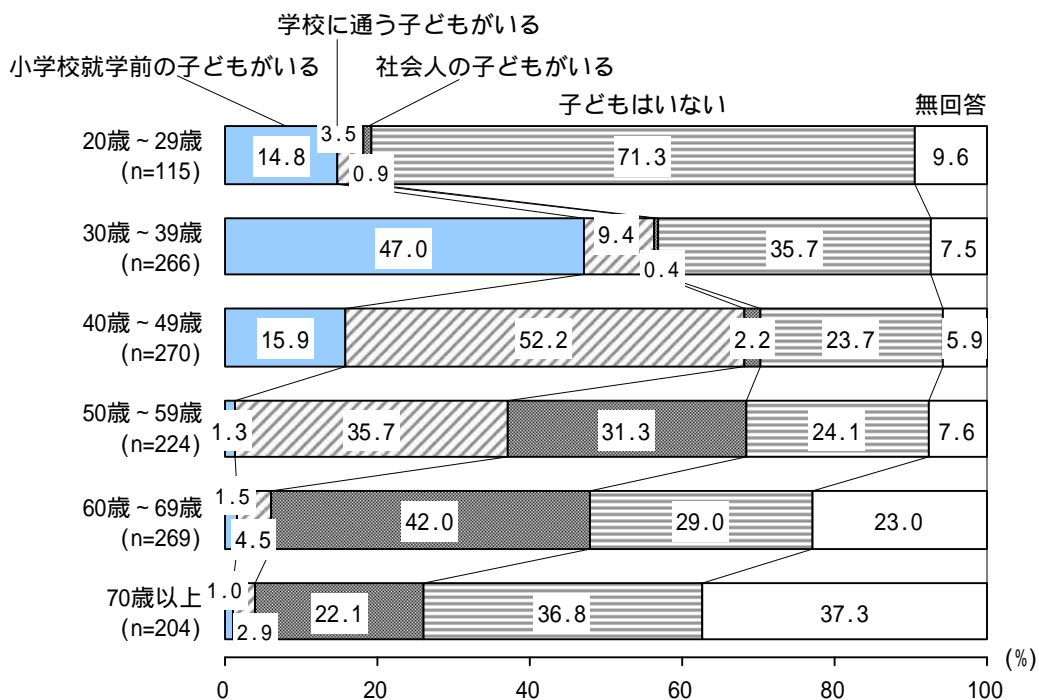
(図1-4)

【図1-4 同居している子ども】



同居している子どもについて年齢別でみると、20歳～29歳は「子どもはいない」(71.3%)、30歳～39歳では「小学校就学前の子どもがいる」(47.0%)、40歳～49歳では「学校に通う子どもがいる」(52.2%)が、それぞれ最も多くなっている。50歳～59歳は「学校に通う子どもがいる」(35.7%)と「社会人の子どもがいる」(31.3%)が3割台を占めており、60歳～69歳では「社会人の子どもがいる」(42.0%)、70歳以上は「子どもはいない」(36.8%)が最も多くなっている。(図1-4-1)

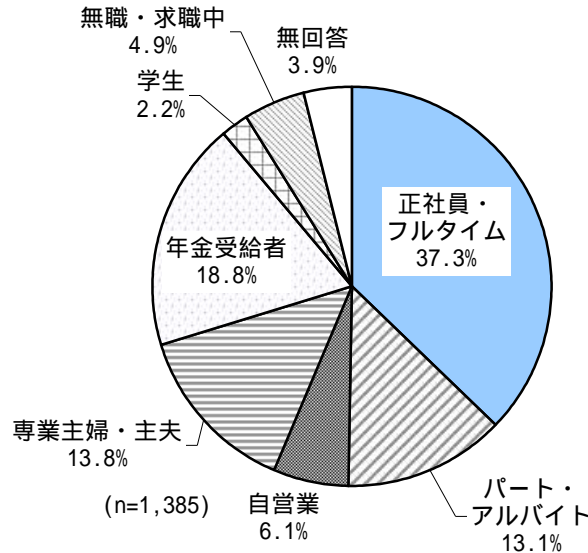
【図1-4-1 年齢別 同居している子ども】



(5) 就業形態

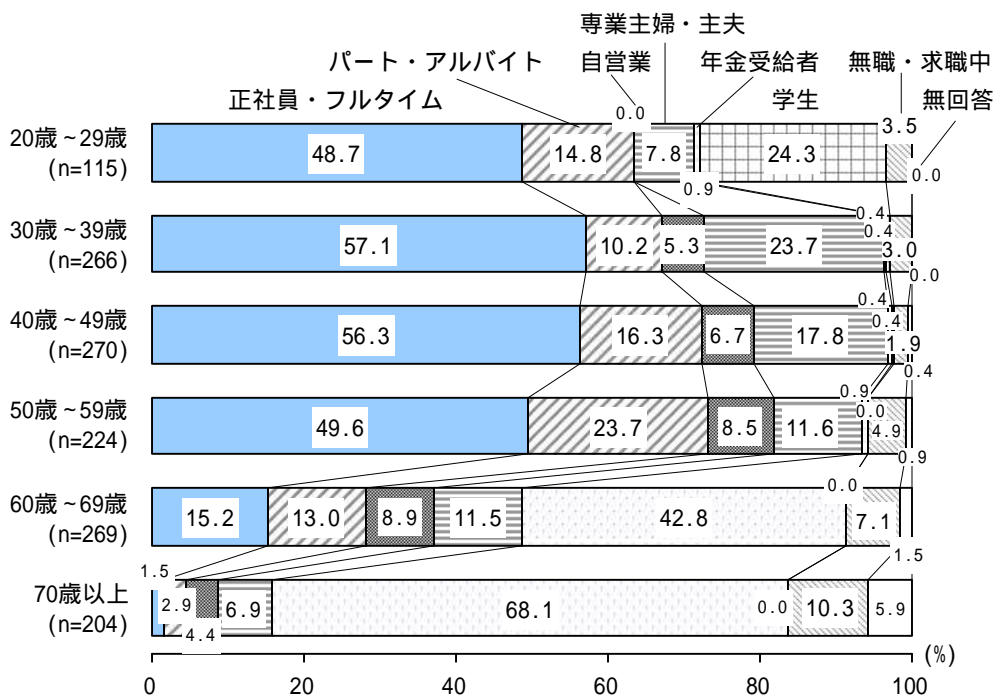
就業形態については、「正社員・フルタイム」が37.3%で最も多く、次いで「年金受給者」が18.8%、「専業主婦・主夫」が13.8%、「パート・アルバイト」が13.1%となっている。勤め人（自営業含む）は全体の56.5%に対し、無職・その他（年金受給者・学生含む）は39.7%となっている。（図1-5）

【図1-5 就業形態】



就業形態を年齢別で見ると、20歳～59歳の年代は「正社員・フルタイム」が5割前後を占めて最も多くなっている。また、20歳～29歳は「学生」(24.3%)、30歳～39歳は「専業主婦・主夫」(23.7%)、50歳～59歳では「パート・アルバイト」(23.7%)が、それぞれの年代と比べ高い。60歳以上の年代になると「年金受給者」の割合が高くなり、70歳以上では68.1%となっている。（図1-5-1）

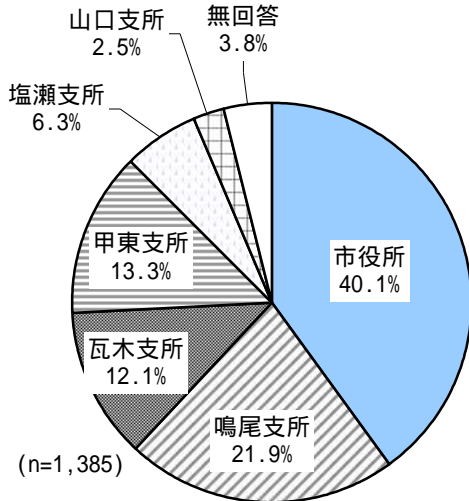
【図1-5-1 年齢別 就業形態】



(6) 居住地区

居住地区については、「市役所」が40.1%で最も多く、次いで「鳴尾支所」が21.9%、「甲東支所」が13.3%となっている。(図1-6)

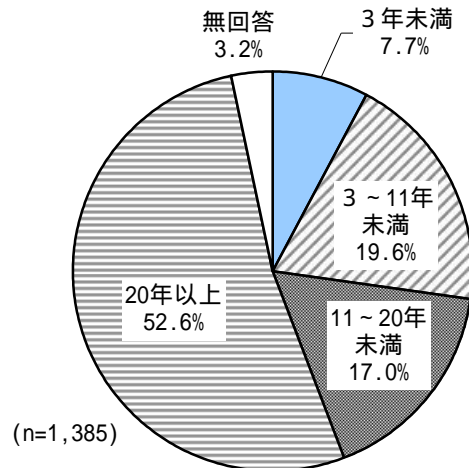
【図1-6 居住地区】



(7) 居住年数

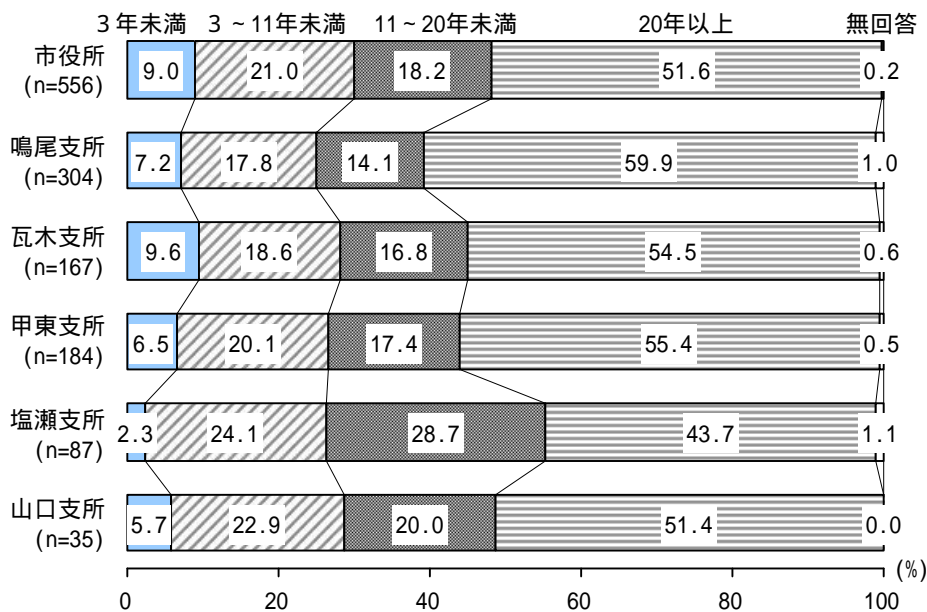
居住年数については、「20年以上」が52.6%と過半数を占めて最も多く、次いで「3～11年未満」が19.6%、「11～20年未満」が17.0%となっている。(図1-7)

【図1-7 居住年数】



居住年数を居住地区別で見ると、いずれの地区も「20年以上」が最も多く、なかでも鳴尾支所は59.9%と高くなっている。また、塩瀬支所では「3～11年未満」(24.1%)と「11～20年未満」(28.7%)が他の地区に比べ高い割合になっている。(図1-7-1)

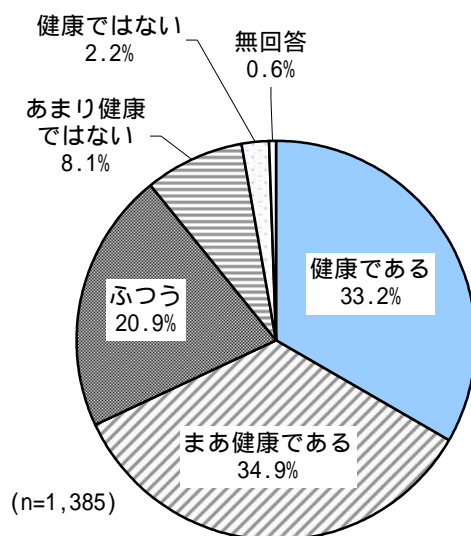
【図1-7-1 居住地区別 居住年数】



〔 2 〕 健康状態

問1 あなたご自身の健康状態についてご回答下さい。
該当する番号1つに 印をつけて下さい。

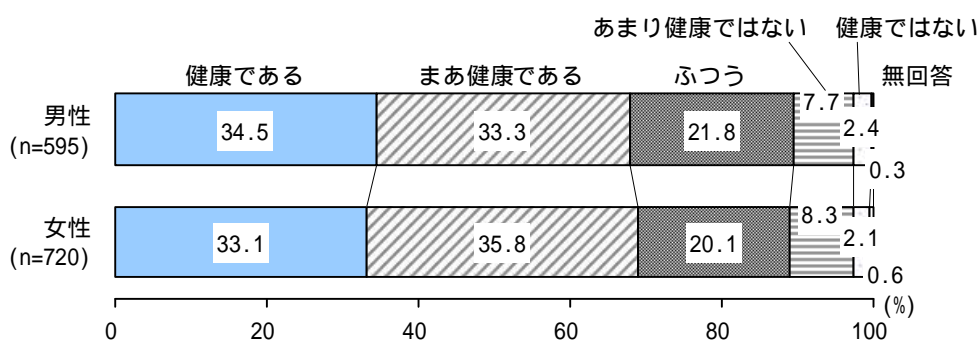
【図2-1 健康状態】



健康状態については、「まあ健康である」が34.9%で最も多く、次いで「健康である」(33.2%)が多くなっており、これらを合わせた合計は68.1%を占めている。一方、「あまり健康ではない」と「健康ではない」を合わせた割合では10.3%となっている。(図2-1)

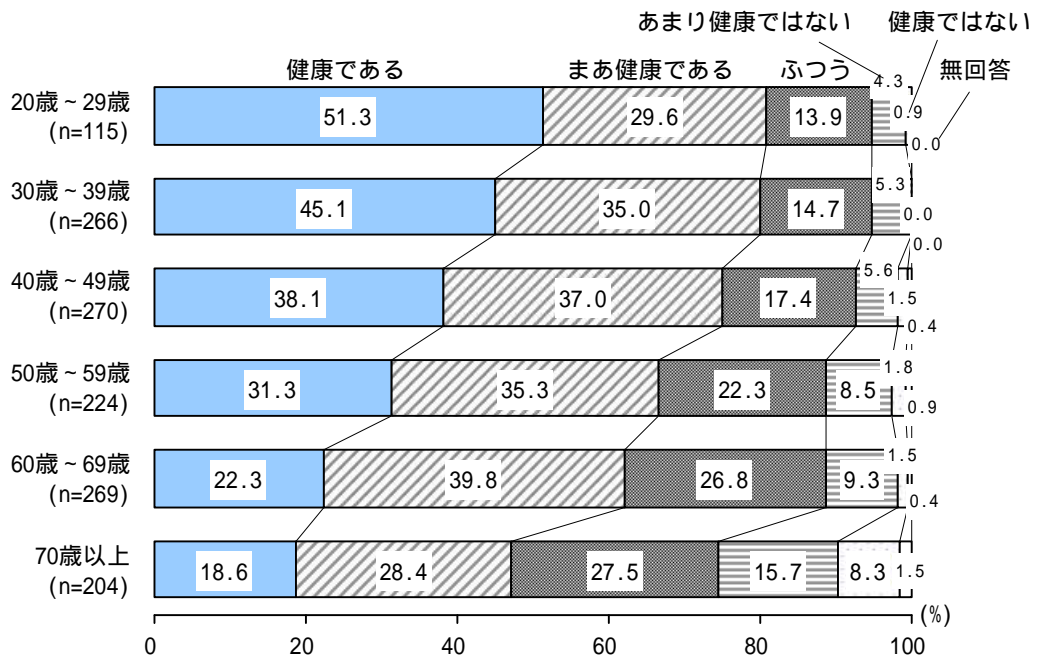
性別でみると、男女にほとんど差はなく、「健康である」、「まあ健康である」が7割弱を占めている。(図2-1-1)

【図2-1-1 性別 健康状態】



年齢別でみると、20歳～29歳では「健康である」(51.3%)が過半数を占め、「健康である」、「まあ健康である」は80.9%と最も高くなっている。しかし、高齢になるほど割合が低下し、70歳以上では47.0%となり、「あまり健康ではない」、「健康ではない」が24.0%を占めている。(図2-1-2)

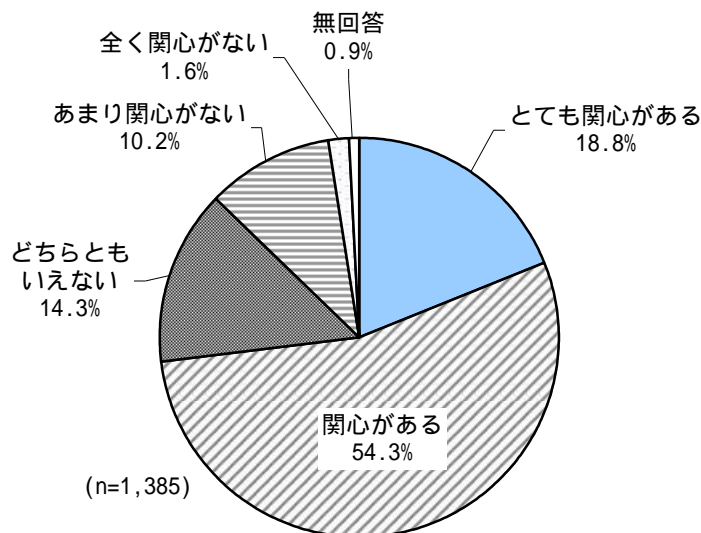
【図2-1-2 年齢別 健康状態】



〔 3 〕 運動・スポーツに対する関心

問2 あなたは運動・スポーツに関心がありますか。
該当する番号1つに 印をつけて下さい。

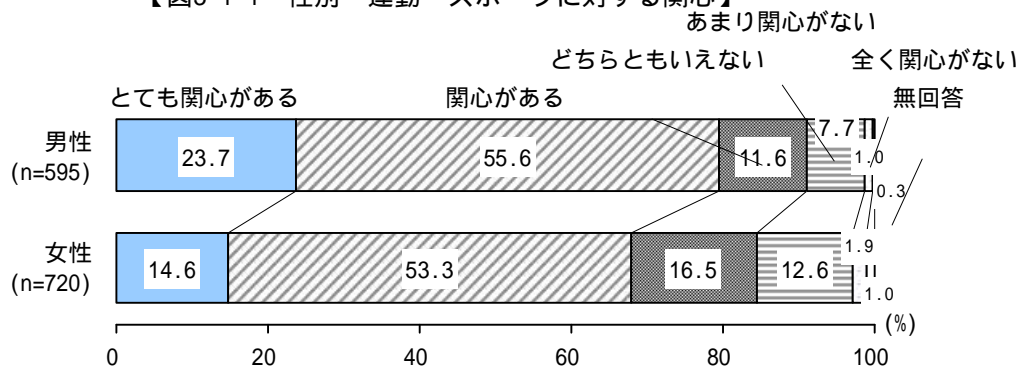
【図3-1 運動・スポーツに対する関心】



運動・スポーツに対する関心については、「関心がある」が54.3%と過半数を占めて最も多く、次いで「とても関心がある」(18.8%)が多くなっており、これらを合わせると73.1%を占めている。一方、「あまり関心がない」、「全く関心がない」では11.8%となっている。(図3-1)

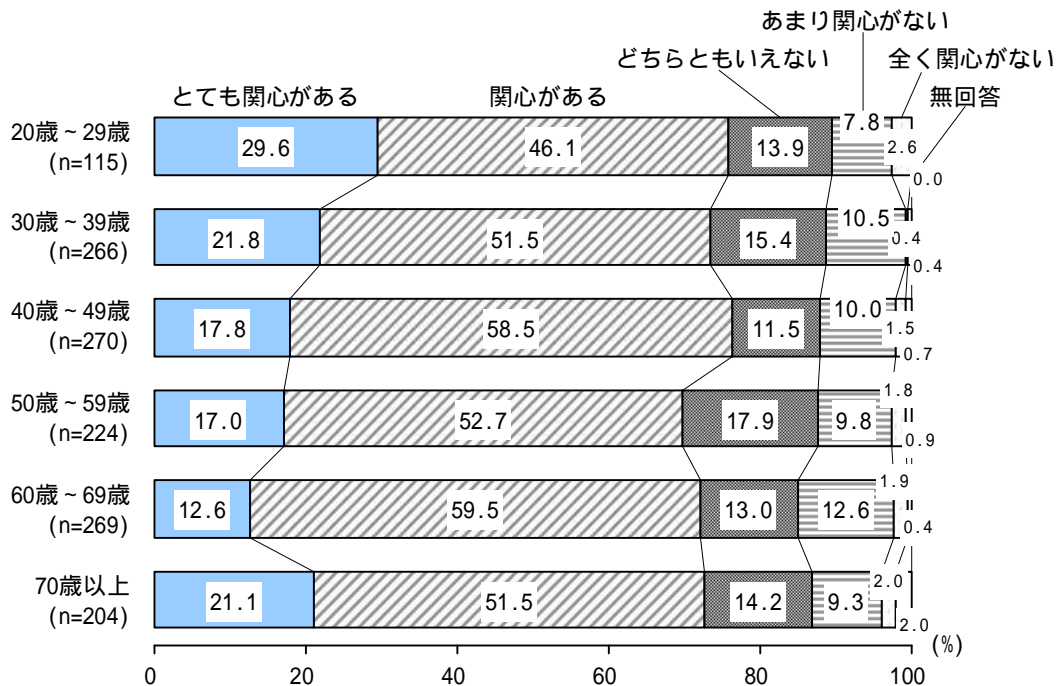
性別で見ると、男女とも「とても関心がある」、「関心がある」は過半数を占めているが、女性(67.9%)より男性(79.3%)のほうが11.4ポイント高くなっている。一方、「あまり関心がない」、「全く関心がない」では、女性(14.5%)は男性(8.7%)より5.8ポイント高い。(図3-1-1)

【図3-1-1 性別 運動・スポーツに対する関心】



年齢別で見ると、いずれの年代も「とても関心がある」、「関心がある」が過半数を占めており、50歳～59歳（69.7%）を除いた年代では7割台を占めている。「とても関心がある」では、20歳～29歳が29.6%となっているが、高齢になるほど低下し、60歳～69歳では12.6%と最も低くなっている。（図3-1-2）

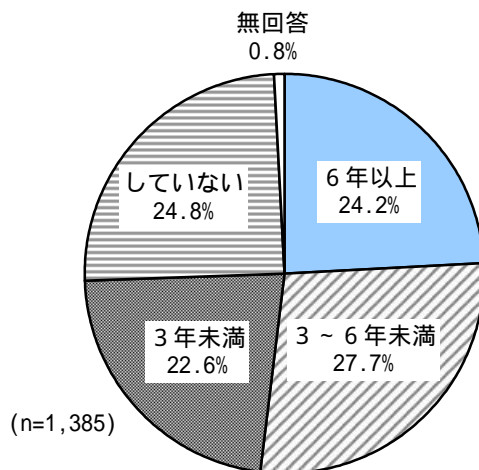
【図3-1-2 年齢別 運動・スポーツに対する関心】



〔 4 〕 学生時代のクラブ・サークル活動

問3 あなたは、学生時代にクラブ活動・サークル活動において、どの程度運動・スポーツをしていましたか。学生時代とは、中学校～大学（院）を指します。該当する番号1つに 印をつけて下さい。

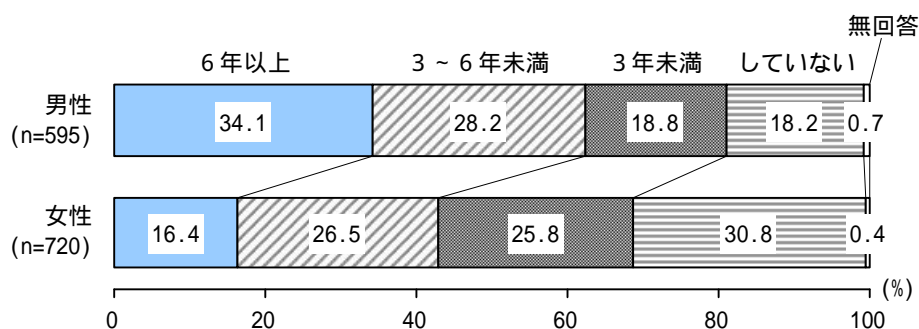
【図4-1 学生時代のクラブ・サークル活動】



学生時代のクラブ・サークル活動については、「3～6年未満」が27.7%で最も多く、次いで「していない」が24.8%、「6年以上」が24.2%、「3年未満」が22.6%となっている。(図4-1)

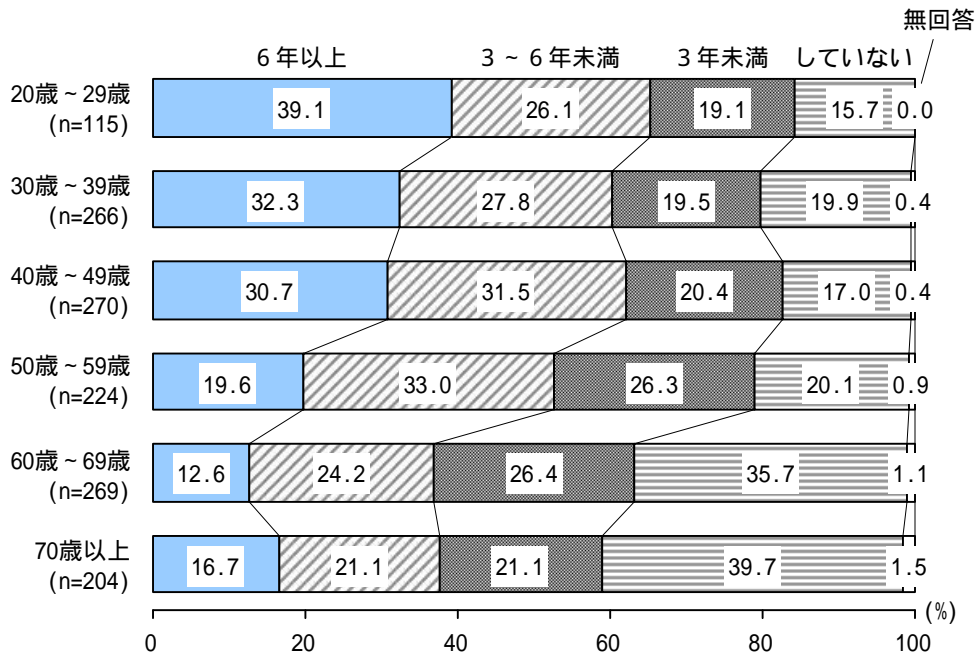
性別で見ると、男性は「6年以上」(34.1%)が最も多いのに対し、女性では「していない」(30.8%)が最も多くなっている。(図4-1-1)

【図4-1-1 性別 学生時代のクラブ・サークル活動】



年齢別で見ると、20歳～29歳が「6年以上」で39.1%と最も高いが、高齢になるほど割合が低下し、60歳～69歳では12.6%と最も低くなっている。60歳以上の年代では「していない」、40歳～59歳の年代は「3～6年未満」、20歳～39歳の年代は「6年以上」が、それぞれ最も多くなっており、若い年代ほど活動期間が長くなっている。(図4-1-2)

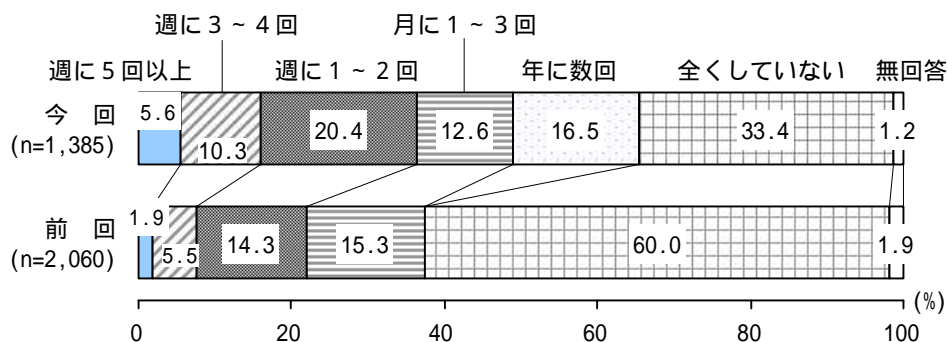
【図4-1-2 年齢別 学生時代のクラブ・サークル活動】



〔 5 〕 普段の運動・スポーツの頻度

問 4 あなたは普段どの程度運動・スポーツをしていますか。
該当する番号 1 つに 印をつけて下さい。

【図5-1 普段の運動・スポーツの頻度】



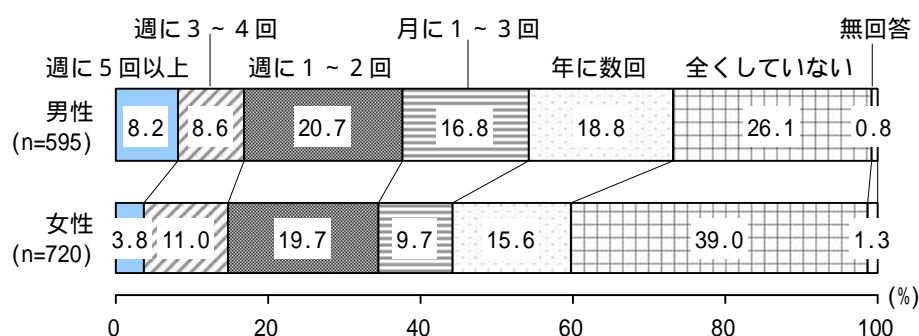
前回調査は、「年に数回」の選択肢はなかった。
前回：平成18年度調査（以下、同様）

普段の運動・スポーツの頻度については、「全くしていない」が33.4%で最も多い。している人65.4%のうち、「週に1~2回」が20.4%が多く、次いで「年に数回」が16.5%、「月に1~3回」が12.6%となっている。

前回調査と比較すると、「週に5回以上」、「週に3~4回」、「週に1~2回」はそれぞれ前回よりも高く、週に1回以上の割合は14.6ポイント高くなっている。（図5-1）

性別でみると、男女とも「全くしていない」が最も多く、男性（26.1%）より女性（39.0%）のほうが12.9ポイント高くなっている。運動・スポーツをしている人では、男女とも「週に1~2回」が2割前後を占めて最も多くなっている。（図5-1-1）

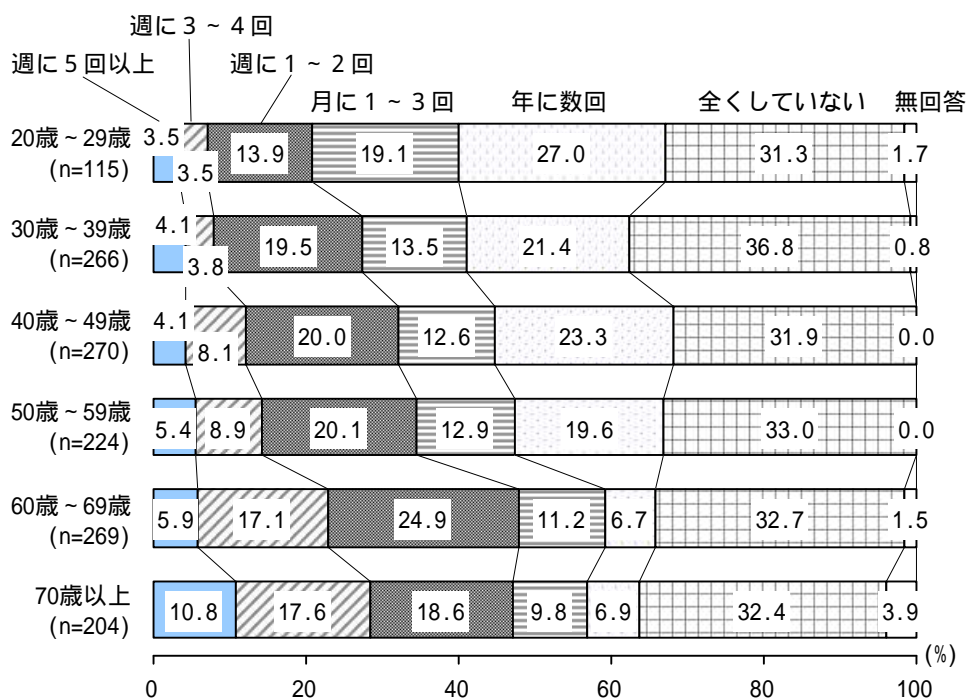
【図5-1-1 性別 普段の運動・スポーツの頻度】



年齢別でみると、いずれの年代も「全くしていない」が3割台で最も多くなっているが、高齢になるほど、運動・スポーツをする頻度が高くなる傾向がみられる。

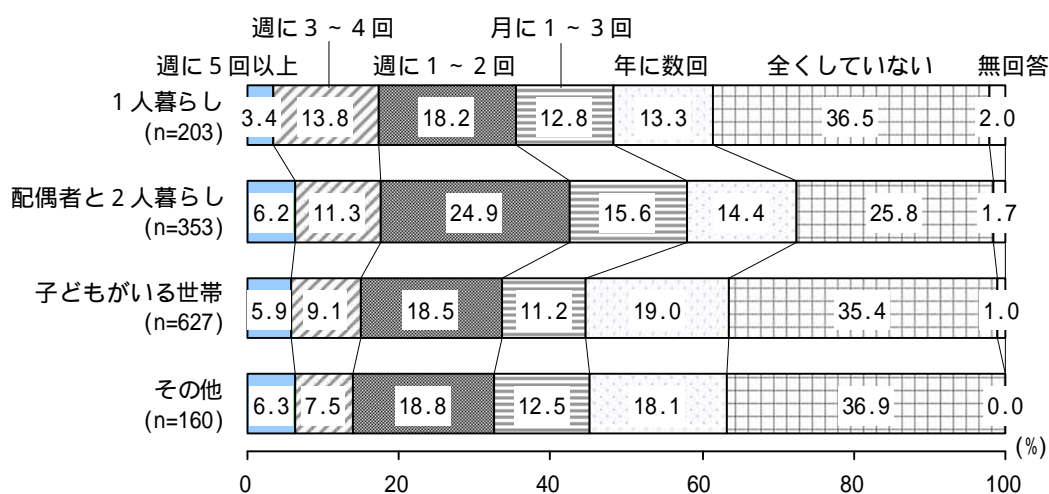
(図5-1-2)

【図5-1-2 年齢別 普段の運動・スポーツの頻度】



世帯構成別でみると、いずれの世帯構成も「全くしていない」が最も多いが、配偶者と2人暮らし世帯は他の世帯構成に比べ低く、これに対し運動・スポーツをしている割合が7割台を占めている。(図5-1-3)

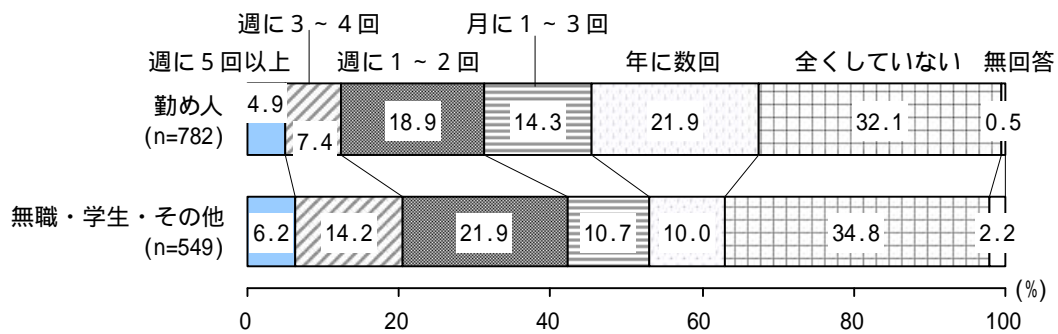
【図5-1-3 世帯構成別 普段の運動・スポーツの頻度】



就労有無別でみると、どちらも「全くしていない」が3割台で最も多くなっており、次いで、勤め人では「年に数回」(21.9%)、無職・学生・その他は「週に1～2回」(21.9%)が多くなっている。

週1回以上の運動・スポーツをしている人の割合は、勤め人(31.2%)より無職・学生・その他(42.3%)のほうが11.1ポイント高くなっている。(図5-1-4)

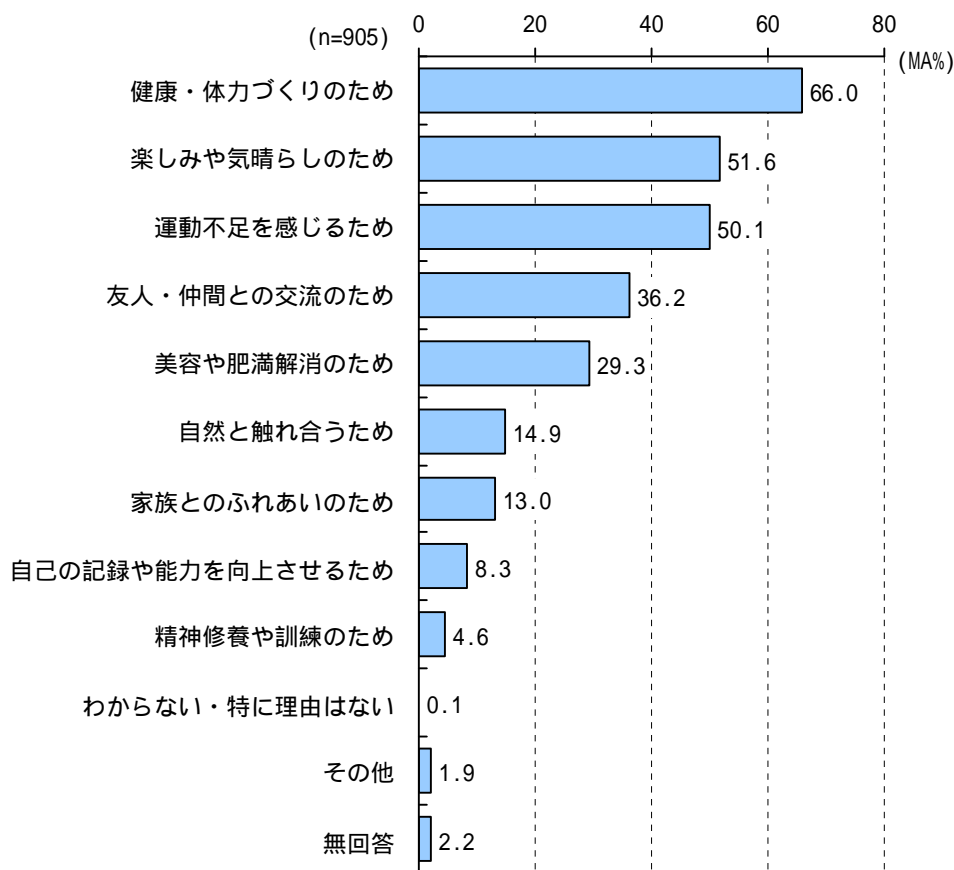
【図5-1-4 就労有無別 普段の運動・スポーツの頻度】



〔 6 〕 運動・スポーツをする理由

問5 現在、運動・スポーツをされている方にお聞きします。あなたが運動・スポーツをするのは、どのような理由からですか。
 該当する項目に 印をつけて下さい。(いくつでも選択可)

【図6-1 運動・スポーツをする理由】



運動・スポーツをしている人に、運動・スポーツをする理由についてたずねると、「健康・体力づくりのため」が66.0%で最も多く、次いで「楽しみや気晴らしのため」が51.6%、「運動不足を感じるため」が50.1%と続いている。(図6-1)

性別でみると、男女とも「健康・体力づくりのため」が6割台で最も多く、次いで「楽しみや気晴らしのため」が5割台、「運動不足を感じるため」は5割前後と続いている。

また、「美容や肥満解消のため」は、男性(19.5%)より女性(40.2%)のほうが20.7ポイント高い。(表6-1-1)

【表6-1-1 性別 運動・スポーツをする理由(上位5項目)】

性別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=435)	健康・体力づくりのため 66.4	楽しみや気晴らしのため 50.3	運動不足を感じるため 46.9	友人・仲間との交流のため 37.9	美容や肥満解消のため 19.5
女性 (n=430)	健康・体力づくりのため 65.6	楽しみや気晴らしのため 53.5	運動不足を感じるため 52.8	美容や肥満解消のため 40.2	友人・仲間との交流のため 33.3

年齢別でみると、20歳～29歳は「楽しみや気晴らしのため」(61.0%)が最も多いが、高齢になるほど割合が低下している。30歳以上の年代では「健康・体力づくりのため」が最も多く、60歳以上の年代は7割台とそれ以下の年代に比べ高い。(表6-1-2)

【表6-1-2 年齢別 運動・スポーツをする理由(上位5項目)】

年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳～29歳 (n=77)	楽しみや気晴らしのため 61.0	運動不足を感じるため 49.4	友人・仲間との交流のため 46.8	健康・体力づくりのため 45.5	美容や肥満解消のため 36.4
30歳～39歳 (n=166)	健康・体力づくりのため 63.9	楽しみや気晴らしのため 62.7	運動不足を感じるため 51.8	美容や肥満解消のため 40.4	友人・仲間との交流のため 36.1
40歳～49歳 (n=184)	健康・体力づくりのため 66.8	運動不足を感じるため 53.8	楽しみや気晴らしのため 52.7	美容や肥満解消のため 34.8	友人・仲間との交流のため 23.9
50歳～59歳 (n=150)	健康・体力づくりのため 60.7	運動不足を感じるため 55.3	楽しみや気晴らしのため 48.0	友人・仲間との交流のため 36.0	美容や肥満解消のため 33.3
60歳～69歳 (n=177)	健康・体力づくりのため 76.8	運動不足を感じるため 46.9	楽しみや気晴らしのため 45.8	友人・仲間との交流のため 39.0	美容や肥満解消のため 20.9
70歳以上 (n=130)	健康・体力づくりのため 71.5	楽しみや気晴らしのため/運動不足を感じるため/ 友人・仲間との交流のため		42.3	自然と触れ合うため 18.5

世帯構成別でみると、いずれの世帯構成も「健康・体力づくりのため」が最も多く、1人暮らし世帯(72.0%)と配偶者と2人暮らし世帯(71.1%)は7割台と高い。

また、子どもがいる世帯は「運動不足を感じるため」(54.1%)が、他の世帯構成に比べ割合が高くなっている。(表6-1-3)

【表6-1-3 世帯構成別 運動・スポーツをする理由(上位5項目)】

世帯構成	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1人暮らし (n=125)	健康・体力づくりのため 72.0	楽しみや気晴らしのため 56.0	運動不足を感じるため 47.2	友人・仲間との交流のため 40.8	美容や肥満解消のため 30.4
配偶者と2人暮らし (n=256)	健康・体力づくりのため 71.1	楽しみや気晴らしのため 50.8	運動不足を感じるため 46.9	友人・仲間との交流のため 39.1	美容や肥満解消のため 25.0
子どもがいる世帯 (n=399)	健康・体力づくりのため 63.2	運動不足を感じるため 54.1	楽しみや気晴らしのため 50.4	友人・仲間との交流のため/美容 や肥満解消のため 31.3	
その他 (n=101)	健康・体力づくりのため 58.4	楽しみや気晴らしのため 54.5	運動不足を感じるため 47.5	友人・仲間との交流のため 38.6	美容や肥満解消のため 33.7

就労有無別で見ると、どちらも「健康・体力づくりのため」が最も多いが、勤め人（62.8%）より無職・学生・その他（70.8%）のほうが8.0ポイント高くなっている。（表6-1-4）

【表6-1-4 就労有無別 運動・スポーツをする理由（上位5項目）】

就労有無	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
勤め人 (n=527)	健康・体力づくりのため 62.8	楽しみや気晴らしのため 52.2	運動不足を感じるため 49.9	友人・仲間との交流のため 34.2	美容や肥満解消のため 30.9
無職・学生・その他 (n=346)	健康・体力づくりのため 70.8	運動不足を感じるため 51.4	楽しみや気晴らしのため 50.9	友人・仲間との交流のため 37.6	美容や肥満解消のため 28.0

(MA%)

運動・スポーツの頻度別で見ると、月1回以上運動・スポーツをしている人は「健康・体力づくりのため」が最も多く、なかでも「週に3～4回」は83.9%と高い。年に数回の人では「楽しみや気晴らしのため」（49.8%）が最も多くなっている。（表6-1-5）

【表6-1-5 運動・スポーツの頻度別 運動・スポーツをする理由（上位5項目）】

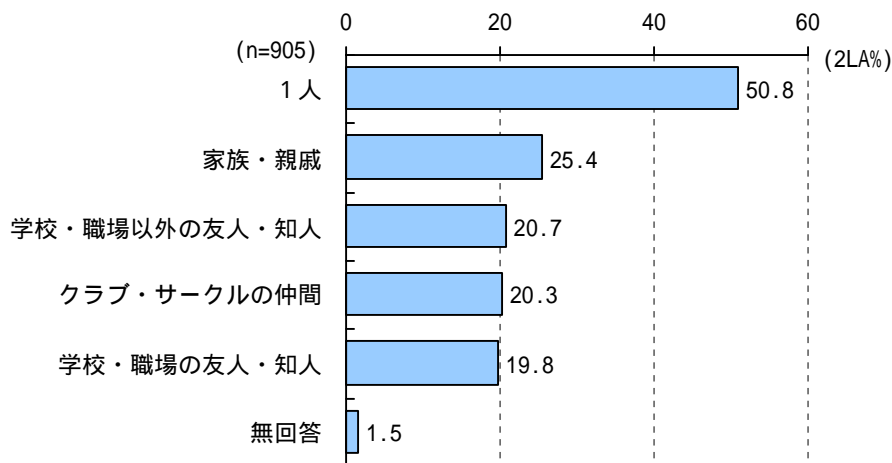
運動の頻度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
週に5回以上 (n=77)	健康・体力づくりのため 75.3	楽しみや気晴らしのため 39.0	運動不足を感じるため / 美容や肥満解消のため 29.9	友人・仲間との交流のため 26.0	
週に3～4回 (n=143)	健康・体力づくりのため 83.9	楽しみや気晴らしのため 49.0	運動不足を感じるため 48.3	友人・仲間との交流のため 37.8	美容や肥満解消のため 33.6
週に1～2回 (n=282)	健康・体力づくりのため 78.0	運動不足を感じるため 56.7	楽しみや気晴らしのため 54.6	友人・仲間との交流のため / 美容や肥満解消のため 31.9	
月に1～3回 (n=174)	健康・体力づくりのため 63.2	楽しみや気晴らしのため 56.9	運動不足を感じるため 56.3	友人・仲間との交流のため 42.5	美容や肥満解消のため 28.7
年に数回 (n=229)	楽しみや気晴らしのため 49.8	運動不足を感じるため 45.0	友人・仲間との交流のため 39.3	健康・体力づくりのため 38.9	美容や肥満解消のため 23.6

(MA%)

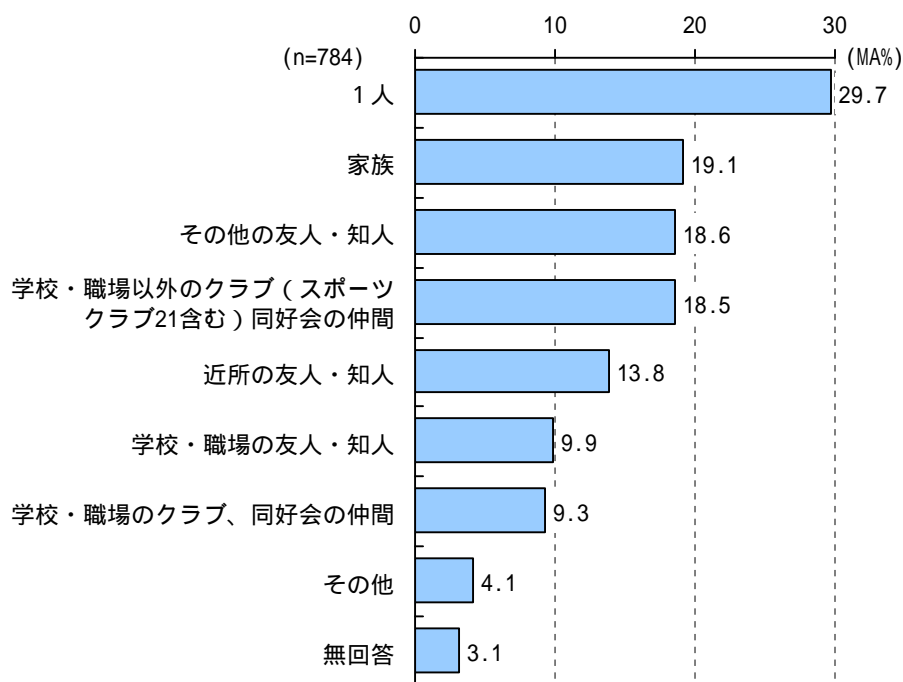
〔 7 〕 一緒に運動・スポーツをする相手

問 6 あなたは、誰と運動・スポーツをしていますか。
 該当する項目に 印をつけて下さい。(2 つまで)

【図7-1 一緒に運動・スポーツをする相手】



【前回：スポーツを一緒にする人】



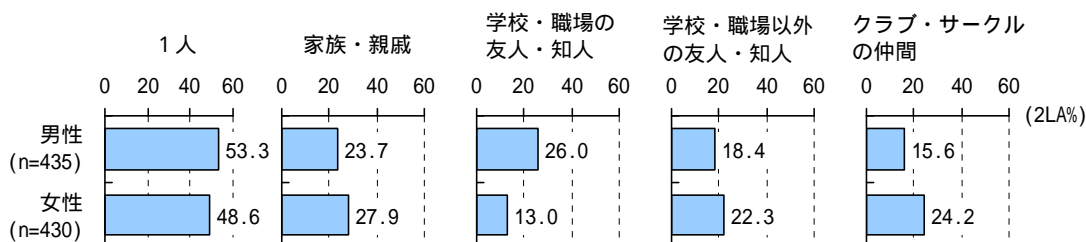
運動・スポーツをしている人に、一緒に運動・スポーツをする相手をたずねると、「1人」が50.8%で最も多く、次いで「家族・親戚」が25.4%となっており、「学校・職場以外の友人・知人」(20.7%)と「クラブ・サークルの仲間」(20.3%)、「学校・職場の友人・知人」(19.8%)は、ほぼ横並びとなっている。(図7-1)

前回調査と比較すると、「1人」は前回より21.1ポイント、「学校・職場の友人・知人」は前回より9.9ポイント高くなっている。

性別で見ると、男女とも「1人」が5割前後で最も多くなっている。次いで、男性は「学校・職場の友人・知人」(26.0%)、女性は「家族・親戚」(27.9%)となっている。

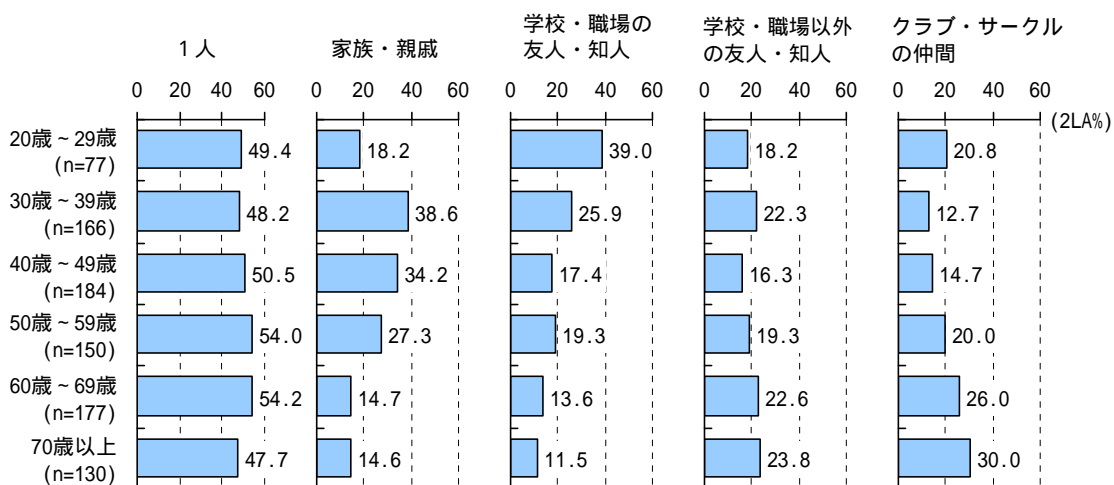
また、「学校・職場の友人・知人」では、女性（13.0%）より男性のほうが13.0ポイント高く、「クラブ・サークルの仲間」は男性（15.6%）より女性（24.2%）のほうが8.6ポイント高い。（図7-1-1）

【図7-1-1 性別 一緒に運動・スポーツをする相手】



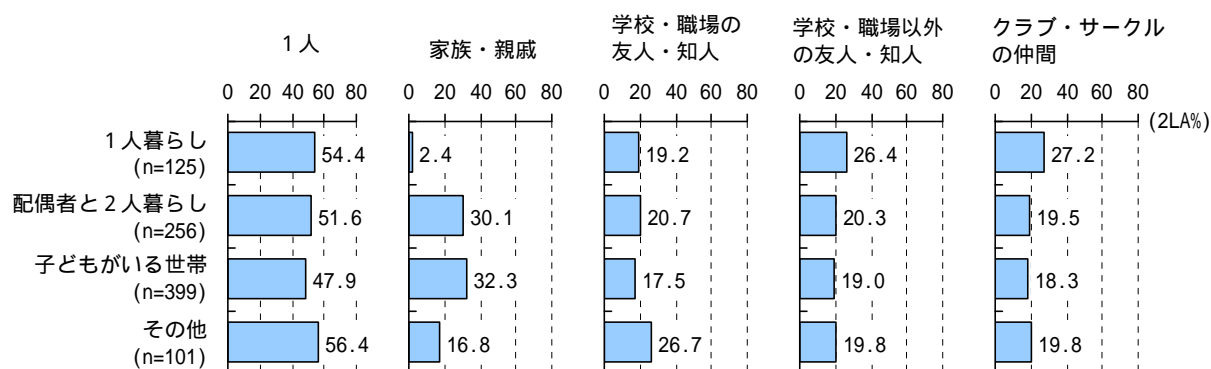
年齢別で見ると、いずれの年代も「1人」が5割前後で最も多くなっている。これに次いで、20歳～29歳は「学校・職場の友人・知人」（39.0%）、30歳～39歳では「家族・親戚」（38.6%）が多くなっているが、高齢になるほど割合が低くなっている。逆に、高齢になるほど「クラブ・サークルの仲間」の割合が高くなっており、70歳以上では30.0%となっている。（図7-1-2）

【図7-1-2 年齢別 一緒に運動・スポーツをする相手】



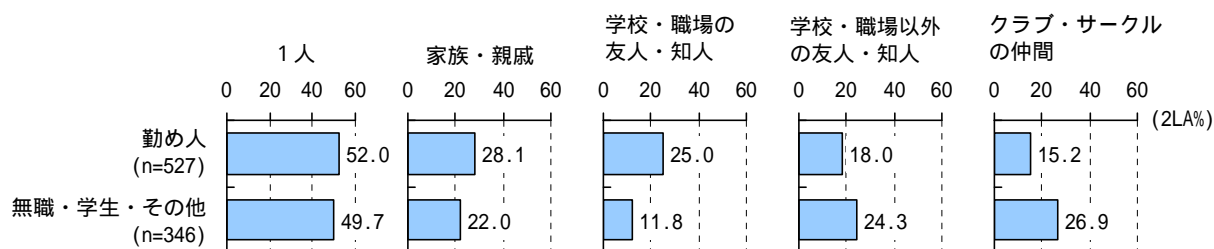
世帯構成別で見ると、いずれの世帯構成も「1人」が5割前後で最も多くなっている。これに次いで、1人暮らし世帯は「クラブ・サークルの仲間」（27.2%）、「学校・職場以外の友人・知人」（26.4%）が多く、配偶者と2人暮らし世帯と子どもがいる世帯では「家族・親戚」が3割台で多くなっている。（図7-1-3）

【図7-1-3 世帯構成別 一緒に運動・スポーツをする相手】



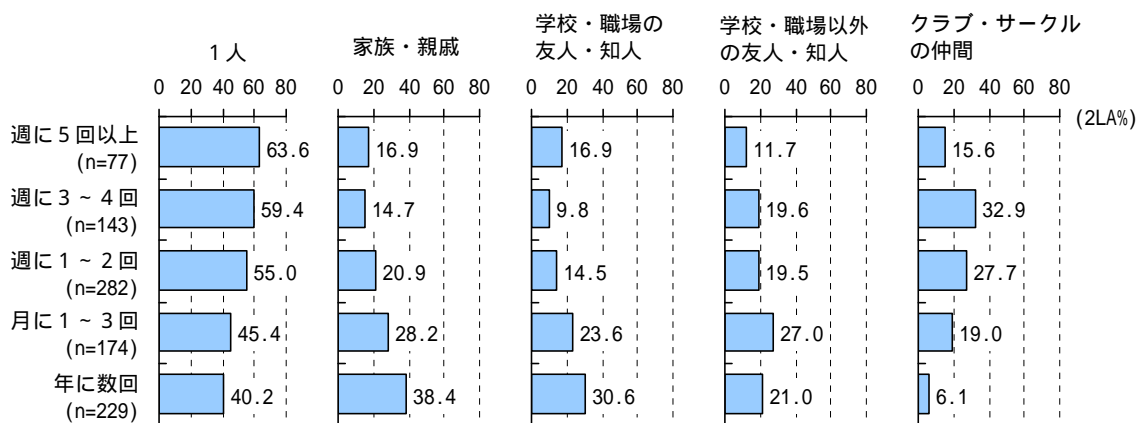
就労有無別でみると、どちらも「1人」が5割前後で最も多くなっている。また、「学校・職場の友人・知人」では無職・学生・その他（11.8%）より勤め人（25.0%）のほうが13.2ポイント高く、「クラブ・サークルの仲間」は勤め人（15.2%）より無職・学生・その他（26.9%）のほうが11.7ポイント高い。（図7-1-4）

【図7-1-4 就労有無別 一緒に運動・スポーツをする相手】



普段の運動・スポーツの頻度別でみると、頻度の高低に関わらず「1人」が最も多くなっているが、高頻度の人ほど割合が高く、「週に5回以上」では63.6%となっている。「家族・親戚」や「学校・職場の友人・知人」では、低頻度の人ほど割合が高くなっており、年に数回の方が3割台になっている。また、週に3～4回の方は、「クラブ・サークルの仲間」が32.9%と高い。（図7-1-5）

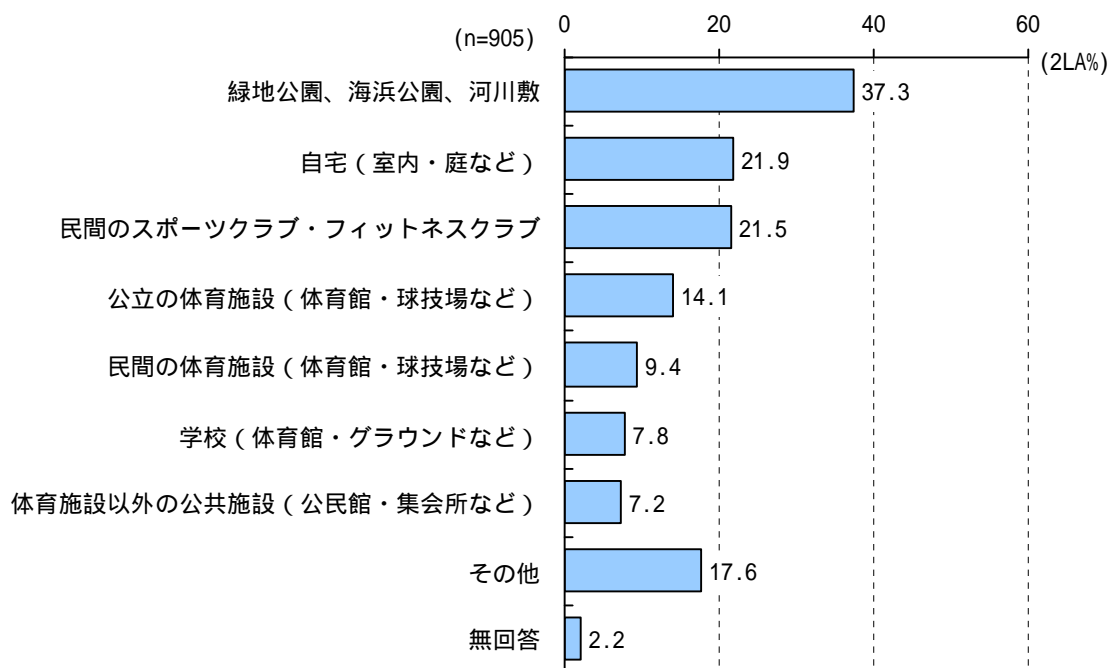
【図7-1-5 普段の運動・スポーツの頻度別 一緒に運動・スポーツをする相手】



〔 8 〕 運動・スポーツをする場所

問7 あなたは、どのような場所で運動・スポーツをしていますか。
該当する項目に 印をつけて下さい。(2 つまで)

【図8-1 運動・スポーツをする場所】



運動・スポーツをしている人に、運動・スポーツをする場所をたずねると、「緑地公園、海浜公園、河川敷」が37.3%で最も多く、次いで「自宅(室内・庭など)」が21.9%、「民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ」が21.5%と続いている。(図8-1)

性別でみると、男女とも「緑地公園、海浜公園、河川敷」が最も多いが、女性(30.7%)より男性(44.4%)のほうが13.7ポイント高くなっている。(表8-1-1)

【表8-1-1 性別 運動・スポーツをする場所(上位5項目)】

性別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=435)	緑地公園、海浜公園、河川敷 44.4	自宅(室内・庭など) 19.8	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 18.6	公立の体育施設(体育館・球技場など) 12.9	民間の体育施設(体育館・球技場など) 11.5
女性 (n=430)	緑地公園、海浜公園、河川敷 30.7	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ/自宅(室内・庭など) 24.0	公立の体育施設(体育館・球技場など) 15.8	体育施設以外の公共施設(公民館・集会所など) 11.4	

年齢別で見ると、いずれの年代も「緑地公園、海浜公園、河川敷」が最も多く、なかでも40歳～49歳は43.5%と高くなっている。次いで、「自宅（室内・庭など）」と「民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ」が上位を占めている。（表8-1-2）

【表8-1-2 年齢別 運動・スポーツをする場所（上位5項目）】

年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳～29歳 (n=77)	緑地公園、海浜公園、河川敷 35.1	自宅（室内・庭など） 19.5	公立の体育施設（体育館・球技場など）/民間の体育施設（体育館・球技場など） 18.2	学校（体育館・グラウンドなど） 16.9	
30歳～39歳 (n=166)	緑地公園、海浜公園、河川敷 34.3	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 24.7	自宅（室内・庭など） 23.5	公立の体育施設（体育館・球技場など） 14.5	民間の体育施設（体育館・球技場など） 12.0
40歳～49歳 (n=184)	緑地公園、海浜公園、河川敷 43.5	自宅（室内・庭など） 21.2	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 17.9	公立の体育施設（体育館・球技場など） 15.8	民間の体育施設（体育館・球技場など） 10.3
50歳～59歳 (n=150)	緑地公園、海浜公園、河川敷 36.7	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 26.0	自宅（室内・庭など） 20.7	公立の体育施設（体育館・球技場など） 14.0	学校（体育館・グラウンドなど） 9.3
60歳～69歳 (n=177)	緑地公園、海浜公園、河川敷 36.2	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 22.0	自宅（室内・庭など） 21.5	公立の体育施設（体育館・球技場など） 14.1	体育施設以外の公共施設（公民館・集会所など） 9.6
70歳以上 (n=130)	緑地公園、海浜公園、河川敷 36.9	自宅（室内・庭など） 24.6	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 20.8	体育施設以外の公共施設（公民館・集会所など） 10.0	公立の体育施設（体育館・球技場など） 9.2

(2LA%)

世帯構成別でみると、いずれの世帯構成も「緑地公園、海浜公園、河川敷」が3割台で最も多く、なかでも子どもがいる世帯は39.8%と高くなっている。

また、「民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ」と「自宅（室内・庭など）」では、配偶者と2人暮らし世帯が、他の世帯構成に比べ割合が高い。（表8-1-3）

【表8-1-3 世帯構成別 運動・スポーツをする場所（上位5項目）】

世帯構成	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1人暮らし (n=125)	緑地公園、海浜公園、河川敷 36.0	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 20.8	自宅（室内・庭など） 18.4	公立の体育施設（体育館・球技場など） 14.4	体育施設以外の公共施設（公民館・集会所など）/民間の体育施設（体育館・球技場など） 11.2
配偶者と2人暮らし (n=256)	緑地公園、海浜公園、河川敷 36.7	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 25.4	自宅（室内・庭など） 23.4	民間の体育施設（体育館・球技場など） 10.2	公立の体育施設（体育館・球技場など） 9.4
子どもがいる世帯 (n=399)	緑地公園、海浜公園、河川敷 39.8	自宅（室内・庭など） 20.8	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 19.3	公立の体育施設（体育館・球技場など） 16.3	民間の体育施設（体育館・球技場など） 8.5
その他 (n=101)	緑地公園、海浜公園、河川敷 32.7	自宅（室内・庭など） 26.7	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 22.8	公立の体育施設（体育館・球技場など） 14.9	学校（体育館・グラウンドなど）/民間の体育施設（体育館・球技場など） 8.9

就労有無別でみると、どちらも「緑地公園、海浜公園、河川敷」が最も多く、無職・学生・その他（34.1%）より勤め人（39.5%）のほうが5.4ポイント高くなっている。これに次いで、勤め人は「民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ」（21.8%）、無職・学生・その他では「自宅（室内・庭など）」（24.6%）が多くなっている。（表8-1-4）

【表8-1-4 就労有無別 運動・スポーツをする場所（上位5項目）】

就労有無	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
勤め人 (n=527)	緑地公園、海浜公園、河川敷 39.5	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 21.8	自宅（室内・庭など） 20.5	公立の体育施設（体育館・球技場など） 14.2	民間の体育施設（体育館・球技場など） 11.0
無職・学生・その他 (n=346)	緑地公園、海浜公園、河川敷 34.1	自宅（室内・庭など） 24.6	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 20.5	公立の体育施設（体育館・球技場など） 13.9	体育施設以外の公共施設（公民館・集会所など） 11.6

普段の運動・スポーツの頻度別でみると、頻度の高低に関わらず「緑地公園、海浜公園、河川敷」が最も多く、なかでも週に5回以上の方は50.6%と高くなっている。

また、週に3～4回、週に1～2回の方は「民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ」が3割前後と高く、年に数回の方では「自宅(室内、庭など)」が28.4%となっている。(表8-1-5)

【表8-1-5 普段の運動・スポーツの頻度別 運動・スポーツをする場所(上位5項目)】

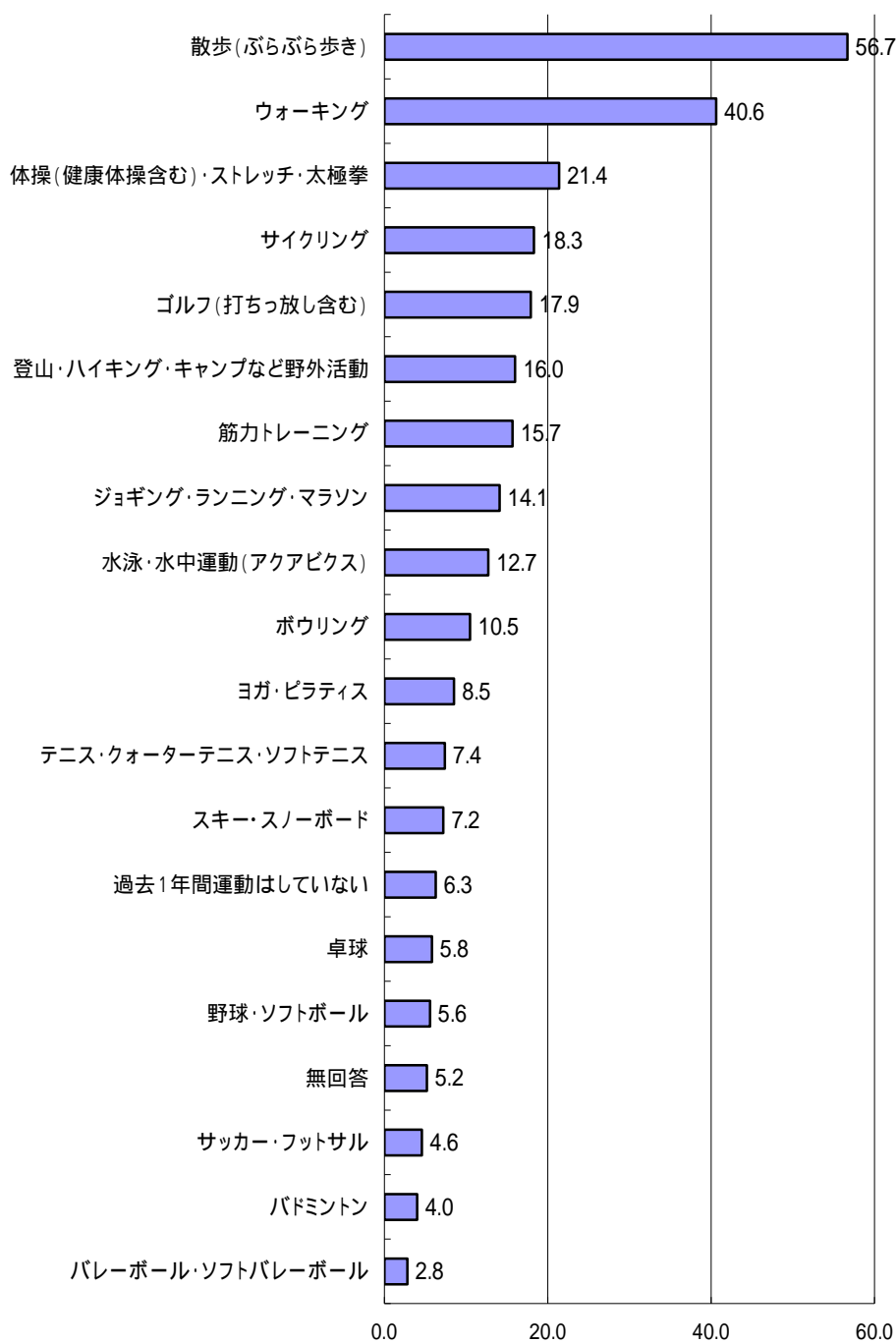
運動の頻度	(2LA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
週に5回以上 (n=77)	緑地公園、海浜公園、河川敷 50.6	自宅(室内・庭など) 22.1	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 14.3	民間の体育施設(体育館・球技場など) 11.7	学校(体育館・グラウンドなど) 10.4
週に3～4回 (n=143)	緑地公園、海浜公園、河川敷 32.9	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 28.0	自宅(室内・庭など) 22.4	公立の体育施設(体育館・球技場など) 16.8	学校(体育館・グラウンドなど) 10.5
週に1～2回 (n=282)	緑地公園、海浜公園、河川敷 31.9	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 30.1	自宅(室内・庭など) 18.8	公立の体育施設(体育館・球技場など) 15.6	体育施設以外の公共施設(公民館・集会所など) 11.7
月に1～3回 (n=174)	緑地公園、海浜公園、河川敷 35.1	自宅(室内・庭など) 17.8	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 16.7	公立の体育施設(体育館・球技場など) 14.9	民間の体育施設(体育館・球技場など) 11.5
年に数回 (n=229)	緑地公園、海浜公園、河川敷 44.1	自宅(室内・庭など) 28.4	民間のスポーツクラブ・フィットネスクラブ 13.1	公立の体育施設(体育館・球技場など) 12.2	民間の体育施設(体育館・球技場など) 10.0

〔 9 〕 関心のある運動・スポーツの種目

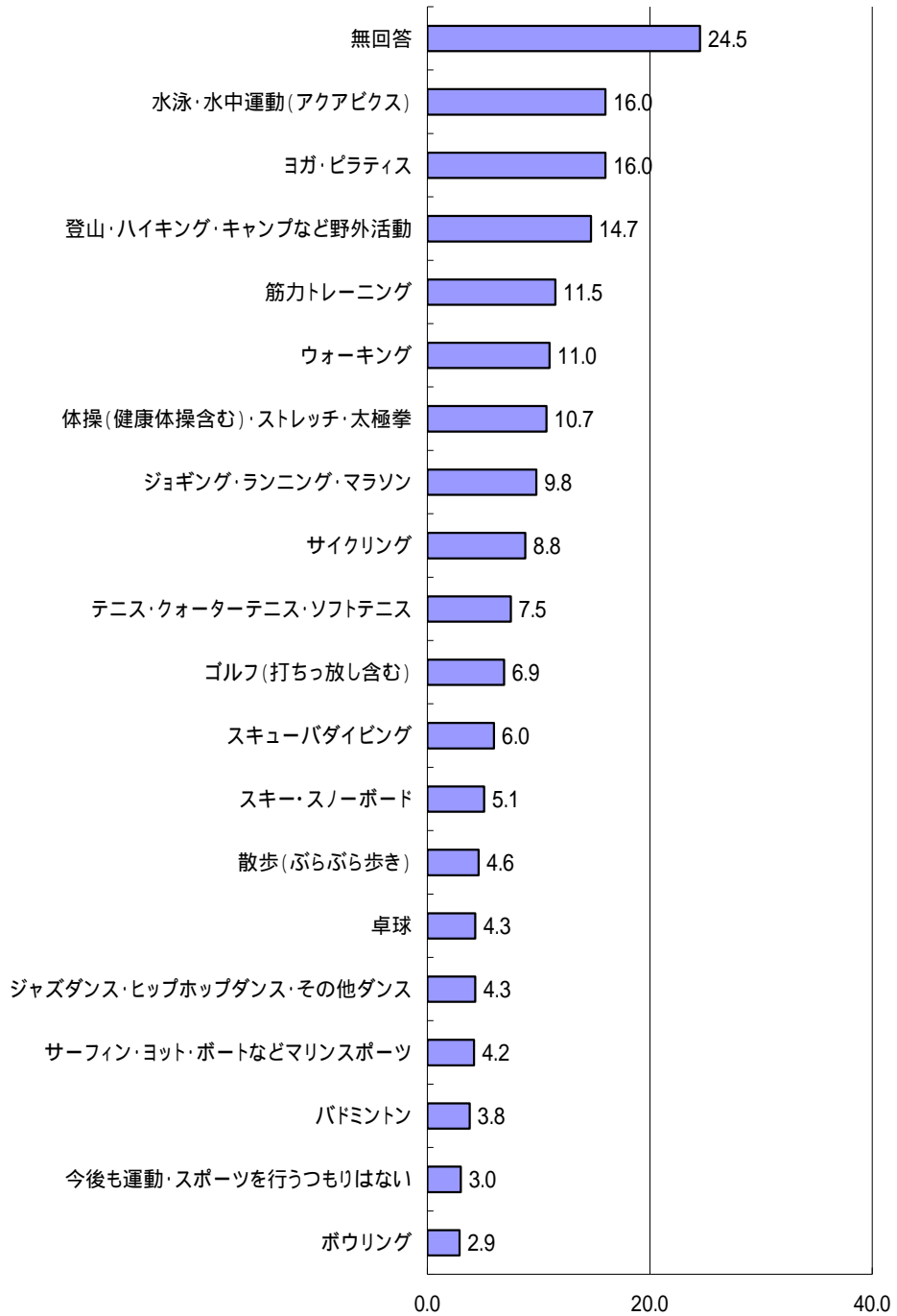
問 8 - あなたは、過去 1 年間にどのような運動・スポーツをしましたか。
 該当する項目に 印をつけて下さい。(いくつでも選択可)

問 8 - 今後、はじめてみたい種目はありますか。(現在行っている種目は含まない)
 該当する項目に 印をつけて下さい。(いくつでも選択可)

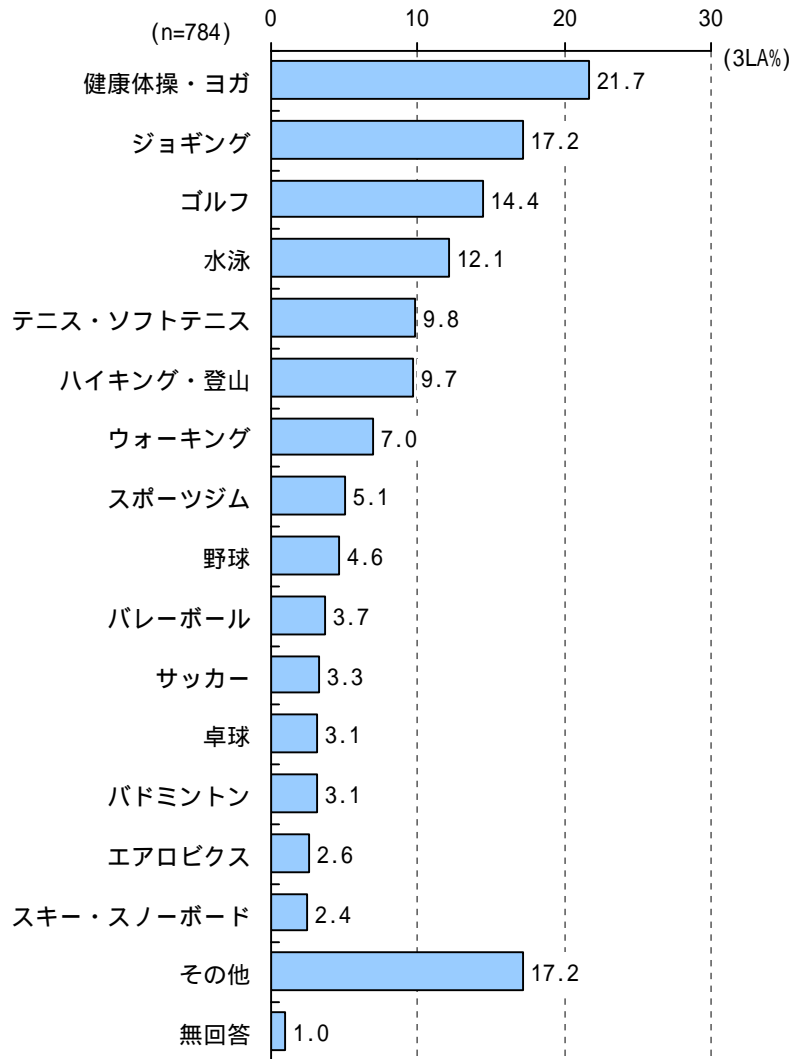
【図9-1 過去 1 年間に行った種目 (上位 20 項目)】 (単位: %)



【図9-2 今後、はじめてみたい種目（上位20種目）】（単位：％）



【前回：活動しているスポーツの種類】



< 問 8 - 過去 1 年間に行った運動・スポーツ種目 >

過去 1 年間に行った種目については、「散歩(ぶらぶら歩き)」が56.7%で最も多く、次いで「ウォーキング」が40.6%、「体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳」が21.4%と続いている。(図9-1)

前回調査と比較すると、「ウォーキング」は前回より33.6ポイント、「登山・ハイキング・キャンプなどの野外活動」(前は「ハイキング・登山」)は前回より6.3ポイント高くなっている。

今後、はじめてみたい種目については、「ヨガ・ピラティス」と「水泳・水中運動(アクアビクス)」がともに16.0%で最も多く、次いで「登山・ハイキング・キャンプなど野外活動」が14.7%と続いている。(図9-2)

過去 1 年間に行った種目を性別で見ると、男女とも「散歩(ぶらぶら歩き)」が5割台で最も多く、次いで「ウォーキング」が4割前後となっており、続いて男性は「ゴルフ(打ちっ放し含む)」(29.2%)、女性は「体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳」(26.8%)が多くなっている。(表9-1-1)

【表9-1-1 性別 過去1年間に行った種目(上位5項目)】

(MA%)

性別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=595)	散歩(ぶらぶら 歩き) 55.1	ウォーキング 40.8	ゴルフ(打ちっ 放し含む) 29.2	サイクリング 21.5	ジョギング・ラ ンニング・マラ ソン 21.2
女性 (n=720)	散歩(ぶらぶら 歩き) 58.5	ウォーキング 39.9	体操(健康体操 含む)・スト レッチ・太極拳 26.8	サイクリング 15.8	ヨガ・ピラティ ス 13.9

過去1年間に行った種目を年齢別でみると、いずれの年代も「散歩(ぶらぶら歩き)」が5割以上で最も多く、次いで「ウォーキング」となっている。性別・世代に関係なく、“歩くこと”が運動の主流となっている。また、高齢になるほど「散歩(ぶらぶら歩き)」は低下しているが、「ウォーキング」は上昇しており、年代が上がるにつれて散歩からウォーキングに移行する傾向がみられる。(表9-1-2)

【表9-1-2 年齢別 過去1年間に行った種目(上位5項目)】

(MA%)

年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳～29歳 (n=115)	散歩(ぶらぶら 歩き) 56.5	ウォーキング/筋力トレーニング	36.5	ジョギング・ラ ンニング・マラ ソン 31.3	ボウリング 29.6
30歳～39歳 (n=266)	散歩(ぶらぶら 歩き) 60.9	ウォーキング 35.3	ジョギング・ラ ンニング・マラ ソン 21.4	筋力トレーニング 21.1	体操(健康体操 含む)・スト レッチ・太極拳 20.7
40歳～49歳 (n=270)	散歩(ぶらぶら 歩き) 58.1	ウォーキング 36.7	サイクリング 25.6	体操(健康体操 含む)・スト レッチ・太極拳 23.3	ゴルフ(打ちっ 放し含む) 18.9
50歳～59歳 (n=224)	散歩(ぶらぶら 歩き) 58.5	ウォーキング 40.6	体操(健康体操 含む)・スト レッチ・太極拳 23.7	ゴルフ(打ちっ 放し含む) 20.5	サイクリング 18.3
60歳～69歳 (n=269)	散歩(ぶらぶら 歩き) 55.4	ウォーキング 47.6	体操(健康体操 含む)・スト レッチ・太極拳 21.6	ゴルフ(打ちっ 放し含む) 16.0	登山・ハイキン グ・キャンプな ど野外活動 14.9
70歳以上 (n=204)	散歩(ぶらぶら 歩き) 50.0	ウォーキング 44.1	体操(健康体操 含む)・スト レッチ・太極拳 21.1	登山・ハイキン グ・キャンプな ど野外活動 19.6	ゴルフ(打ちっ 放し含む) 16.2

過去1年間に行った種目を世帯構成別で見ると、いずれの世帯構成も「散歩(ぶらぶら歩き)」が5割台で最も多い。次いで「ウォーキング」が多くなっており、特に子どもがいない世帯では4割台となっている。(表9-1-3)

【表9-1-3 世帯構成別 過去1年間に行った種目(上位5項目)】

世帯構成	(MA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1人暮らし (n=203)	散歩(ぶらぶら歩き) 56.7	ウォーキング 44.3	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 23.2	サイクリング/登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 16.3	
配偶者と2人暮らし (n=353)	散歩(ぶらぶら歩き) 56.4	ウォーキング 47.0	ゴルフ(打ちっ放し含む) 26.1	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 21.8	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 20.7
子どもがいる世帯 (n=627)	散歩(ぶらぶら歩き) 57.4	ウォーキング 36.8	サイクリング/体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 21.1	ゴルフ(打ちっ放し含む) 15.6	
その他 (n=160)	散歩(ぶらぶら歩き) 56.3	ウォーキング 34.4	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 21.3	ジョギング・ランニング・マラソン 19.4	筋力トレーニング 18.8

過去1年間に行った種目を就労有無別で見ると、どちらも「散歩(ぶらぶら歩き)」が5割台で最も多く、次いで「ウォーキング」が4割前後となっている。続いて、勤め人は「サイクリング」(21.5%)、無職・学生・その他は「体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳」(23.1%)が多くなっている。(表9-1-4)

【表9-1-4 就労有無別 過去1年間に行った種目(上位5項目)】

就労有無	(MA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
勤め人 (n=782)	散歩(ぶらぶら歩き) 59.6	ウォーキング 38.6	サイクリング 21.5	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳/ゴルフ(打ちっ放し含む) 20.6	
無職・学生・その他 (n=549)	散歩(ぶらぶら歩き) 53.9	ウォーキング 42.4	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 23.1	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 17.3	サイクリング 14.8

過去1年間に行った種目を普段の運動・スポーツの頻度別でみると、週3回以上の運動・スポーツをしている人は「ウォーキング」が約6割と最も多く、週2回以下の運動・スポーツをしている人、全くしていない人では「散歩(ぶらぶら歩き)」が5割以上で最も多くなっている。また、「体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳」では、週3回以上の運動・スポーツをしている人は3割台となっているが、低頻度の人ほど割合が低くなっている。(表9-1-5)

【表9-1-5 普段の運動・スポーツの頻度別 過去1年間に行った種目(上位5項目)】

運動の頻度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
週に5回以上 (n=77)	ウォーキング 59.7	散歩(ぶらぶら歩き) 45.5	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 33.8	サイクリング 26.0	ジョギング・ランニング・マラソン 24.7
週に3~4回 (n=143)	ウォーキング 60.1	散歩(ぶらぶら歩き) 54.5	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 36.4	筋力トレーニング 28.0	サイクリング/ゴルフ(打ちっ放し含む) 22.4
週に1~2回 (n=282)	散歩(ぶらぶら歩き) 51.8	ウォーキング 47.9	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 27.3	ゴルフ(打ちっ放し含む) 27.0	筋力トレーニング/登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 24.1
月に1~3回 (n=174)	散歩(ぶらぶら歩き) 59.2	ウォーキング 51.1	ゴルフ(打ちっ放し含む) 32.2	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 25.9	ジョギング・ランニング・マラソン 24.1
年に数回 (n=229)	散歩(ぶらぶら歩き) 69.9	ウォーキング 40.6	サイクリング 27.1	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 20.5	ボウリング 19.7
全くしていない (n=463)	散歩(ぶらぶら歩き) 54.9	ウォーキング 23.3	過去1年間は、運動・スポーツはしていない 18.1	サイクリング/体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳	10.4

(MA%)

< 問 8 - 今後はじめてみたい運動・スポーツ種目 >

今後、はじめてみたい種目を性別でみると、男性は「登山・ハイキング・キャンプなど野外活動」(16.0%)、女性は「ヨガ・ピラティス」(26.3%)が最も多くなっている。
(表9-2-1)

【表9-2-1 性別 今後、はじめてみたい種目(上位5項目)】

(MA%)					
性別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=595)	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 16.0	水泳・水中運動(アクアビクス) 12.8	筋力トレーニング 12.3	サイクリング 11.3	ジョギング・ランニング・マラソン 9.6
女性 (n=720)	ヨガ・ピラティス 26.3	水泳・水中運動(アクアビクス) 19.4	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 13.8	ウォーキング 13.6	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 13.3

今後、はじめてみたい種目を年齢別でみると、20歳～49歳の年代では「ヨガ・ピラティス」が2割台で最も多く、50歳～59歳は「水泳・水中運動(アクアビクス)」(17.0%)、60歳～69歳は「ウォーキング」と「登山・ハイキング・キャンプなど野外活動」(ともに14.5%)、70歳以上では「体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳」(10.8%)が、それぞれ最も多くなっているが、いずれの種目も高齢になるほど割合が低下している。

(表9-2-2)

【表9-2-2 年齢別 今後、はじめてみたい種目(上位5項目)】

(MA%)					
年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳～29歳 (n=115)	ヨガ・ピラティス 25.2	水泳・水中運動(アクアビクス) 20.0	ジャズダンス・ヒップホップダンス・その他のダンス 19.1	スキューバダイビング 17.4	テニス・クォーターテニス・ソフトテニス/登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 15.7
30歳～39歳 (n=266)	ヨガ・ピラティス 23.7	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 18.4	水泳・水中運動(アクアビクス) 18.0	筋力トレーニング 15.0	ジョギング・ランニング・マラソン 14.3
40歳～49歳 (n=270)	ヨガ・ピラティス 21.1	水泳・水中運動(アクアビクス) 19.3	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 17.0	ジョギング・ランニング・マラソン 16.7	筋力トレーニング 13.7
50歳～59歳 (n=224)	水泳・水中運動(アクアビクス) 17.0	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 14.3	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 13.8	ヨガ・ピラティス 13.4	ウォーキング/筋力トレーニング 11.6
60歳～69歳 (n=269)	ウォーキング/登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 14.5	水泳・水中運動(アクアビクス) 14.1	筋力トレーニング 13.0	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 11.2	
70歳以上 (n=204)	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 10.8	ウォーキング/水泳・水中運動(アクアビクス) 8.8	グラウンドゴルフ・ゲートボール 6.4	サイクリング/登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 5.9	

今後、はじめてみたい種目を世帯構成別で見ると、1人暮らし世帯は「ヨガ・ピラティス」(15.8%)、配偶者と2人暮らし世帯は「登山・ハイキング・キャンプなど野外活動」(13.6%)、子どもがいる世帯は「水泳・水中運動(アクアビクス)」(18.8%)が、それぞれ最も多くなっている。しかし、いずれの種目も、子どもがいる世帯の割合が高く、配偶者と2人暮らし世帯の割合が低くなっている。(表9-2-3)

【表9-2-3 世帯構成別 今後、はじめてみたい種目(上位5項目)】

世帯構成	(MA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1人暮らし (n=203)	ヨガ・ピラティス 15.8	水泳・水中運動 (アクアビクス) 15.3	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 14.3	ウォーキング/筋力トレーニング	12.8
配偶者と2人暮らし (n=353)	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 13.6	ヨガ・ピラティス 13.3	水泳・水中運動 (アクアビクス) 12.2	サイクリング 9.6	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳/筋力トレーニング 9.3
子どもがいる世帯 (n=627)	水泳・水中運動 (アクアビクス) 18.8	ヨガ・ピラティス 16.9	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 14.7	筋力トレーニング 13.2	ジョギング・ランニング・マラソン/体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 12.1
その他 (n=160)	ヨガ・ピラティス 19.4	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 16.9	サイクリング/水泳・水中運動 (アクアビクス)	16.3	テニス・クォーターテニス・ソフトテニス/ゴルフ(打ちっ放し含む) 11.9

今後、はじめてみたい種目を就労有無別で見ると、勤め人は「水泳・水中運動(アクアビクス)」(17.0%)、無職・学生・その他は「ヨガ・ピラティス」(16.0%)が最も多くなっている。また、勤め人は「登山・ハイキング・キャンプなど野外活動」(16.9%)も多い。(表9-2-4)

【表9-2-4 就労有無別 今後、はじめてみたい種目(上位5項目)】

就労有無	(MA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
勤め人 (n=782)	水泳・水中運動 (アクアビクス) 17.0	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 16.9	ヨガ・ピラティス 16.4	筋力トレーニング 12.4	ジョギング・ランニング・マラソン 11.1
無職・学生・その他 (n=549)	ヨガ・ピラティス 16.0	水泳・水中運動 (アクアビクス) 15.1	ウォーキング 12.2	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 11.8	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 11.5

今後、はじめてみたい種目を普段の運動・スポーツの頻度別でみると、週3回以上の運動・スポーツをしている人は「水泳・水中運動（アクアビクス）」、週に1～2回と全くしていない人は「ヨガ・ピラティス」、月に1～3回と年に数回の人には「登山・ハイキング・キャンプなど野外活動」が、それぞれ最も多くなっている。（表9-2-5）

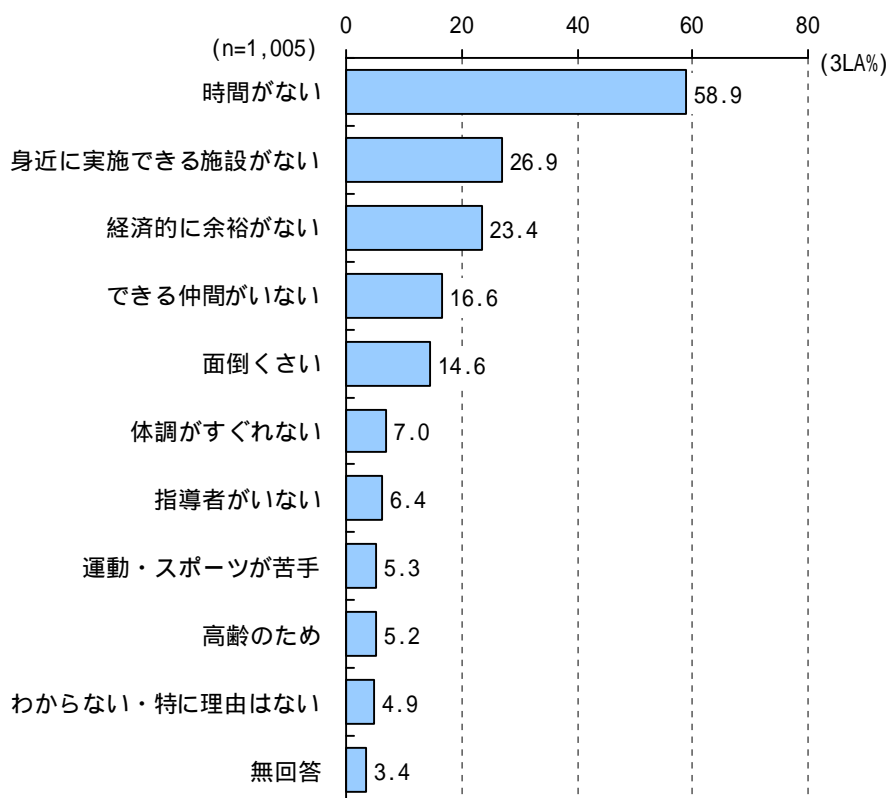
【表9-2-5 普段の運動・スポーツの頻度別 今後、はじめてみたい種目（上位5項目）】

運動の頻度	(MA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
週に5回以上 (n=77)	水泳・水中運動 (アクアビクス) 10.4	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳/登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 9.1	筋力トレーニング 7.8	卓球/スキューバダイビング 6.5	
週に3～4回 (n=143)	水泳・水中運動 (アクアビクス) 16.1	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 13.3	筋力トレーニング 9.8	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳/ヨガ・ピラティス 9.1	
週に1～2回 (n=282)	ヨガ・ピラティス 19.9	水泳・水中運動 (アクアビクス) 15.2	筋力トレーニング 13.8	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 10.6	ジョギング・ランニング・マラソン 9.6
月に1～3回 (n=174)	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 21.3	水泳・水中運動 (アクアビクス) 17.2	ヨガ・ピラティス 13.2	筋力トレーニング 12.6	ゴルフ(打ちっ放し含む) 10.9
年に数回 (n=229)	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 20.5	水泳・水中運動 (アクアビクス) 17.5	ジョギング・ランニング・マラソン 15.7	ヨガ・ピラティス 14.4	ウォーキング/体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 12.7
全くしていない (n=463)	ヨガ・ピラティス 19.4	ウォーキング 17.7	水泳・水中運動 (アクアビクス) 16.2	体操(健康体操含む)・ストレッチ・太極拳 13.8	登山・ハイキング・キャンプなど野外活動 13.2

〔10〕新しい種目をはじめられない理由

問9 問8 - で、今後、はじめてみたい種目に 印をつけた方にお聞きします。
 現在、行えない理由は何ですか。
 該当する項目に 印をつけて下さい。(3つまで)

【図10-1 新しい種目をはじめられない理由】



今後、はじめてみたい種目がある人に、新しい種目をはじめられない理由をたずねると、「時間がない」が58.9%で最も多く、次いで「身近に実施できる施設がない」が26.9%、「経済的に余裕がない」が23.4%と続いている。(図10-1)

性別で見ると、男女とも「時間がない」が約6割で最も多く、次いで「身近に実施できる施設がない」がともに27.2%、「経済的に余裕がない」が2割強となっている。(表10-1-1)

【表10-1-1 性別 新しい種目をはじめられない理由(上位5項目)】

性別	(3LA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=415)	時間がない 57.3	身近に実施できる施設がない 27.2	経済的に余裕がない 21.9	できる仲間がいない 21.2	面倒くさい 15.4
女性 (n=552)	時間がない 60.0	身近に実施できる施設がない 27.2	経済的に余裕がない 24.6	面倒くさい 13.8	できる仲間がいない 13.6

年齢別で見ると、70歳以上は「高齢のため」(34.0%)が最も多くなっている。それ以下の年代では「時間がない」が最も多く、高齢になるほど割合が低くなっている。

また、「経済的に余裕がない」は、若い年代ほど割合が高く、20歳～29歳は32.0%と最も高くなっている。(表10-1-2)

【表10-1-2 年齢別 新しい種目をはじめられない理由(上位5項目)】

(3LA%)

年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳～29歳 (n=100)	時間がない 70.0	身近に実施できる施設がない 37.0	経済的に余裕がない 32.0	できる仲間がない 20.0	面倒くさい 16.0
30歳～39歳 (n=224)	時間がない 71.9	経済的に余裕がない 27.2	身近に実施できる施設がない 24.1	面倒くさい 14.7	できる仲間がない 12.9
40歳～49歳 (n=213)	時間がない 68.5	経済的に余裕がない 27.7	身近に実施できる施設がない 22.5	面倒くさい 17.4	できる仲間がない 14.6
50歳～59歳 (n=166)	時間がない 63.9	身近に実施できる施設がない 25.9	経済的に余裕がない 24.1	面倒くさい 14.5	できる仲間がない 13.9
60歳～69歳 (n=180)	時間がない 42.2	身近に実施できる施設がない 27.2	できる仲間がない 21.7	面倒くさい 15.6	経済的に余裕がない 13.9
70歳以上 (n=100)	高齢のため 34.0	身近に実施できる施設がない 33.0	できる仲間がない 22.0	時間がない 19.0	体調がすぐれない 15.0

世帯構成別で見ると、いずれの世帯構成も「時間がない」が最も多く、なかでも子どもがいる世帯は65.1%で最も高くなっている。「経済的に余裕がない」は、配偶者と2人暮らし世帯が12.9%に対し、1人暮らし世帯(30.3%)と子どもがいる世帯(25.1%)で2割を超えている。「身近に実施できる施設がない」は、子どもがいる世帯は20.4%に対し、1人暮らし世帯(29.6%)と配偶者と2人暮らし世帯(30.8%)では3割前後を占めている。(表10-1-3)

【表10-1-3 世帯構成別 新しい種目をはじめられない理由(上位5項目)】

(3LA%)

世帯構成	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1人暮らし (n=142)	時間がない 56.3	経済的に余裕がない 30.3	身近に実施できる施設がない 29.6	できる仲間がない 19.7	面倒くさい 19.0
配偶者と2人暮らし (n=240)	時間がない 47.1	身近に実施できる施設がない 30.8	できる仲間がない 20.4	面倒くさい 14.6	経済的に余裕がない 12.9
子どもがいる世帯 (n=475)	時間がない 65.1	経済的に余裕がない 25.1	身近に実施できる施設がない 20.2	できる仲間がない 14.3	面倒くさい 13.1
その他 (n=122)	時間がない 61.5	身近に実施できる施設がない 41.8	経済的に余裕がない 28.7	できる仲間がない 16.4	面倒くさい 15.6

就労有無別でみると、どちらも「時間がない」が最も多いが、無職・学生・その他(41.8%)より勤め人(69.6%)のほうが27.8ポイント高くなっている。

また、「経済的に余裕がない」でも、無職・学生・その他(19.1%)より勤め人(25.5%)のほうが6.4ポイント高い。(表10-1-4)

【表10-1-4 就労有無別 新しい種目をはじめられない理由(上位5項目)】

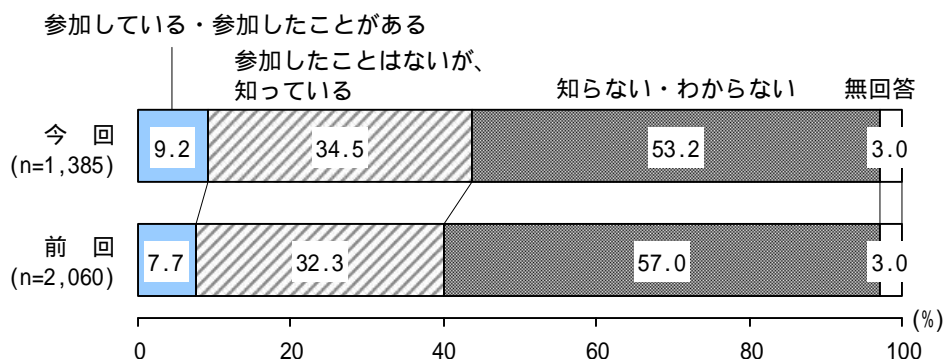
就労有無	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
勤め人 (n=611)	時間がない 69.6	身近に実施できる施設がない 28.0	経済的に余裕がない 25.5	できる仲間がない 16.7	面倒くさい 14.2
無職・学生・その他 (n=366)	時間がない 41.8	身近に実施できる施設がない 24.9	経済的に余裕がない 19.1	できる仲間がない 17.2	面倒くさい 15.6

(3LA%)

〔11〕スポーツクラブ21の認知度

問10 あなたは、総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブ21」をご存じですか。
該当する項目に 印をつけて下さい。(1つまで)

【図11-1 スポーツクラブ21の認知度】

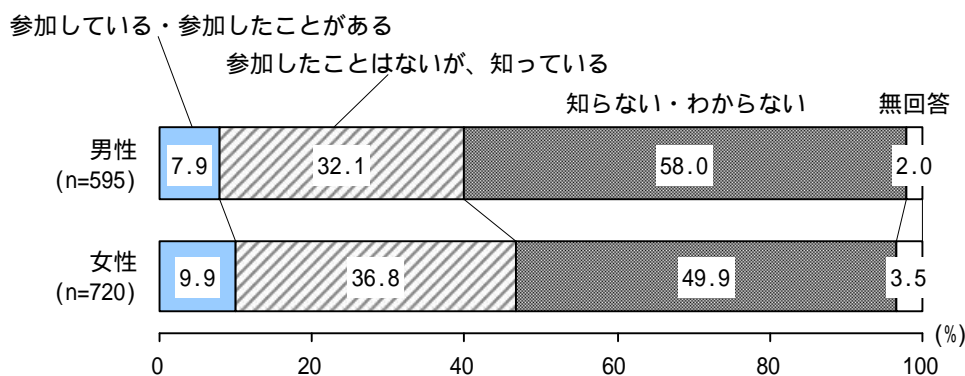


スポーツクラブ21の認知度については、「知らない・わからない」が53.2%と過半数を占めて最も多い。一方、「参加したことはないが、知っている」は34.5%、「参加している・参加したことがある」は9.2%となっている。

前回調査と比較すると、「知らない・わからない」は前回より3.8ポイント低く、「参加している・参加したことがある」が1.5ポイント、「参加したことはないが、知っている」が2.2ポイント前回より高くなっている。(図11-1)

性別で見ると、男女とも「知らない・わからない」が最も多くなっている。「参加している・参加したことがある」、「参加したことはないが、知っている」は、男性より女性のほうが高い割合になっており、「参加している・参加したことがある」と「参加したことはないが、知っている」を合わせた割合は、男性40.0%に対し女性46.7%となっている。(図11-1-1)

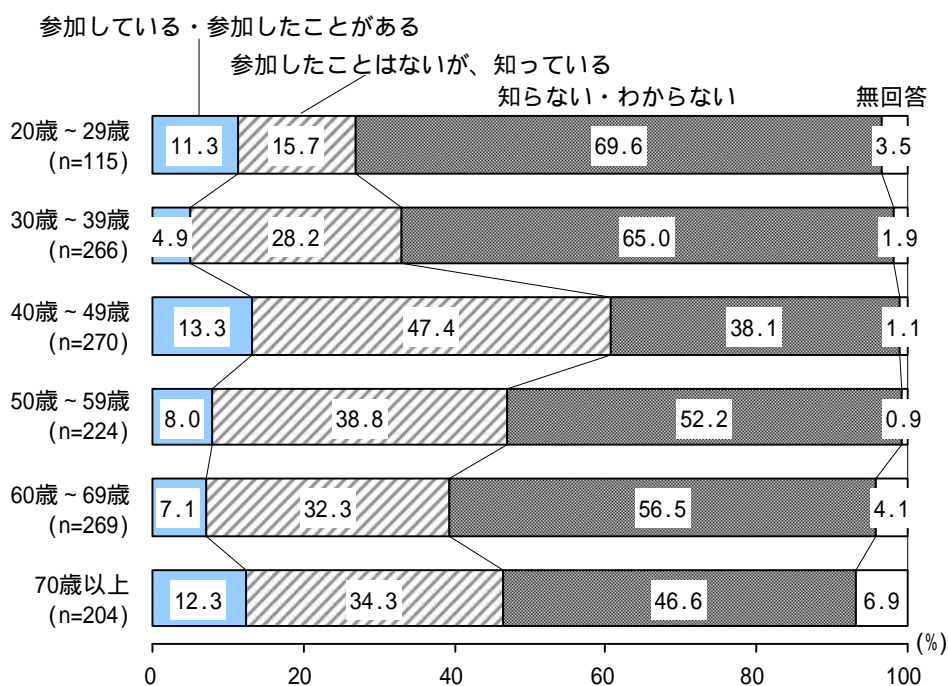
【図11-1-1 性別 スポーツクラブ21の認知度】



年齢別で見ると、40歳～49歳を除く20歳～69歳の年代では「知らない・わからない」が過半数を占めている。一方、40歳～49歳では「参加している・参加したことがある」(13.3%)と「参加したことはないが、知っている」(47.4%)の割合が他の年代に比べ高く、「参加している・参加したことがある」と「参加したことはないが、知っている」

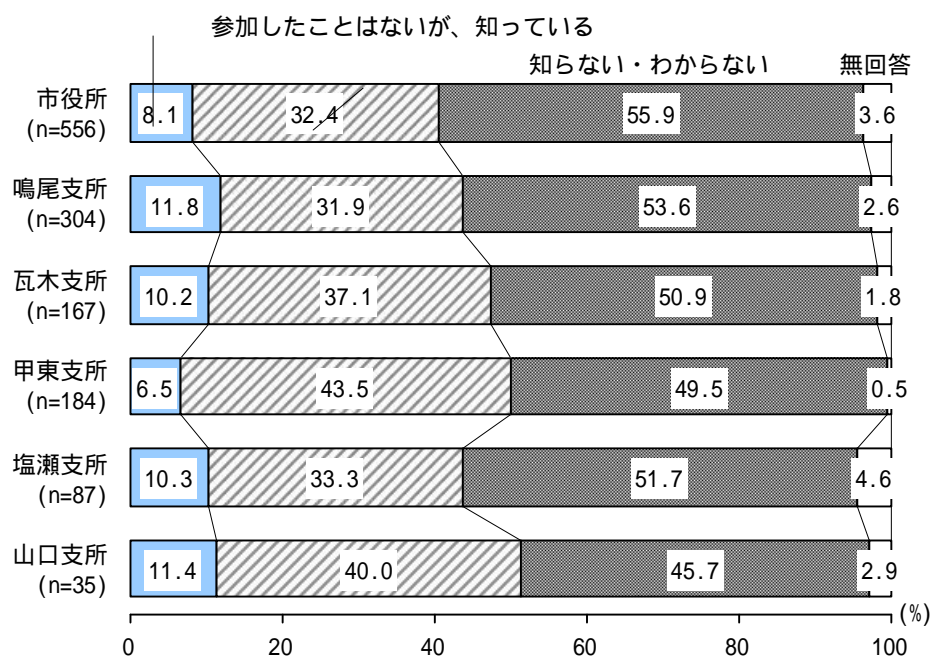
を合わせた割合は60.7%となっている。(図11-1-2)

【図11-1-2 年齢別 スポーツクラブ21の認知度】



居住地区別でみると、いずれの地区も「知らない・わからない」が最も多くなっているが、「参加している・参加したことがある」と「参加したことはないが、知っている」を合わせた割合は、甲東支所(50.0%)と山口支所(51.4%)では5割台を占めている。(図11-1-3)

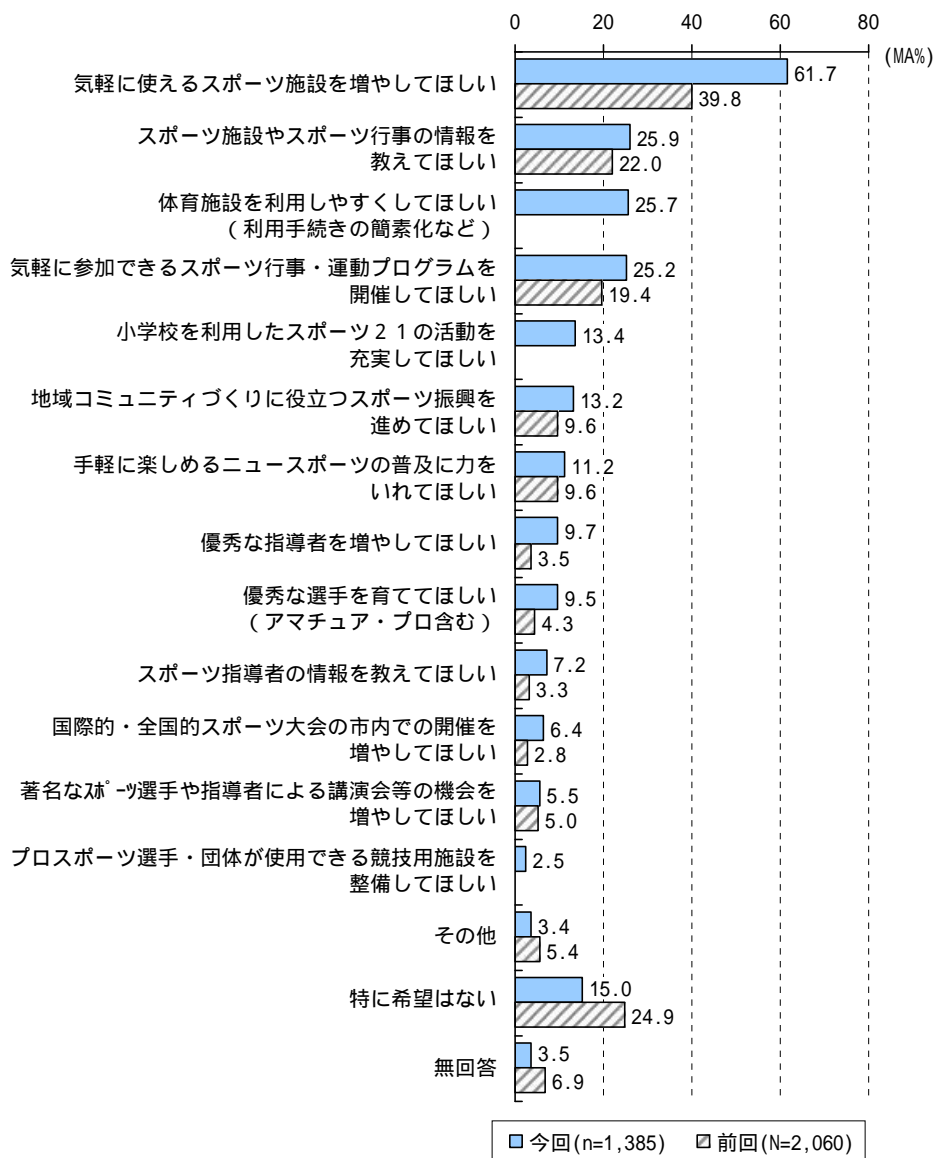
【図11-1-3 居住地区別 スポーツクラブ21の認知度】



〔12〕 今後、運動・スポーツに関して望むこと

問 11 今後、運動・スポーツに関してどのようなことを望みますか。
 該当する項目に 印をつけて下さい。(いくつでも選択可)

【図12-1 今後、運動・スポーツに関して望むこと】



前回調査では「体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など)」、「小学校を利用したスポーツ21の活動を充実してほしい」、「プロスポーツ選手・団体が利用できる競技用施設を整備してほしい」の選択肢はなかった。

今後、運動・スポーツに関して望むことについては、「気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい」が61.7%で最も多く、次いで「スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい」(25.9%)と「体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など)」(25.7%)、「気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい」(25.2%)が、ほぼ横並びの25%台となっている。

前回調査と比較すると、「気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい」は前回より21.9ポイント高くなっている。(図12-1)

性別で見ると、男女とも「気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい」が6割台で最も多く、次いで、男性は「気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催し

てほしい」(27.4%)、女性は「体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など)」(27.1%)が多くなっている。(表12-1-1)

【表12-1-1 性別 今後、運動・スポーツに関して望むこと(上位5項目)】

(MA%)					
性別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=595)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 65.5	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 27.4	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 26.1	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 25.2	手軽に楽しめるニュースポーツの普及に力をいれてほしい 14.5
女性 (n=720)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 60.1	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 27.1	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 25.7	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 24.0	小学校を利用したスポーツ21の活動を充実してほしい 12.9

年齢別でみると、いずれの年代も「気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい」が最も多く、20歳～49歳の年代では7割前後となっているが、高齢になるほど割合が低下している。(表12-1-2)

【表12-1-2 年齢別 今後、運動・スポーツに関して望むこと(上位5項目)】

(MA%)					
年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳～29歳 (n=115)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 72.2	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 38.3	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 31.3	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 27.8	国際的・全国的スポーツ大会の市内での開催を増やしてほしい/小学校を利用したスポーツ21の活動を充実してほしい 11.3
30歳～39歳 (n=266)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 71.1	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 31.2	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 29.3	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 28.9	小学校を利用したスポーツ21の活動を充実してほしい 14.3
40歳～49歳 (n=270)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 69.6	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 31.1	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 29.6	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 27.4	小学校を利用したスポーツ21の活動を充実してほしい 19.3
50歳～59歳 (n=224)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 62.9	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 27.7	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 23.7	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 23.2	地域コミュニティづくりに役立つスポーツ振興を進めてほしい 12.5
60歳～69歳 (n=269)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 53.5	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 29.4	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 24.9	地域コミュニティづくりに役立つスポーツ振興を進めてほしい 16.4	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 15.6
70歳以上 (n=204)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 45.1	手軽に楽しめるニュースポーツの普及に力をいれてほしい 21.6	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 18.1	地域コミュニティづくりに役立つスポーツ振興を進めてほしい 15.7	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 15.2

居住地区別でみると、いずれの地区も「気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい」が最も多く6割前後を占めるが、山口支所は48.6%と他の地区に比べ低い。また、「気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい」は、鳴尾支所(30.3%)が他の地区より割合が高くなっている。(表12-1-3)

【表12-1-3 居住地区別 今後、運動・スポーツに関して望むこと(上位5項目)】

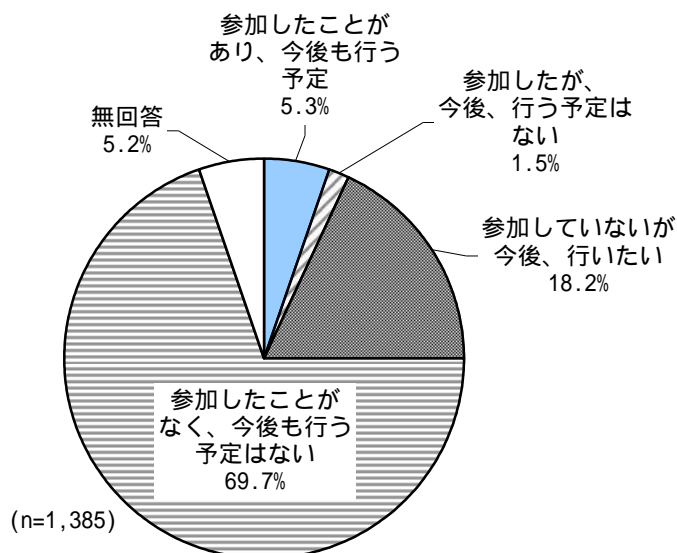
居住地区	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
市役所 (n=556)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 59.4	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 27.0	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 25.7	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 24.5	小学校を利用したスポーツ21の活動を充実してほしい 12.9
鳴尾支所 (n=304)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 64.5	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 30.3	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 26.3	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 25.7	小学校を利用したスポーツ21の活動を充実してほしい 15.5
瓦木支所 (n=167)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 66.5	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 29.3	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 27.5	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 26.9	小学校を利用したスポーツ21の活動を充実してほしい/地域コミュニティづくりに役立つスポーツ振興を進めてほしい 16.8
甲東支所 (n=184)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 67.4	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 27.7	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 25.5	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 20.7	地域コミュニティづくりに役立つスポーツ振興を進めてほしい 17.9
塩瀬支所 (n=87)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 58.6	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい 21.8	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 19.5	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 18.4	地域コミュニティづくりに役立つスポーツ振興を進めてほしい 17.2
山口支所 (n=35)	気軽に使えるスポーツ施設を増やしてほしい 48.6	気軽に参加できるスポーツ行事・運動プログラムを開催してほしい 20.0	体育施設を利用しやすくしてほしい(利用手続きの簡素化など) 17.1	スポーツ施設やスポーツ行事の情報を教えてほしい/優秀な選手を育ててほしい(アマチュア・プロ含む)/地域コミュニティづくりに役立つスポーツ振興を進めてほしい 11.4	

〔13〕運動・スポーツに関わるボランティア活動

ボランティア活動の参加状況

問 12 あなたは、過去1年間に運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したことがありますか。該当する番号1つに 印をつけて下さい。

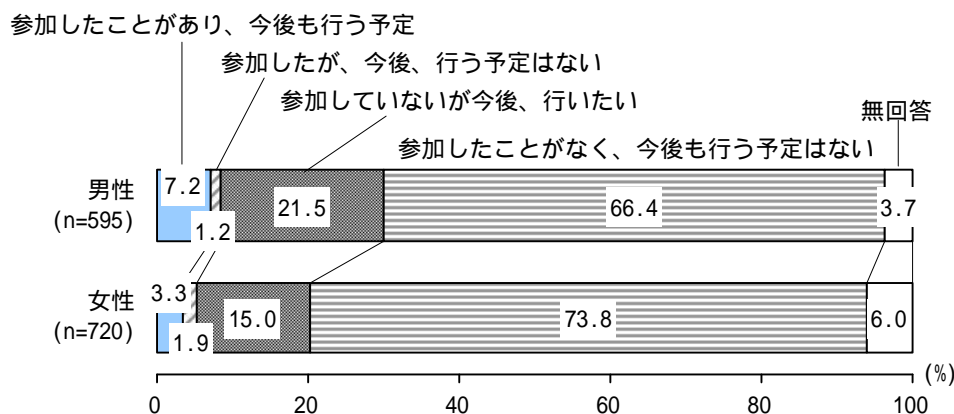
【図13-1 ボランティア活動の参加状況】



運動・スポーツのボランティア活動の参加状況については、「参加したことがなく、今後行う予定はない」が69.7%で最も多い。今後の参加意向は、「参加していないが今後、行いたい」(18.2%)が多く、「参加していないが今後、行いたい」と「参加したことがなく、今後行う予定はない」は87.9%を占めている。一方、「参加したことがあり、今後行う予定」と「参加したが、今後、行う予定はない」を合わせた割合は6.8%と1割にも満たない。(図13-1)

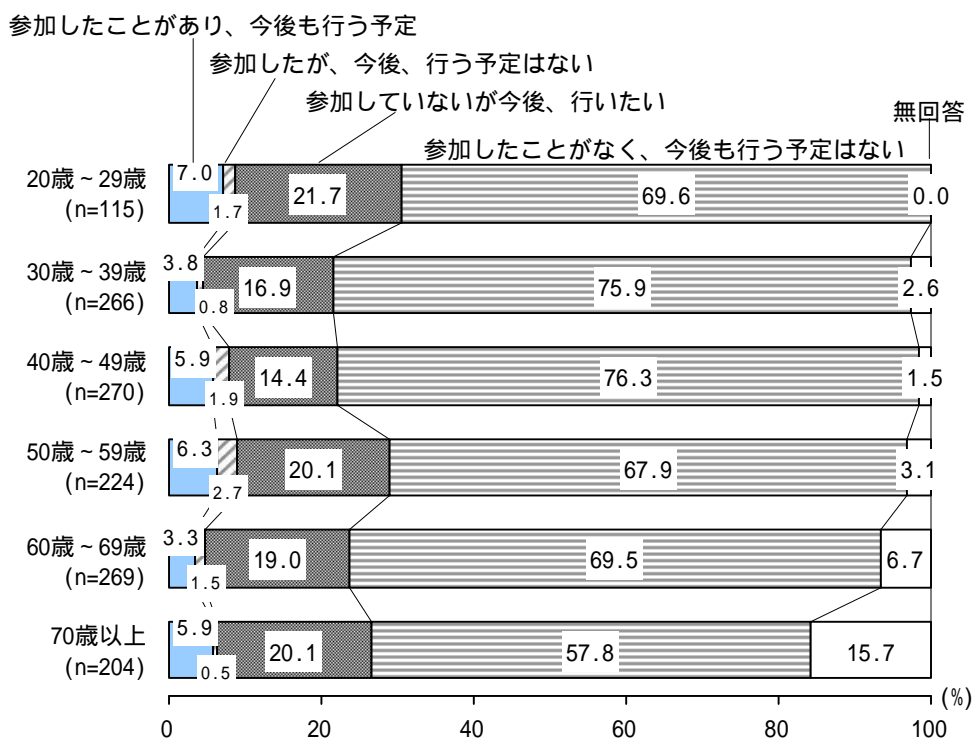
性別でみると、男女とも「参加したことがなく、今後行う予定はない」が過半数を占めている。「参加していないが今後、行いたい」は、男性が21.5%、女性は15.0%となっており、男性のほうが6.5ポイント高い。また、「参加したことがあり、今後行う予定」は男性が7.2%、女性は3.3%となっている。(図13-1-1)

【図13-1-1 性別 ボランティア活動の参加状況】



年齢別でみると、いずれの年代も「参加したことがなく、今後行う予定はない」が過半数を占めている。「参加していないが今後、行いたい」は、20歳～29歳が21.7%で最も高く、50歳以上の年代も2割前後となっているが、30歳～49歳の年代の割合は低くなっている。(図13-1-2)

【図13-1-2 年齢別 ボランティア活動の参加状況】



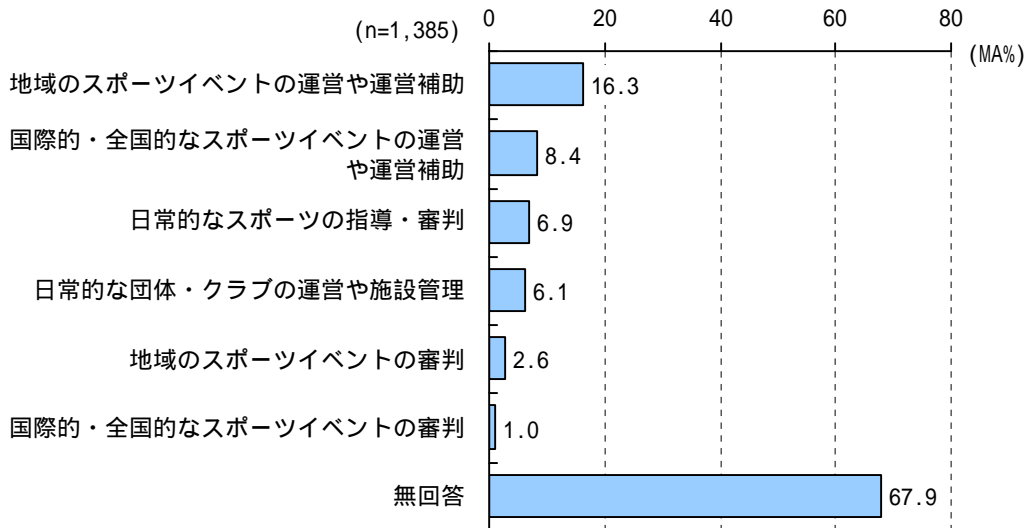
ボランティア活動内容

「参加した」と回答された方にお聞きします。参加したことがあるボランティア活動は何ですか。

「参加していない」と回答された方にお聞きします。今後、機会があれば行いたいボランティア活動は何ですか。

(いくつでも選択可)

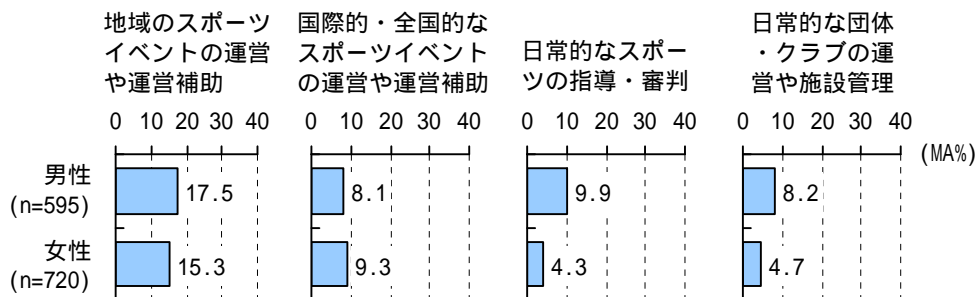
【図13-2 ボランティア活動内容】



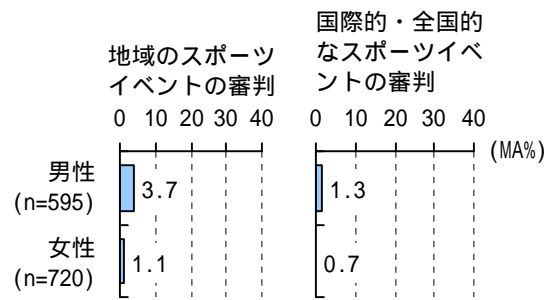
ボランティア活動内容については、「地域のスポーツイベントの運営や運営補助」が16.3%で最も多く、次いで「国際的・全国的なスポーツイベントの運営や運営補助」が8.4%、「日常的なスポーツの指導・審判」が6.9%となっている。(図13-2)

性別でみると、男女とも「地域のスポーツイベントの運営や運営補助」が最も多くなっている。また、「日常的なスポーツの指導・審判」と「日常的な団体・クラブの運営や施設管理」を合わせた割合では、女性(9.0%)より男性(18.1%)のほうが9.1ポイント高くなっている。(図13-2-1)

【図13-2-1 性別 ボランティア活動内容】

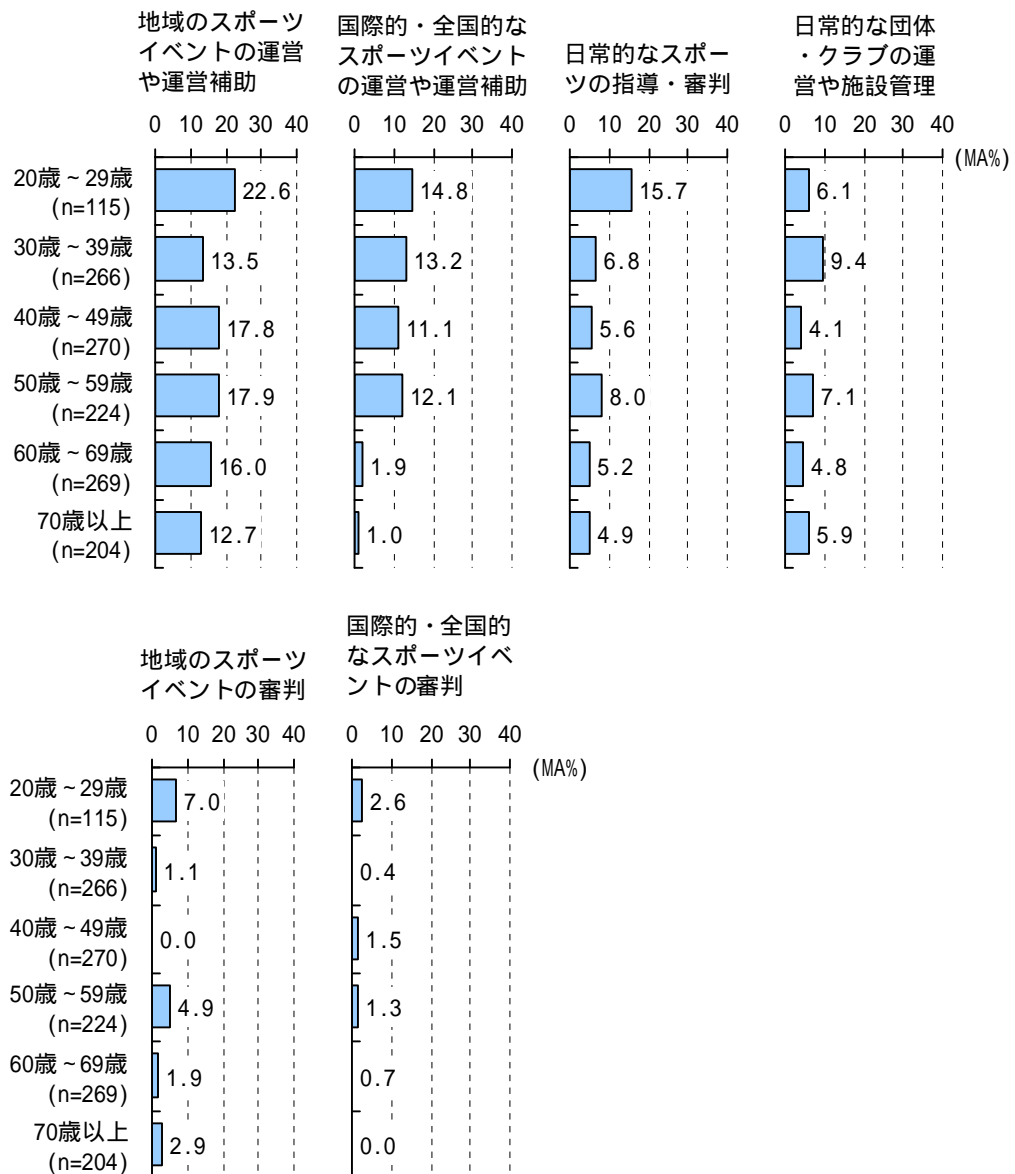


【図13-2-1 性別 ボランティア活動内容】



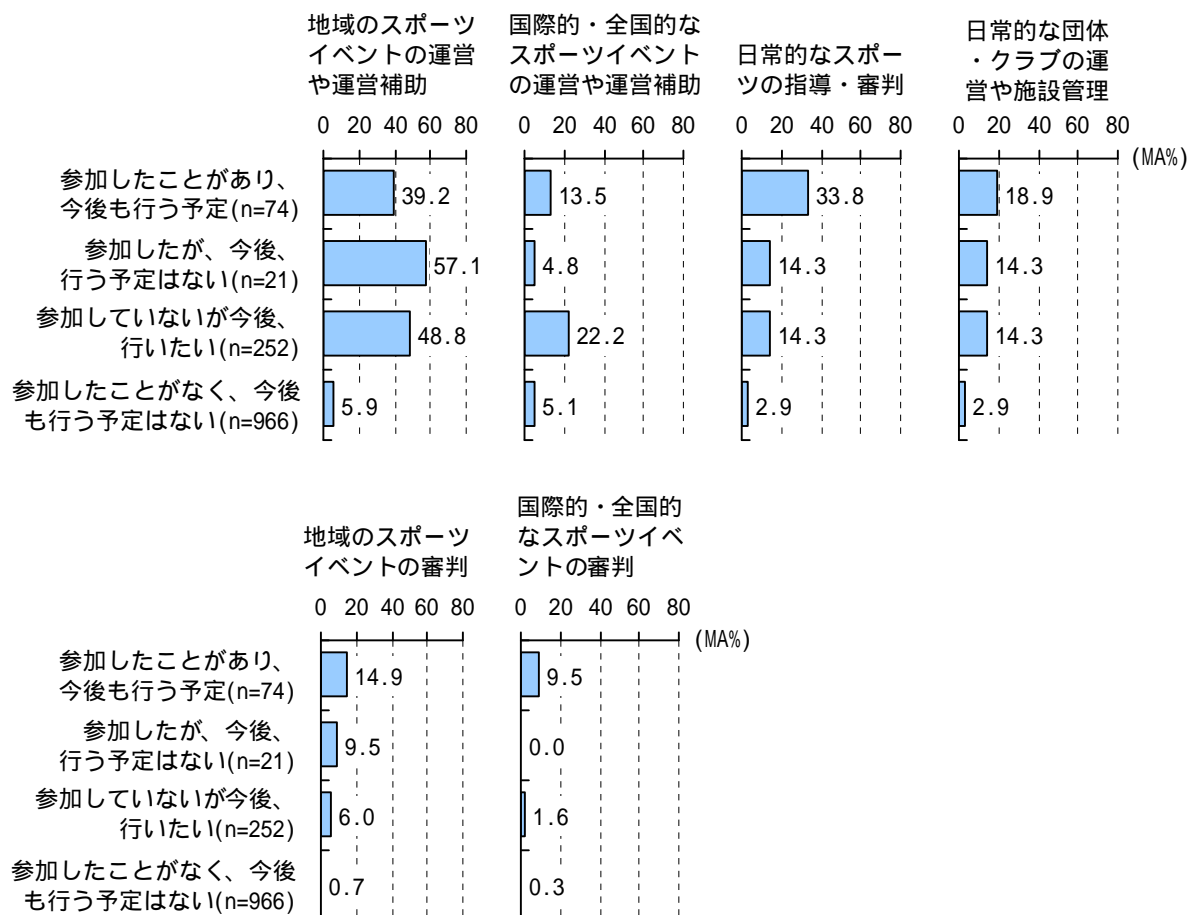
年齢別でみると、いずれの年代も「地域のスポーツイベントの運営や運営補助」が最も多く、なかでも20歳～29歳は22.6%と高くなっている。また、20歳～29歳は他のボランティア活動でも割合が高く、若い年代ほど参加意欲が高い傾向がみられる。(図13-2-2)

【図13-2-2 年齢別 ボランティア活動内容】



ボランティア活動の参加状況別でみると、参加状況に関わらず「地域のスポーツイベントの運営や運営補助」が最も多くなっている。また、参加したことがあり、今後行う予定の人は「日常的なスポーツの指導・審判」(33.8%)が、参加していないが今後、行いたい人は「国際的・全国的なスポーツイベントの運営や運営補助」(22.2%)が、それぞれ他の参加状況の人に比べ割合が高くなっている。(図13-2-3)

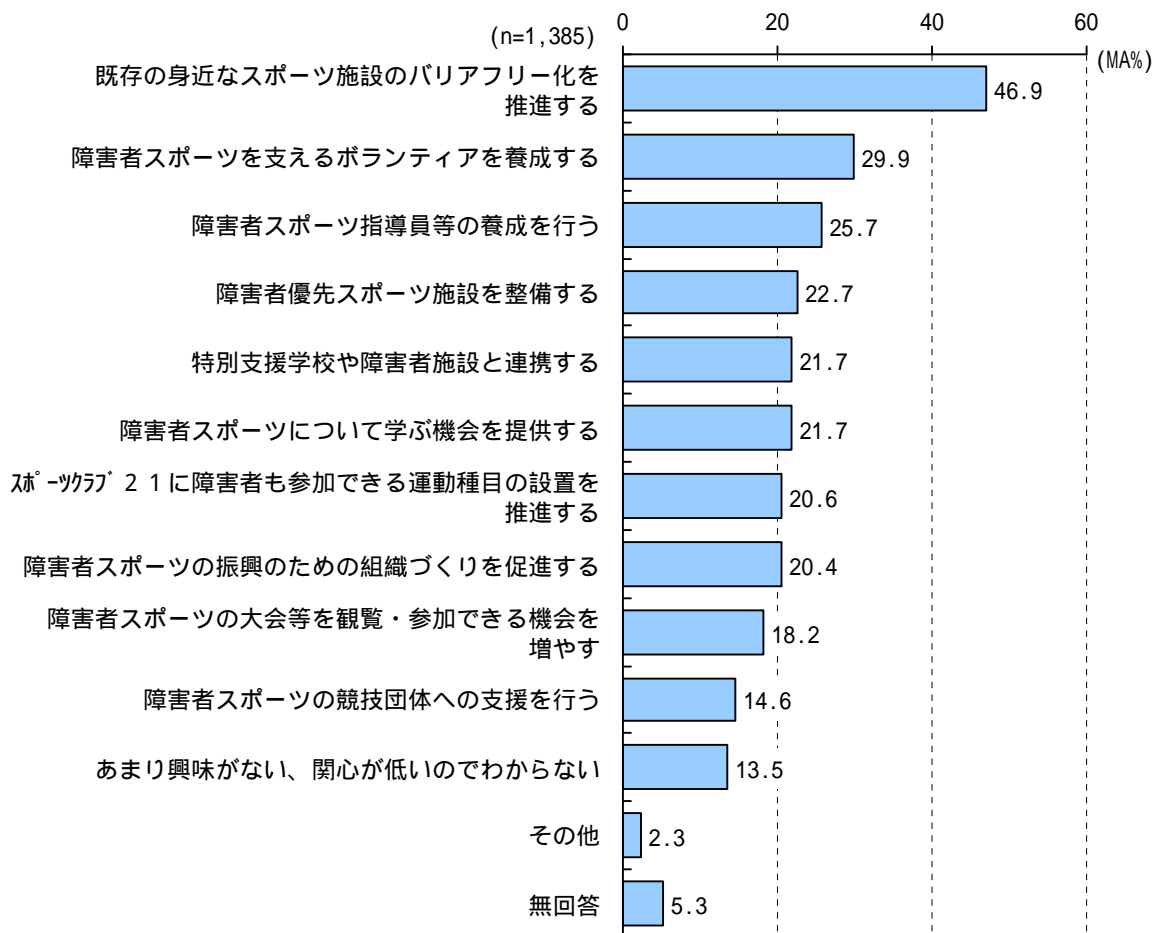
【図13-2-3 ボランティア活動の参加状況別 ボランティア活動内容】



〔14〕 障害者の運動・スポーツの普及・振興のために必要なこと

問 13 障害のある人の運動・スポーツの普及・振興のために必要なことは何だと思えますか。該当する項目に 印をつけて下さい。(いくつでも選択可)

【図14-1 障害者の運動・スポーツの普及・振興のために必要なこと】



障害者の運動・スポーツの普及・振興のために必要なことについては、「既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する」が46.9%で最も多く、次いで「障害者スポーツを支えるボランティアを養成する」が29.9%、「障害者スポーツ指導員等の養成を行う」が25.7%と続いている。(図14-1)

性別で見ると、男女とも「既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する」が4割台で最も多く、次いで「障害者スポーツを支えるボランティアを養成する」が3割前後となっている。(表14-1-1)

【表14-1-1 性別 障害者の運動・スポーツの普及・振興のために必要なこと(上位5項目)】

性別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=595)	既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する 46.4	障害者スポーツを支えるボランティアを養成する 30.1	障害者優先スポーツ施設を整備する 26.9	障害者スポーツ指導員等の養成を行う 26.6	障害者スポーツの振興のための組織づくりを促進する 23.4
女性 (n=720)	既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する 48.3	障害者スポーツを支えるボランティアを養成する 29.6	障害者スポーツ指導員等の養成を行う 25.4	特別支援学校や障害者施設と連携する 23.8	障害者スポーツについて学ぶ機会を提供する 23.1

年齢別でみると、いずれの年代も「既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する」が最も多く、20歳～39歳の年代では5割台となっているが、高齢になるほど割合が低下している。また、20歳～29歳は「障害者スポーツについて学ぶ機会を提供する」(36.5%)、30歳～39歳は「特別支援学校や障害者施設と連携する」(31.6%)、50歳～59歳では「障害者スポーツを支えるボランティアを養成する」(40.2%)が、それぞれ他の年代に比べ割合が高くなっている。(表14-1-2)

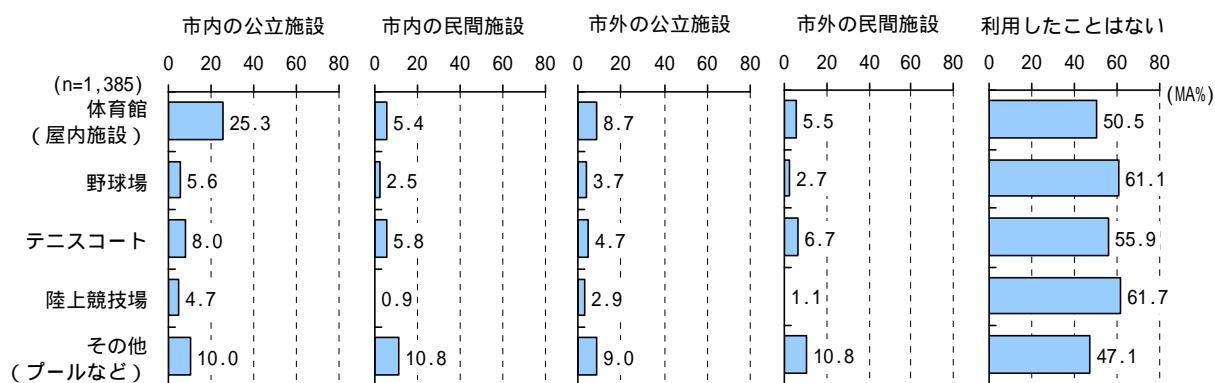
【表14-1-2 年齢別 障害者の運動・スポーツの普及・振興のために必要なこと(上位5項目)】

年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳～29歳 (n=115)	既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する 55.7	障害者スポーツについて学ぶ機会を提供する 36.5	障害者スポーツの大会等を観覧・参加できる機会を増やす 29.6	障害者スポーツ指導員等の養成を行う/障害者スポーツを支えるボランティアを養成する	26.1
30歳～39歳 (n=266)	既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する 56.4	特別支援学校や障害者施設と連携する 31.6	障害者スポーツを支えるボランティアを養成する 24.1	障害者スポーツについて学ぶ機会を提供する 22.2	スポーツクラブ 21に障害者も参加できる運動種目の設置を推進する 21.1
40歳～49歳 (n=270)	既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する 48.1	障害者スポーツを支えるボランティアを養成する 33.3	特別支援学校や障害者施設と連携する 27.4	障害者スポーツ指導員等の養成を行う 25.9	障害者優先スポーツ施設を整備する/スポーツクラブ 21に障害者も参加できる運動種目の設置を推進する 24.8
50歳～59歳 (n=224)	既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する 48.2	障害者スポーツを支えるボランティアを養成する 40.2	障害者スポーツ指導員等の養成を行う 36.2	障害者優先スポーツ施設を整備する 25.0	障害者スポーツについて学ぶ機会を提供する 22.3
60歳～69歳 (n=269)	既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する 45.0	障害者スポーツを支えるボランティアを養成する 28.6	障害者スポーツ指導員等の養成を行う 25.3	障害者優先スポーツ施設を整備する 24.9	障害者スポーツの振興のための組織づくりを促進する 21.2
70歳以上 (n=204)	既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化を推進する 30.4	障害者スポーツを支えるボランティアを養成する 26.5	障害者スポーツ指導員等の養成を行う 24.5	障害者優先スポーツ施設を整備する/あまり興味がない、関心が低いのでわからない	20.1

〔15〕 利用したことがある施設

問 14 体育施設を利用されたことがある方は、どの施設を利用されましたか。該当する欄に 印をつけて下さい。利用されたことがない場合は、「利用したことはない」に 印をつけて下さい。(いくつでも選択可)

【図15-1 利用したことがある施設】

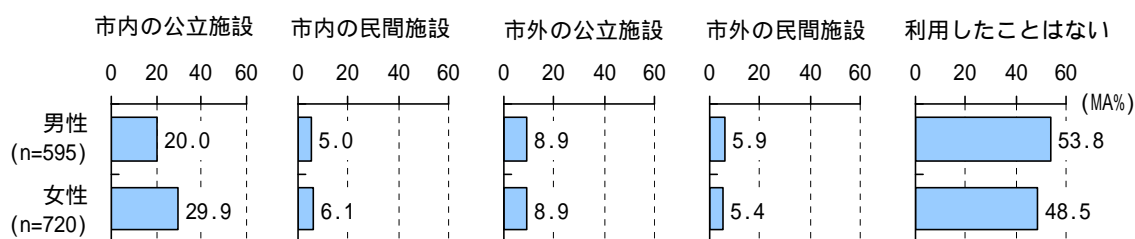


「利用したことはない」では、いずれの施設も過半数を占めている。

一方、利用したことがある施設は、いずれの施設も「市内の公立施設」が最も多く、なかでも体育館（屋内施設）が25.3%で最も高くなっている。(図15-1)

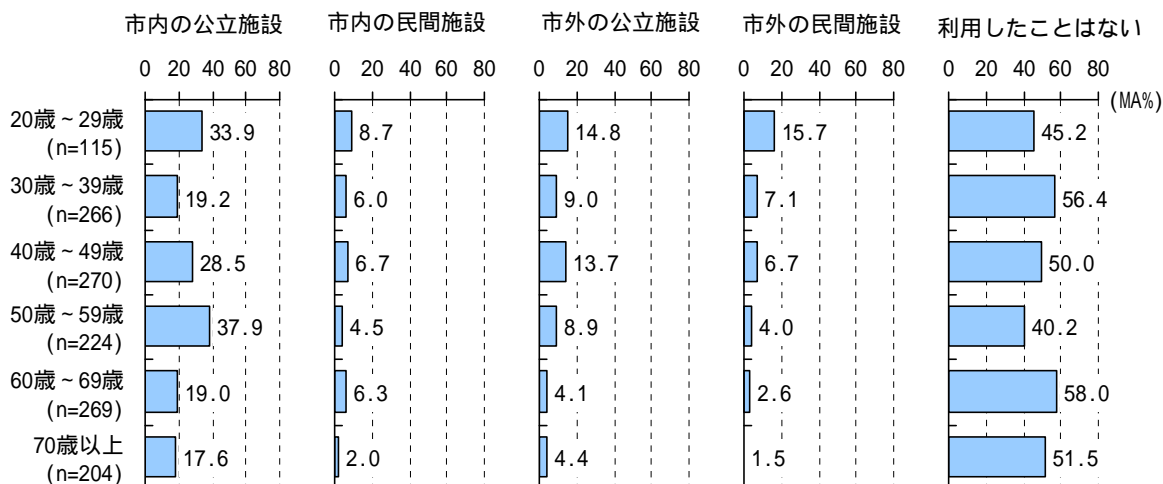
体育館（屋内施設）の利用を性別でみると、男女とも「市内の公立施設」が最も多いが、男性（20.0%）より女性（29.9%）のほうが9.9ポイント高い。（図15-1-1）

【図15-1-1 性別 利用したことがある施設（体育館（屋内施設））】



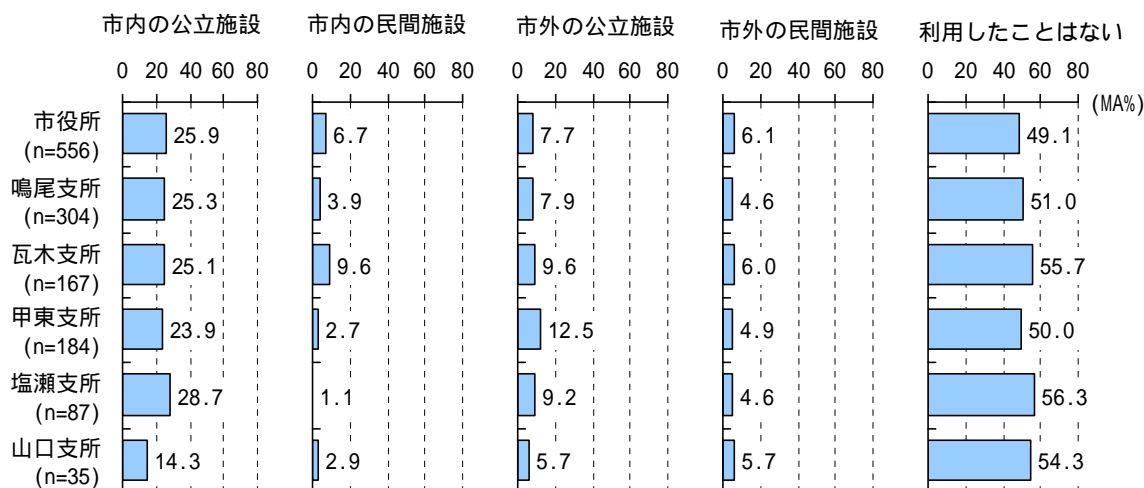
体育館（屋内施設）の利用を年齢別でみると、いずれの年代も「市内の公立施設」が最も多い。なかでも50歳～59歳が37.9%で最も高く、次いで20歳～29歳が33.9%となっている。（図15-1-2）

【図15-1-2 年齢別 利用したことがある施設（体育館（屋内施設））】



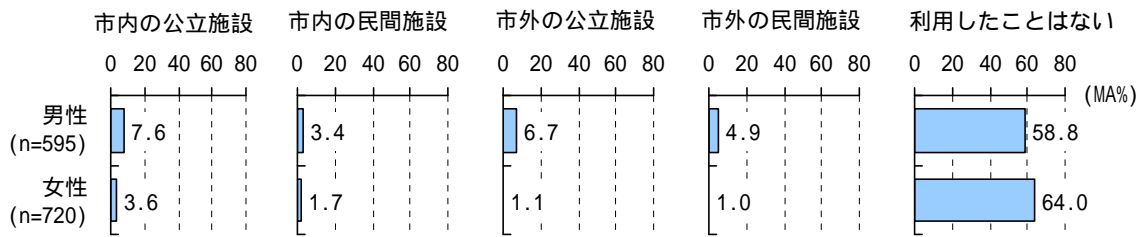
体育館（屋内施設）の利用を居住地区別でみると、いずれの地区も「市内の公立施設」が最も多く、山口支所以外の地区では2割台となっている。（図15-1-3）

【図15-1-3 居住地区別 利用したことがある施設（体育館（屋内施設））】



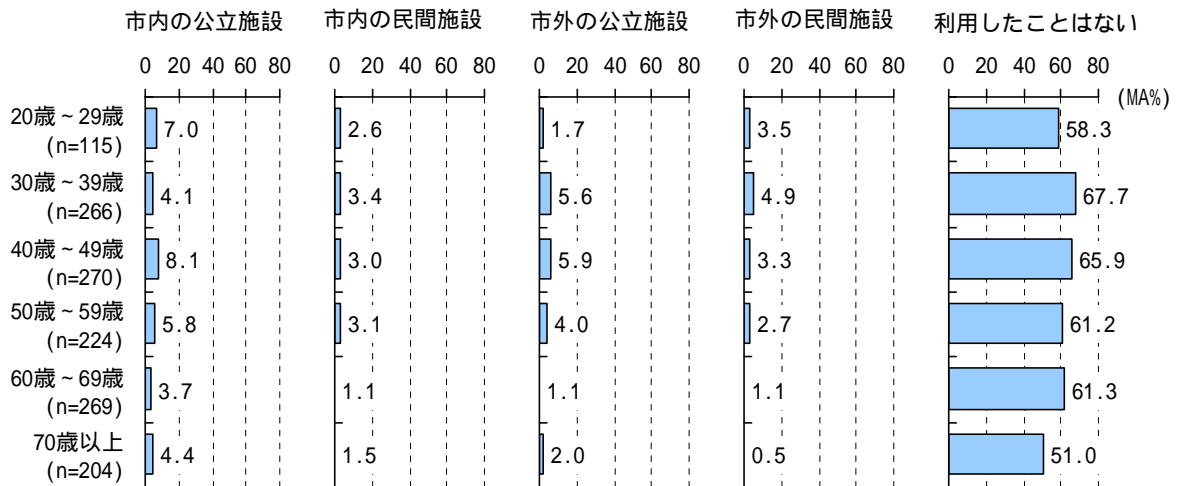
野球場の利用を性別でみると、男女とも「市内の公立施設」が最も多くなっており、いずれの施設も女性より男性のほうが高い割合になっている。(図15-1-4)

【図15-1-4 性別 利用したことがある施設(野球場)】



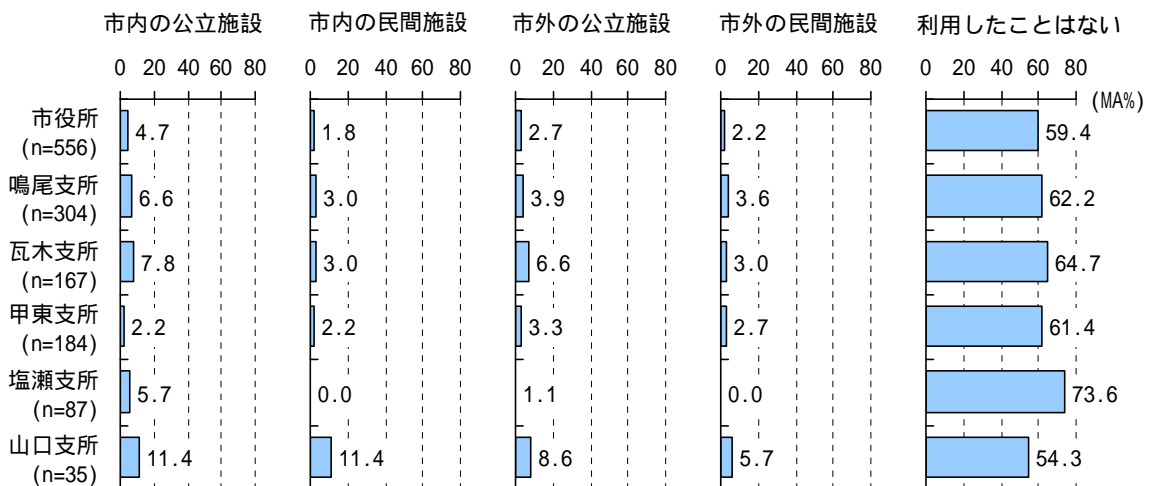
野球場の利用を年齢別でみると、30歳～39歳は「市外の公立施設」(5.6%)が最も多く、それ以外の年代では「市内の公立施設」が最も多くなっている。また、30歳～39歳は民間施設、40歳～49歳では公立施設が、それぞれ他の年代と比べ割合が高い。(図15-1-5)

【図15-1-5 年齢別 利用したことがある施設(野球場)】



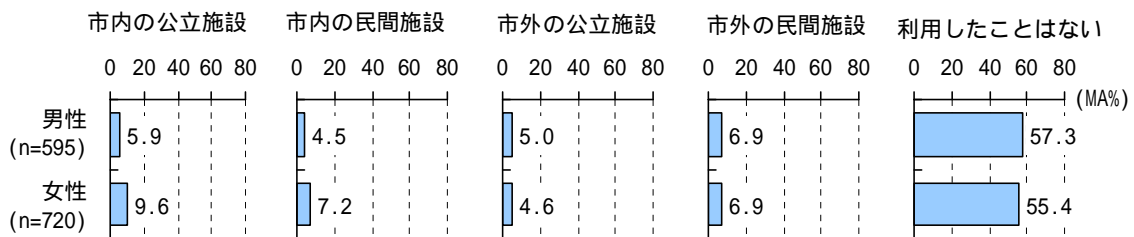
野球場の利用を居住地区別でみると、甲東支所は「市外の公立施設」(3.3%)が最も多く、それ以外の地区は「市内の公立施設」が最も多い。また、山口支所はいずれの施設も他の地区に比べ割合が高くなっている。(図15-1-6)

【図15-1-6 居住地区別 利用したことがある施設(野球場)】



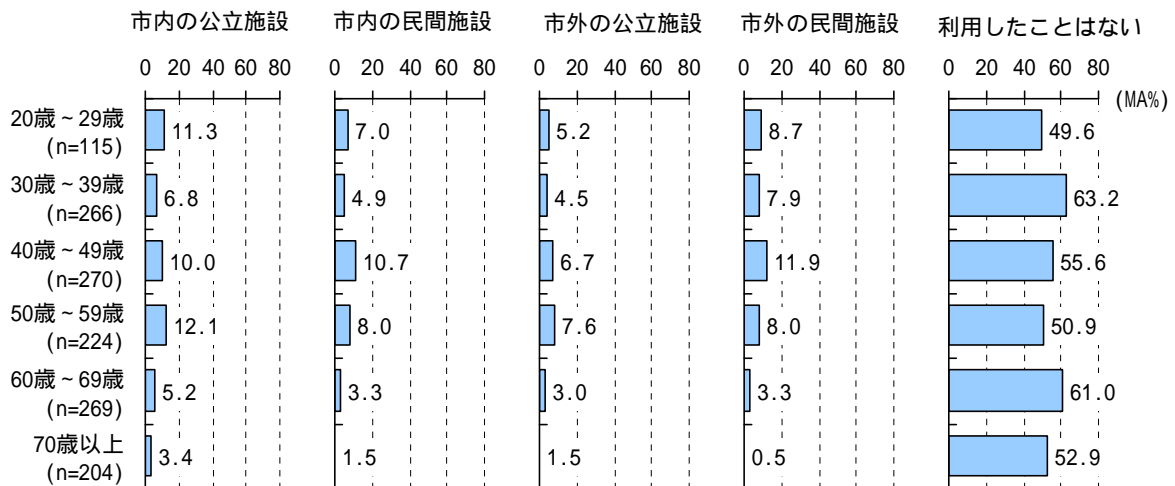
テニスコートの利用を性別で見ると、男性は「市外の民間施設」(6.9%)、女性は「市内の公立施設」(9.6%)が、それぞれ最も多くなっている。(図15-1-7)

【図15-1-7 性別 利用したことがある施設(テニスコート)】



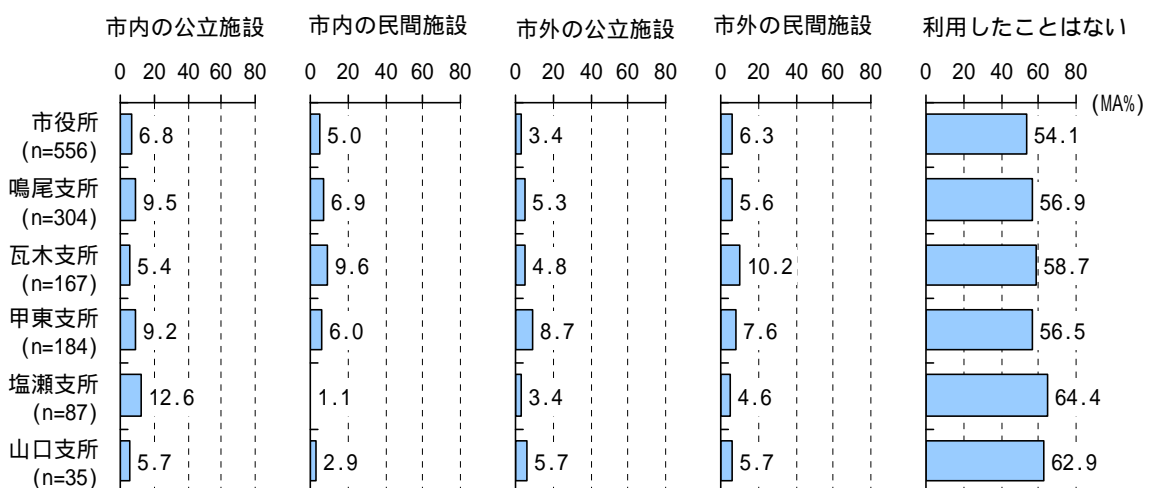
テニスコートの利用を年齢別で見ると、30歳～49歳の年代は「市外の民間施設」、20歳～29歳と50歳以上の年代では「市内の公立施設」が最も多くなっている。また、40歳～49歳は民間施設、50歳～59歳では公立施設が、それぞれ他の年代と比べ割合が高い。(図15-1-8)

【図15-1-8 年齢別 利用したことがある施設(テニスコート)】



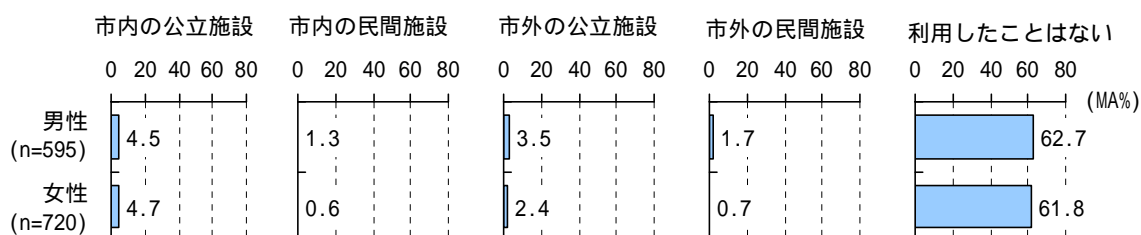
テニスコートの利用を居住地区別で見ると、瓦木支所は「市外の民間施設」(10.2%)が最も多く、それ以外の地区は「市内の公立施設」となっており、なかでも塩瀬支所は12.6%と高い。また、瓦木支所は他の地区より民間施設の割合が高い。(図15-1-9)

【図15-1-9 居住地区別 利用したことがある施設(テニスコート)】



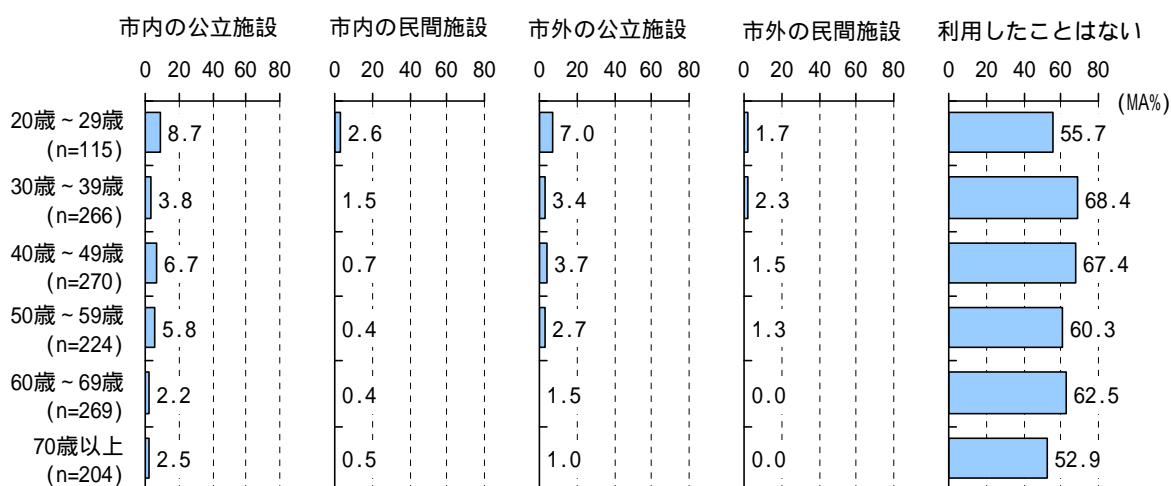
陸上競技場の利用を性別でみると、男女とも「市内の公立施設」となっている。(図15-1-10)

【図15-1-10 性別 利用したことがある施設（陸上競技場）】



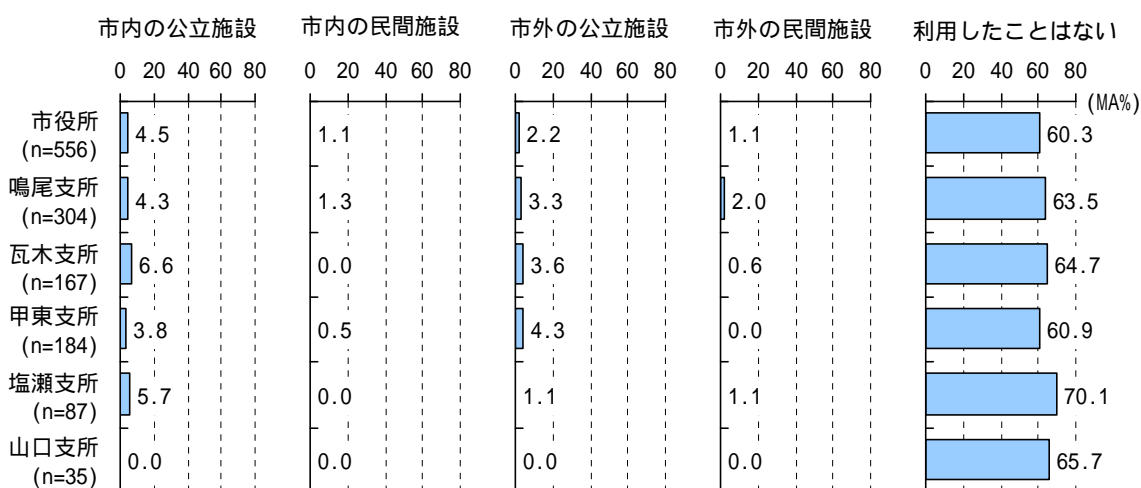
陸上競技場の利用を年齢別でみると、いずれの年代も「市内の公立施設」が最も多い。また、20歳～29歳は他の年代より公立施設の割合が高くなっている。(図15-1-11)

【図15-1-11 年齢別 利用したことがある施設（陸上競技場）】



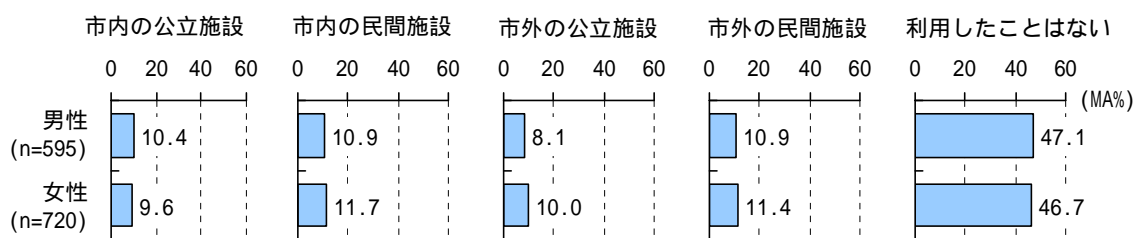
陸上競技場の利用を居住地区別でみると、山口支所はいずれの施設も利用者はなく、甲東支所は「市外の公立施設」、それ以外の地区は「市内の公立施設」が最も多くなっている。(図15-1-12)

【図15-1-12 居住地区別 利用したことがある施設（陸上競技場）】



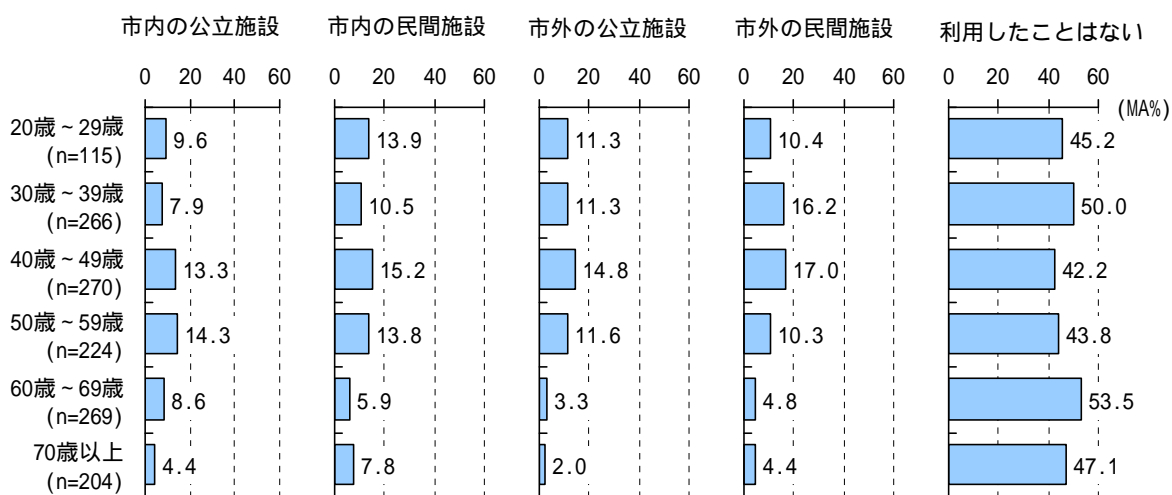
その他（プールなど）の利用を性別でみると、男女とも「市内の民間施設」が最も多く、男性では同率で「市外の民間施設」（10.9%）も多くなっている。（図15-1-13）

【図15-1-13 性別 利用したことがある施設（その他（プールなど））】



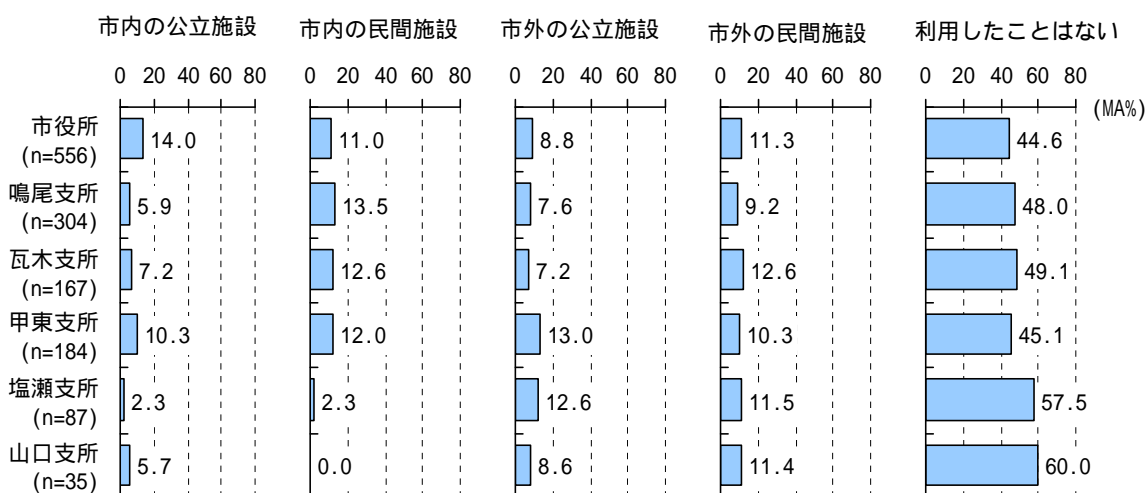
その他（プールなど）の利用を年齢別でみると、20歳～29歳と70歳以上は「市内の民間施設」、30歳～49歳の年代は「市外の民間施設」、50歳～69歳の年代は「市内の公立施設」が、それぞれ最も多くなっている。（図15-1-14）

【図15-1-14 年齢別 利用したことがある施設（その他（プールなど））】



その他（プールなど）を居住地区別でみると、市役所は「市内の公立施設」、鳴尾支所と瓦木支所は「市内の民間施設」、甲東支所と塩瀬支所は「市外の公立施設」、同率の瓦木支所と山口支所は「市外の民間施設」が、それぞれ最も多くなっている。（図15-1-15）

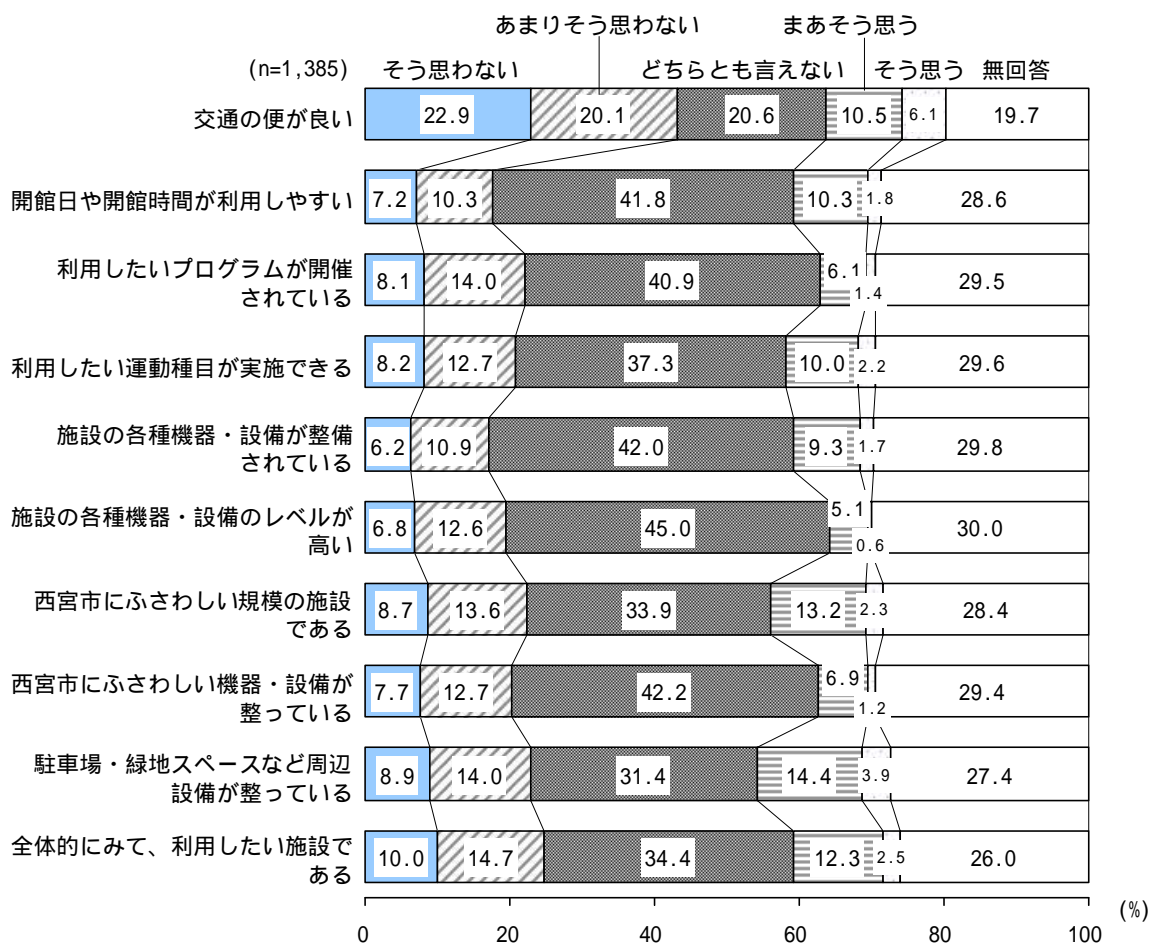
【図15-1-15 居住地区別 利用したことがある施設（その他（プールなど））】



〔16〕中央体育館に対する評価

問 15 市立中央体育館（河原町）についてお聞きします。市立中央体育館を利用されたことがある方はその時の経験をもとに、利用されたことがない方は市立中央体育館に対する評判やイメージをもとに、該当する番号に 印をつけて下さい。

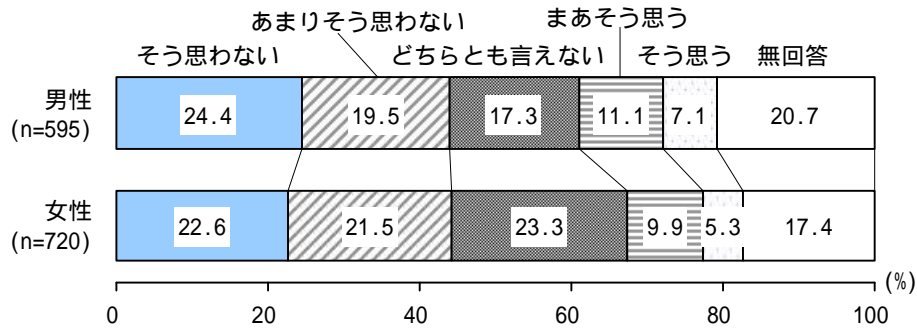
【図16-1 中央体育館に対する評価】



中央体育館に対する評価については、“交通の便が良い”では「そう思わない」が22.9%で最も多く、「あまりそう思わない」(20.1%)と合わせて43.0%となっている。それ以外の項目では「どちらとも言えない」が最も多くなっており、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合より「そう思わない」、「あまりそう思わない」をあわせた割合のほうが高い割合となっている。(図16-1)

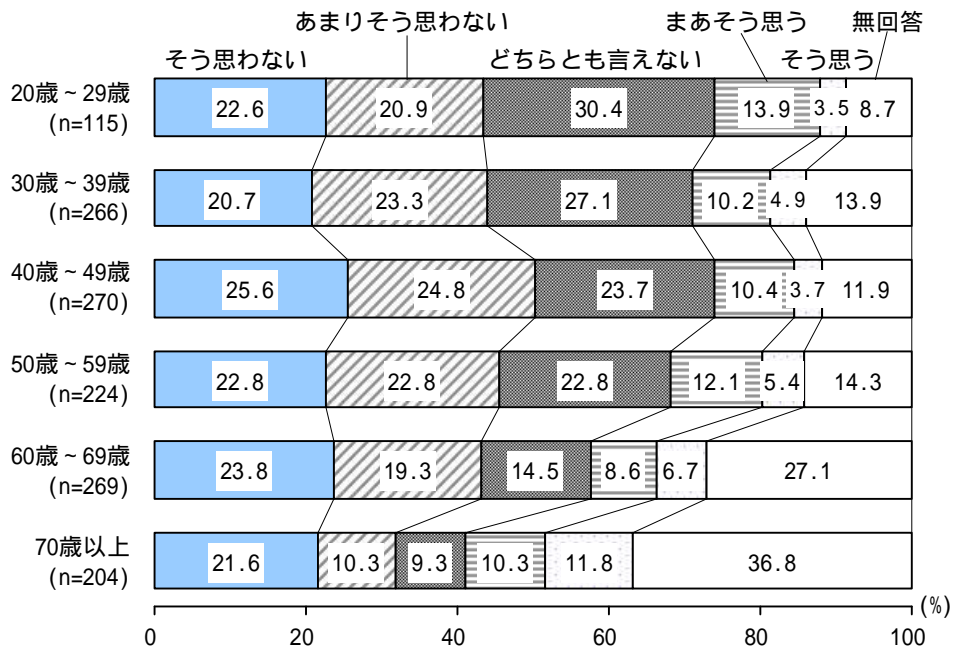
“ 交通の便が良い ” を性別で見ると、男女とも「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合が4割台を占めており、一方「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合は、女性（15.2%）より男性（18.2%）のほうが3.0ポイント高い。
 (図16-1- -1)

【図16-1- -1 性別 中央体育館に対する評価（ 交通の便が良い ）】



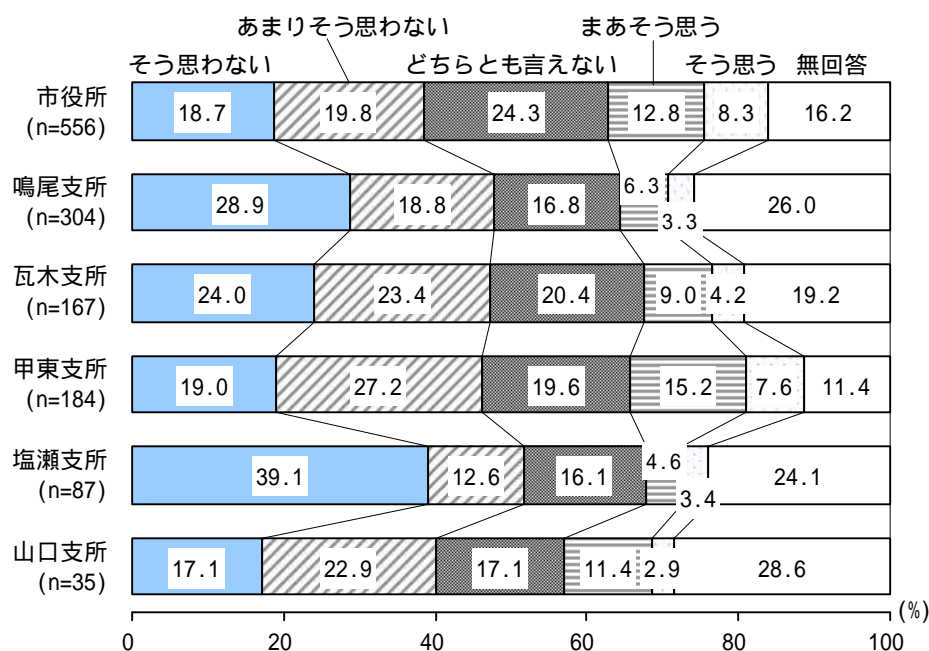
“ 交通の便が良い ” を年齢別で見ると、いずれの年代も「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合が多く、なかでも40歳～49歳は50.4%と半数を占めている。しかし、70歳以上では他の年代に比べ「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合（31.9%）は低く、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合（22.1%）が高くなっている。(図16-1- -2)

【図16-1- -2 年齢別 中央体育館に対する評価（ 交通の便が良い ）】



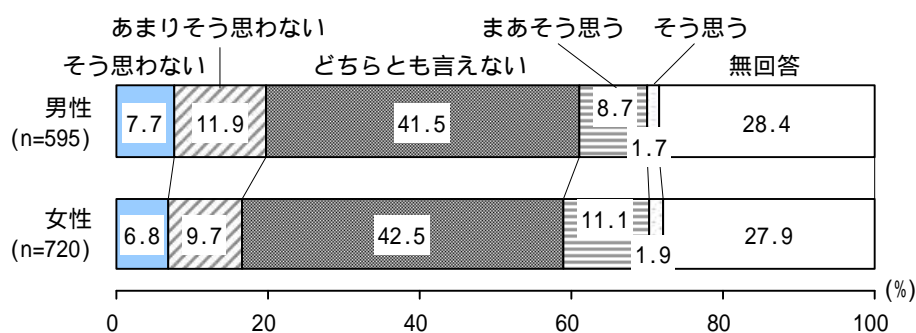
“ 交通の便が良い ” を居住地区別でみると、いずれの地区も「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合が多く、特に塩瀬支所は「そう思わない」が39.1%と高い。一方、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合では市役所（21.1%）と甲東支所（22.8%）が2割台を占めている。（図16-1- -3）

【図16-1- -3 居住地区別 中央体育館に対する評価（ 交通の便が良い）】



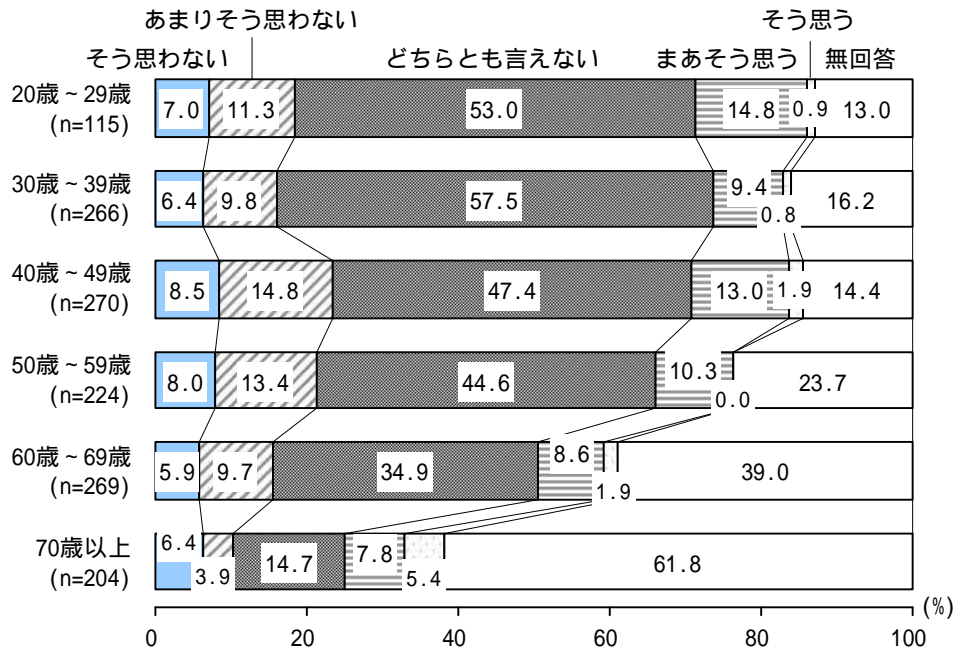
“ 開館日や開館時間が利用しやすい ” を性別でみると、男女とも「どちらとも言えない」が4割台で最も多い。また、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合は、女性（16.5%）より男性（19.6%）のほうが高く、一方「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合は、男性（10.4%）より女性（13.0%）のほうが高くなっている。（図16-1- -1）

【図16-1- -1 性別 中央体育館に対する評価（ 開館日や開館時間が利用しやすい）】



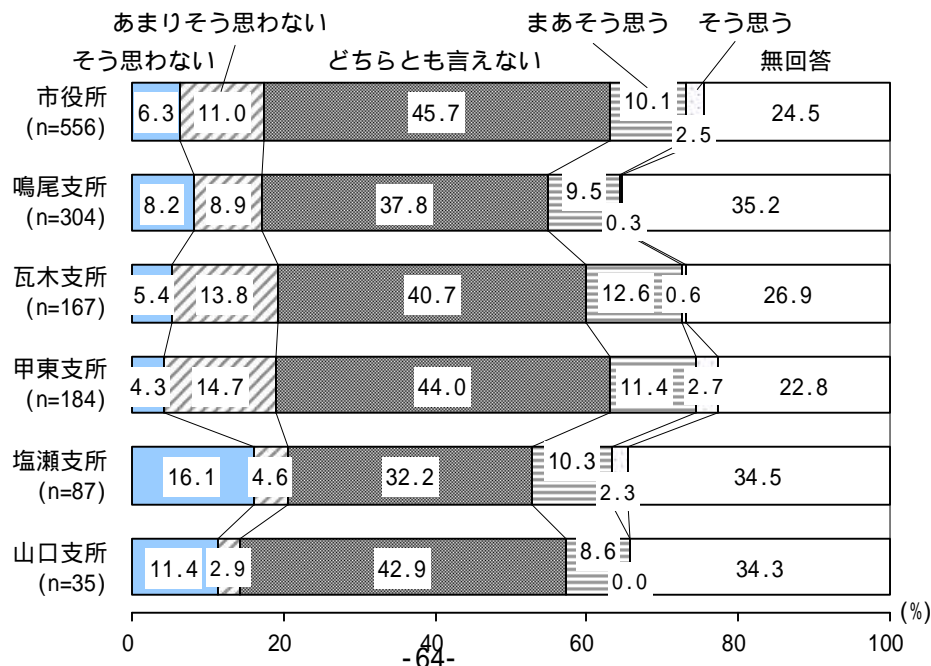
“ 開館日や開館時間が利用しやすい ” を年齢別でみると、いずれの年代も「どちらとも言えない」が最も多い。また、70歳以上は「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合(10.3%)より「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合(13.2%)のほうが多く、それ以外の年代では「まあそう思う」と「そう思う」より「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多くなっており、なかでも40歳～59歳の年代では2割台を占めている。(図16-1- -2)

【図16-1- -2 年齢別 中央体育館に対する評価(開館日や開館時間が利用しやすい)】



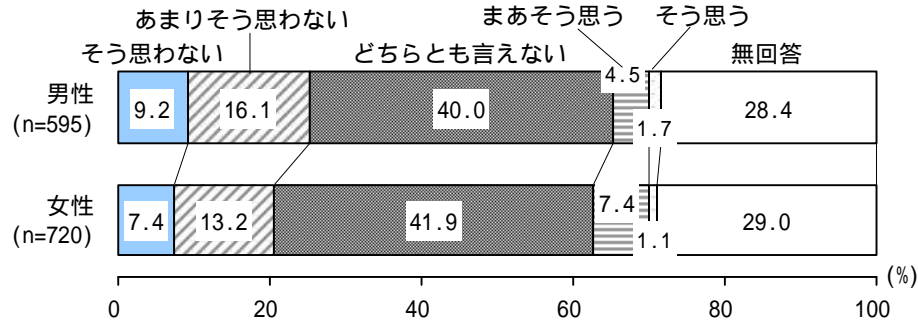
“ 開館日や開館時間が利用しやすい ” を居住地区別でみると、いずれの地区も「どちらとも言えない」が最も多く、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合に比べ「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多い。また、「そう思わない」は、塩瀬支所が16.1%と他の地区に比べ高くなっている。(図16-1- -3)

【図16-1- -3 居住地区別 中央体育館に対する評価(開館日や開館時間が利用しやすい)】



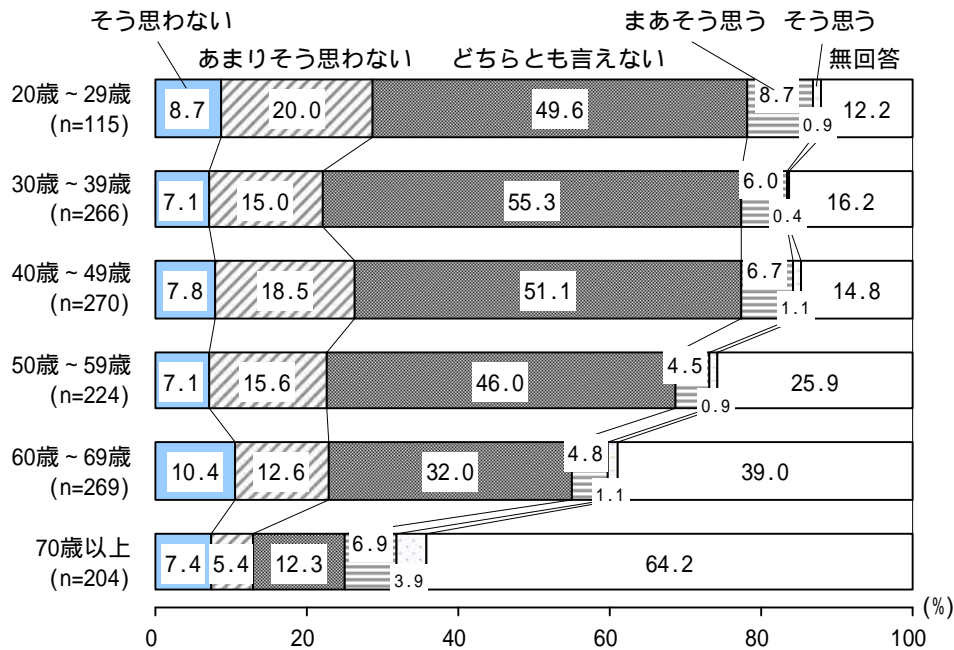
“ 利用したいプログラムが開催されている ” を性別でみると、男女とも「どちらとも言えない」が4割台で最も多い。また、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合では女性（20.6%）より男性（25.3%）のほうが4.7ポイント高く、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合では男性（6.2%）より女性（8.5%）のほうが3.3ポイント高い。（図16-1- -1）

【図16-1- -1 性別 中央体育館に対する評価（ 利用したいプログラムが開催されている ）】



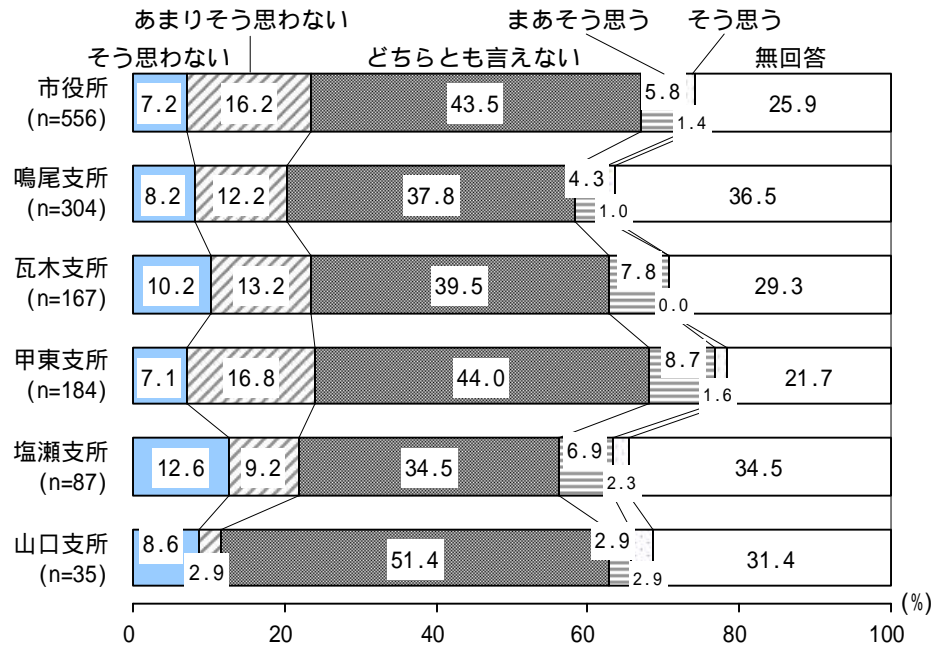
“ 利用したいプログラムが開催されている ” を年齢別でみると、いずれの年代も「どちらとも言えない」が最も多く、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合に比べ「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多い。また、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合は、20歳～69歳の年代で2割台を占めるが、70歳以上は12.8%と最も低くなっている。（図16-1- -2）

【図16-1- -2 性別 中央体育館に対する評価（ 利用したいプログラムが開催されている ）】



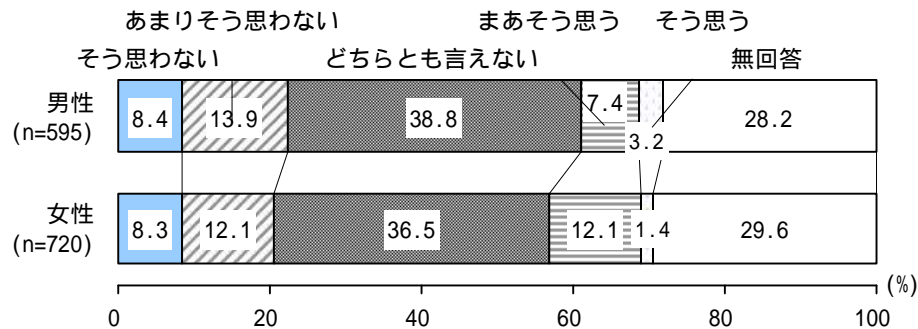
“ 利用したいプログラムが開催されている ” を居住地区別でみると、いずれの地区も「どちらとも言えない」が最も多い。また、いずれの地区も「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合が2割台に対し、山口支所は11.5%と最も低くなっている。(図16-1- -3)

【図16-1- -3 性別 中央体育館に対する評価(利用したいプログラムが開催されている)】



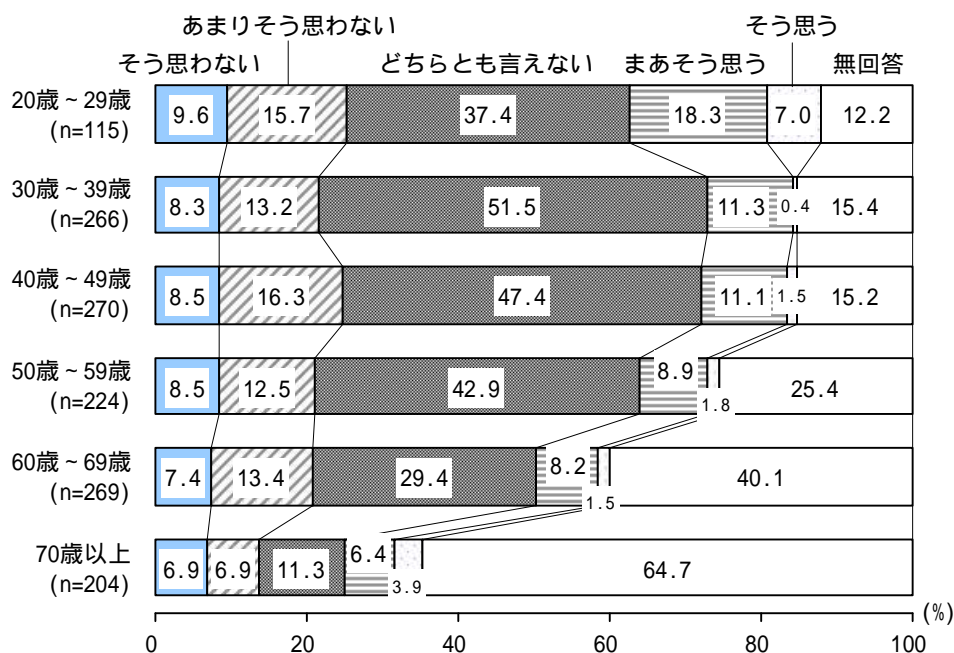
“ 利用したい運動種目が実施できる ” を性別でみると、男女とも「どちらとも言えない」が4割弱で最も多い。また、男性は女性に比べ「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合が高く、一方、女性は男性に比べ「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合が高くなっている。(図16-1- -1)

【図16-1- -1 性別 中央体育館に対する評価(利用したい運動種目が実施できる)】



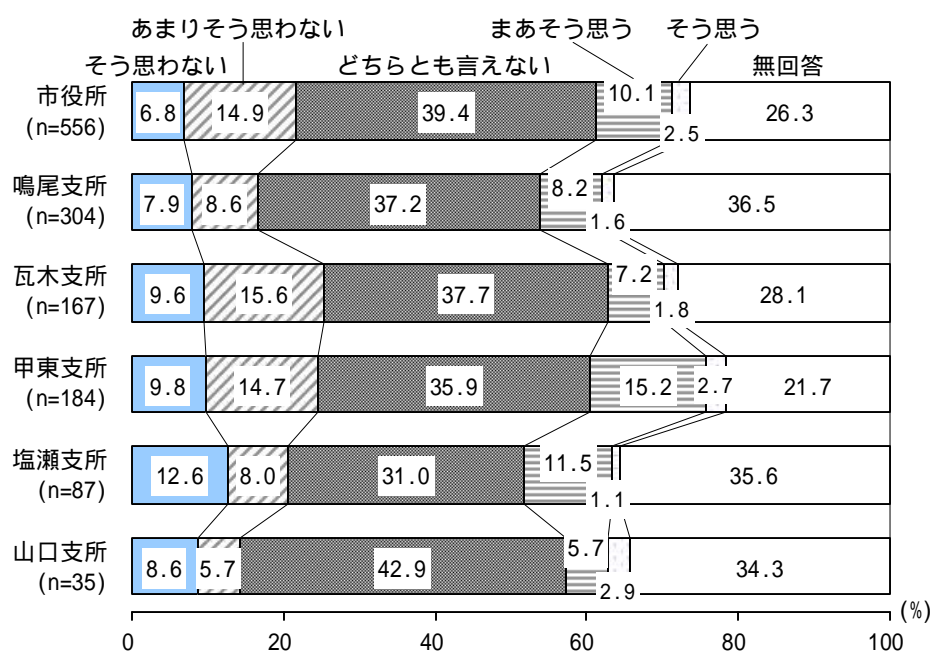
“ 利用したい運動種目が実施できる ” を年齢別でみると、いずれの年代も「どちらとも言えない」が最も多い。また、20歳～29歳では「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合（24.3%）より「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合（25.3%）のほうが多く、それ以外の年代は「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多い。（図16-1- 2）

【図16-1- 2 年齢別 中央体育館に対する評価（ 利用したい運動種目が実施できる ）】



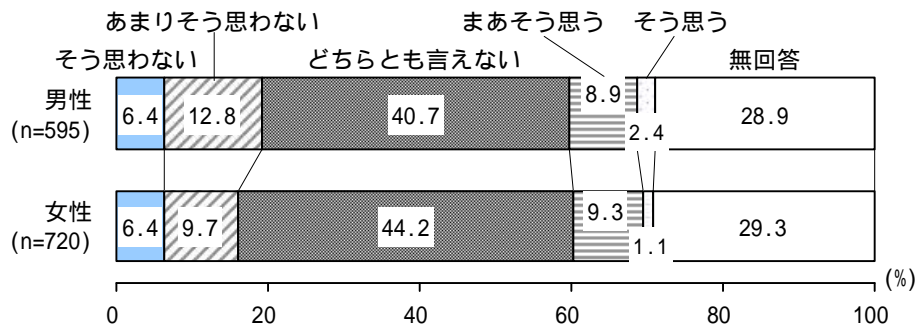
“ 利用したい運動種目が実施できる ” を居住地区別でみると、いずれの地区も「どちらとも言えない」が最も多い。また、甲東支所は「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合が17.9%で他の地区に比べ割合が高くなっている。（図16-1- 3）

【図16-1- 3 居住地区別 中央体育館に対する評価（ 利用したい運動種目が実施できる ）】



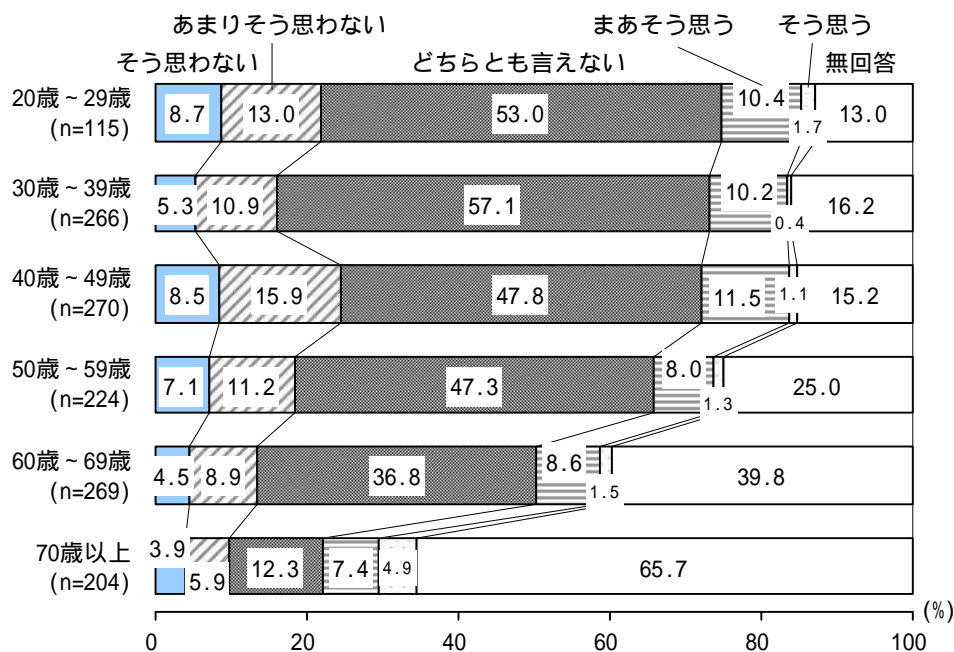
“ 施設の各種機器・設備が整備されている ” を性別でみると、男女とも「どちらとも言えない」が4割台で最も多い。また、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合では女性(16.1%)より男性(19.2%)のほうが3.1ポイント高くなっている。(図16-1- -1)

【図16-1- -1 性別 中央体育館に対する評価(施設の各種機器・設備が整備されている)】



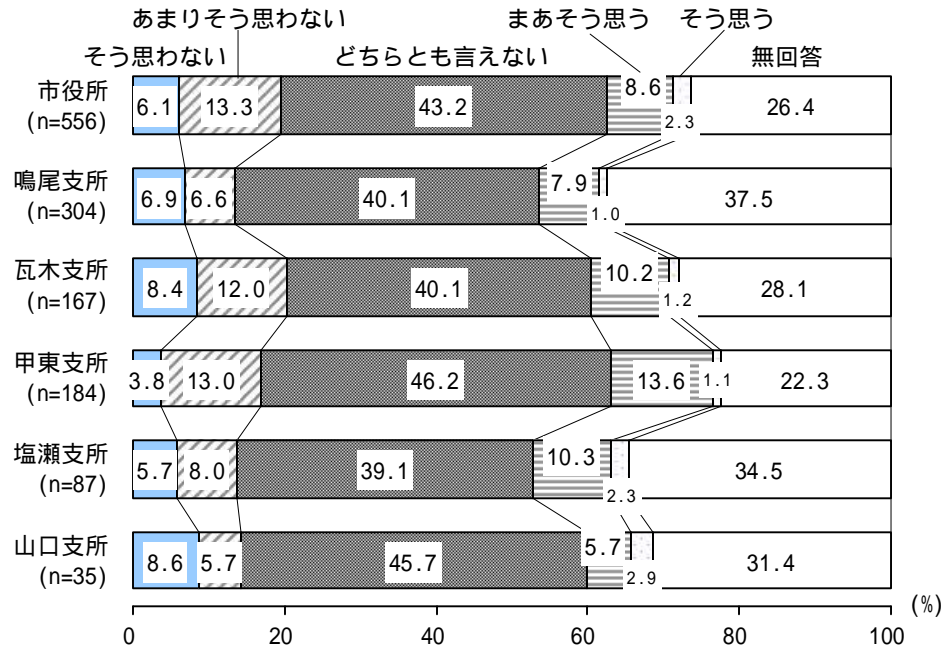
“ 施設の各種機器・設備が整備されている ” を年齢別でみると、いずれの年代も「どちらとも言えない」が最も多い。また、70歳以上では「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合(9.8%)より「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合(12.3%)のほうが多く、それ以外の年代は「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多い。なかでも、20歳~29歳(21.7%)と40歳~49歳(24.4%)は2割台を占めている。(図16-1- -2)

【図16-1- -2 年齢別 中央体育館に対する評価(施設の各種機器・設備が整備されている)】



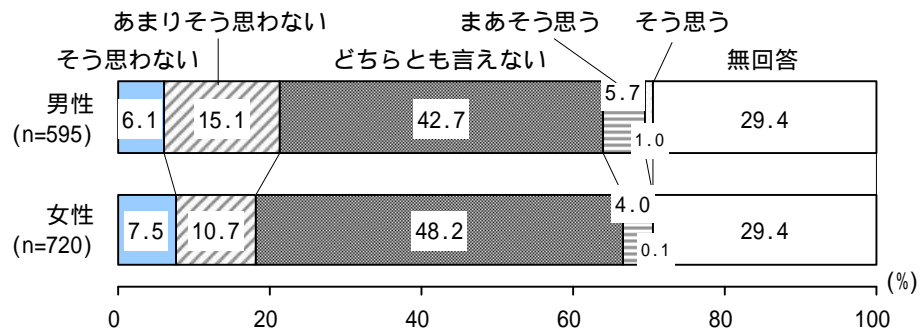
“ 施設の各種機器・設備が整備されている ” を居住地区別でみると、いずれの地区も「どちらとも言えない」が4割前後で最も多く、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合に比べ「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多い。(図16-1- -3)

【図16-1- -3 居住地区別 中央体育館に対する評価(施設の各種機器・設備が整備されている)】



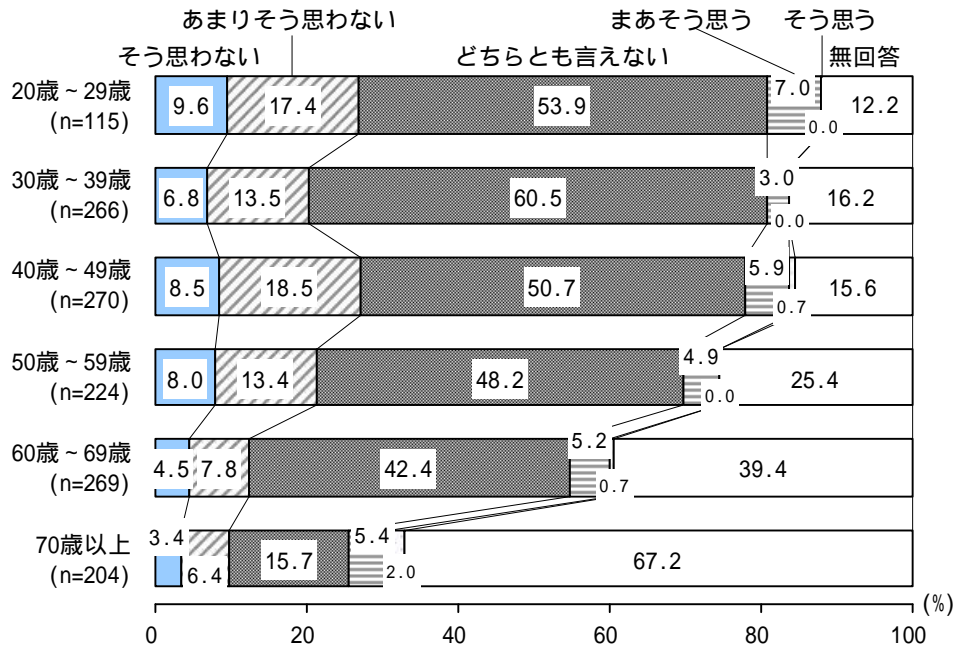
“ 施設の各種機器・設備のレベルが高い ” を性別でみると、男女とも「どちらとも言えない」が4割台で最も多い。また、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合では女性 (18.2%) より男性 (21.2%) のほうが3.0ポイント高くなっている。(図16-1- -1)

【図16-1- -1 性別 中央体育館に対する評価(施設の各種機器・設備のレベルが高い)】



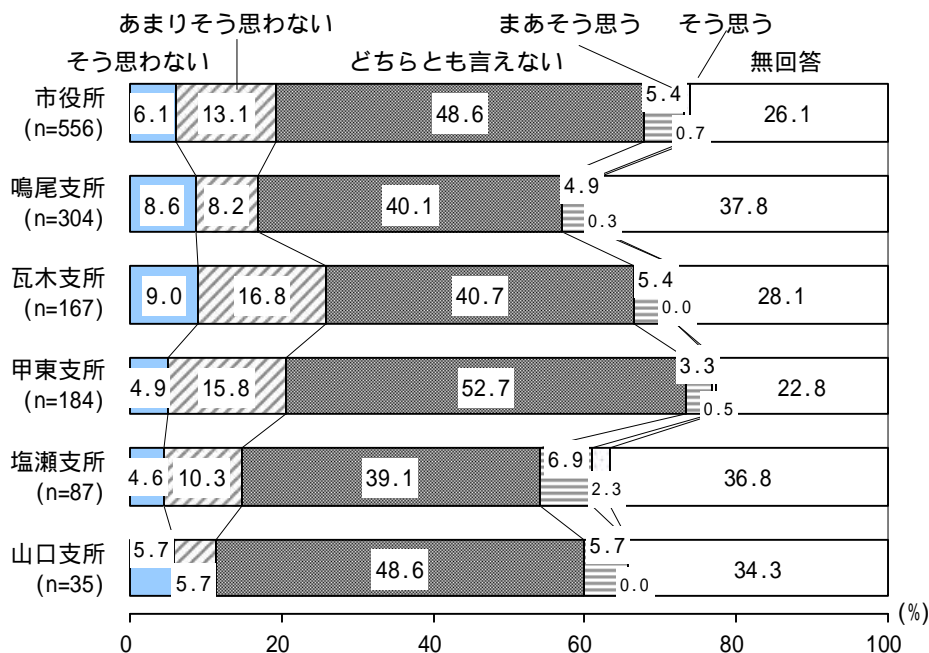
“ 施設の各種機器・設備のレベルが高い ” を年齢別でみると、いずれの年代も「どちらとも言えない」が最も多く、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合に比べ「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多い。特に、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合では20歳～29歳と40歳～49歳がともに27.0%と高くなっている。(図16-1- 2)

【図16-1- 2 年齢別 中央体育館に対する評価 (施設の各種機器・設備のレベルが高い)】



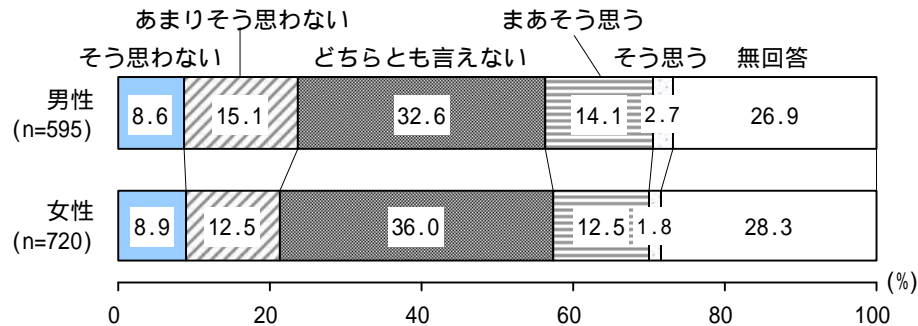
“ 施設の各種機器・設備のレベルが高い ” を居住地区別でみると、いずれの地区も「どちらとも言えない」が最も多く、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合に比べ「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多い。なかでも、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合は、瓦木支所が25.8%と高い。(図16-1- 3)

【図16-1- 3 居住地区別 中央体育館に対する評価 (施設の各種機器・設備のレベルが高い)】



“西宮市にふさわしい規模の施設である”を性別でみると、男女とも「どちらとも言えない」が最も多く、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合に比べ「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多い。(図16-1- -1)

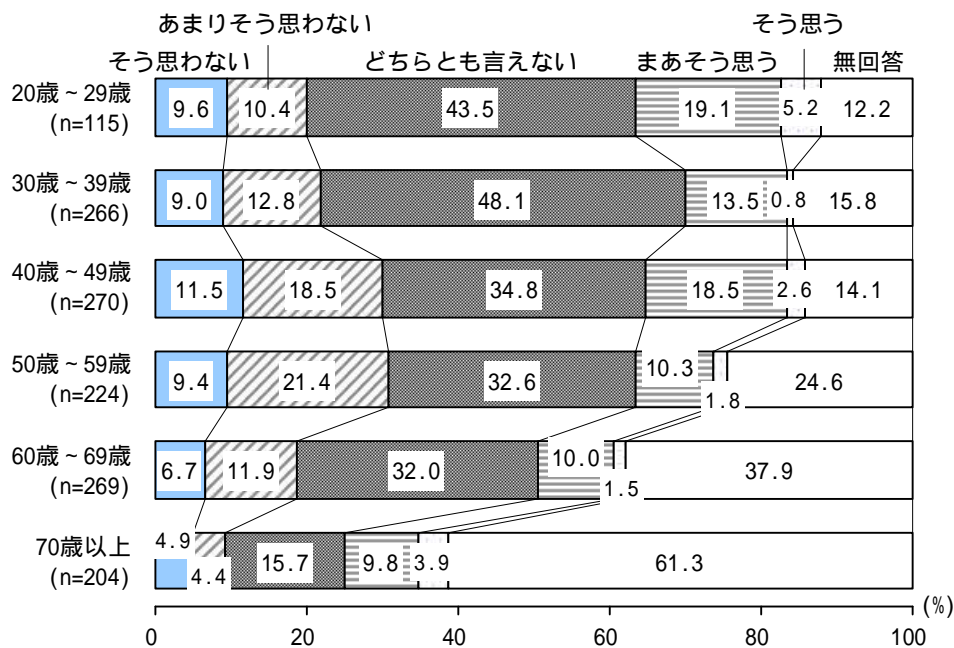
【図16-1- -1 性別 中央体育館に対する評価(西宮市にふさわしい規模の施設である)】



“西宮市にふさわしい規模の施設である”を年齢別でみると、いずれの年代も「どちらとも言えない」が最も多い。また、20歳～29歳と70歳以上では「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合に比べ「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合のほうが多く、特に20歳～29歳は24.3%と高い。一方、30歳～69歳の年代では「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合に比べ「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多く、40歳～59歳の年代は3割台を占めている。

(図16-1- -2)

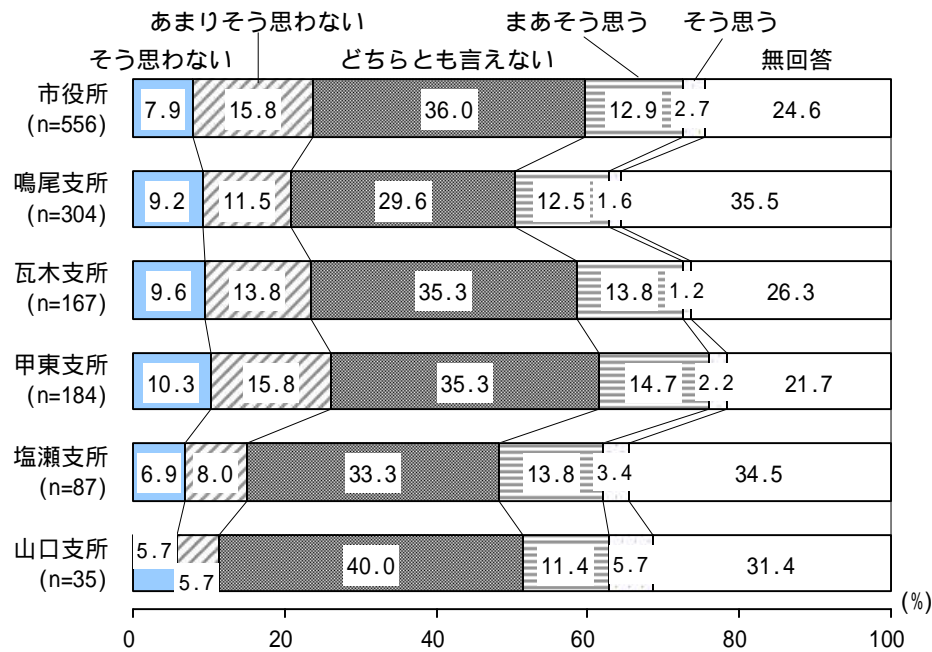
【図16-1- -2 年齢別 中央体育館に対する評価(西宮市にふさわしい規模の施設である)】



“ 西宮市にふさわしい規模の施設である ” を居住地区別でみると、いずれの地区も「どちらとも言えない」が最も多い。また、塩瀬支所と山口支所は「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合に比べ「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合のほうが多くなっており、それ以外の地区では「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多い。

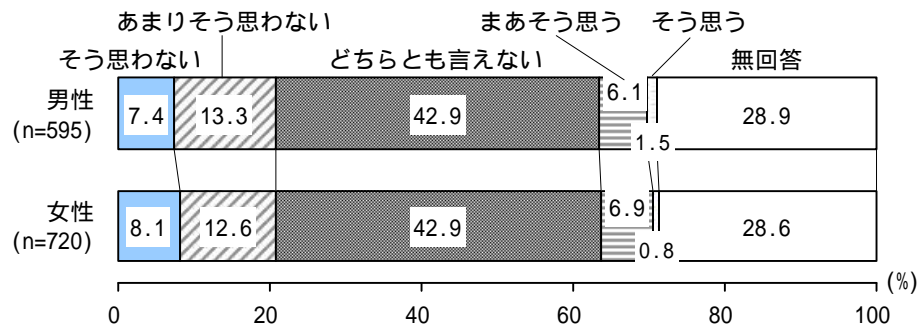
(図16-1- -3)

【図16-1- -3 居住地区別 中央体育館に対する評価 (西宮市にふさわしい規模の施設である)】



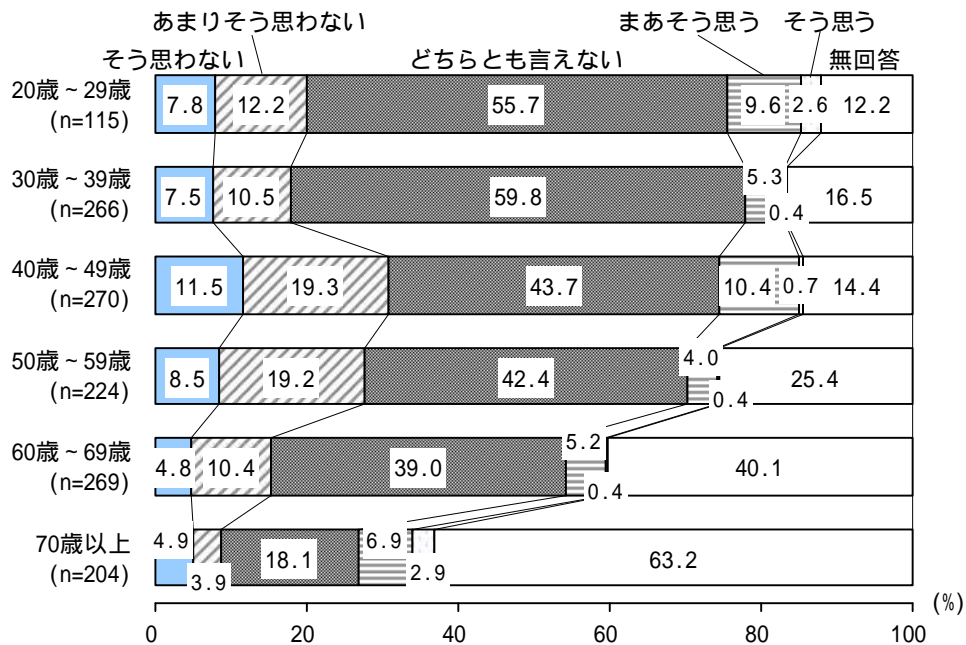
“ 西宮市にふさわしい機器・設備が整っている ” を性別でみると、男女とも「どちらとも言えない」が最も多く、男女の差はほとんど見られない。(図16-1- -1)

【図16-1- -1 性別 中央体育館に対する評価 (西宮市にふさわしい機器・設備が整っている)】



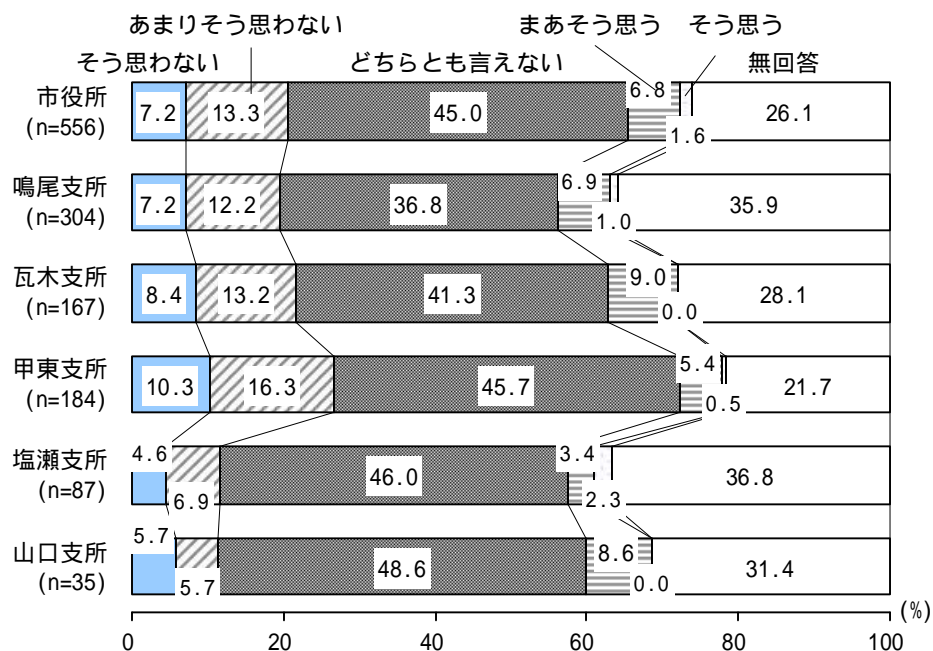
“ 西宮市にふさわしい機器・設備が整っている ” を年齢別でみると、いずれの年代も「どちらとも言えない」が最も多い。また、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合では、40歳～49歳（30.8%）と50歳～59歳（27.7%）が3割前後を占め高い割合となっている。（図16-1- 2）

【図16-1- 2 年齢別 中央体育館に対する評価（ 西宮市にふさわしい機器・設備が整っている ）】



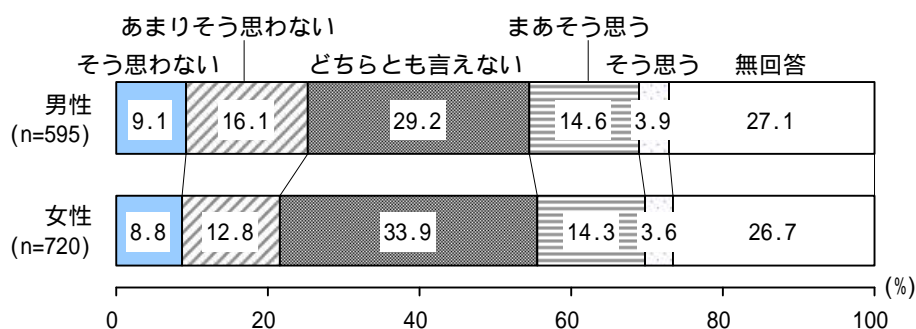
“ 西宮市にふさわしい機器・設備が整っている ” を居住地区別でみると、いずれの地区も「どちらとも言えない」が最も多い。また、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合では、甲東支所が26.6%と他の地区より割合が高くなっている。（図16-1- 3）

【図16-1- 3 居住地区別 中央体育館に対する評価（ 西宮市にふさわしい機器・設備が整っている ）】



“ 駐車場・緑地スペースなど周辺設備が整っている ”を性別でみると、男女とも「どちらとも言えない」が最も多い。また、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合は、女性（21.6%）より男性（25.2%）のほうが3.6ポイント高くなっている。（図16-1- 1）

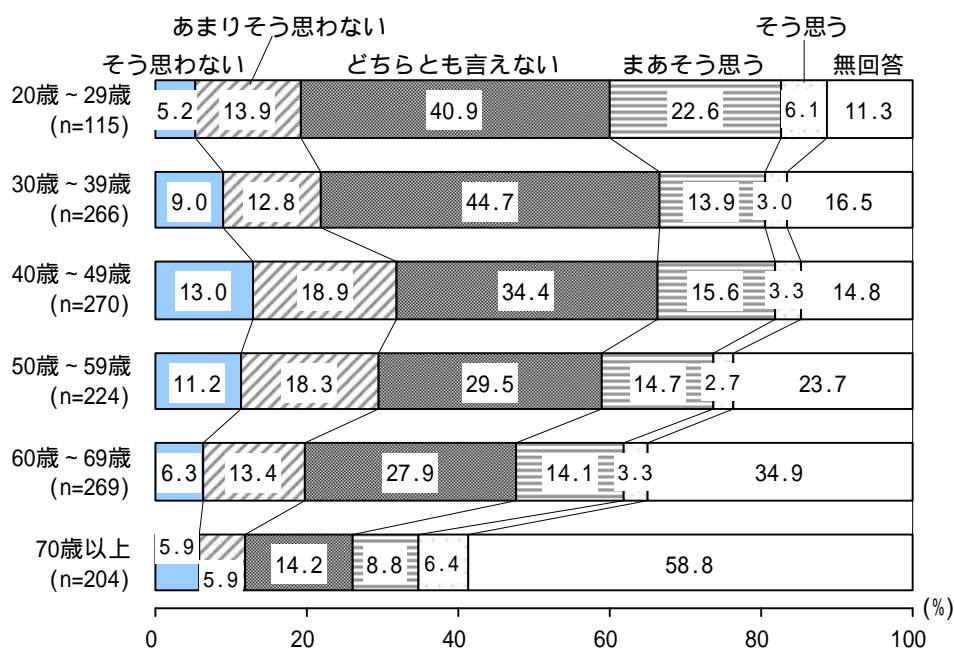
【図16-1- 1 性別 中央体育館に対する評価（ 駐車場・緑地スペースなど周辺設備が整っている ）】



“ 駐車場・緑地スペースなど周辺設備が整っている ”を年齢別でみると、いずれの年代も「どちらとも言えない」が最も多い。また、20歳～29歳と70歳以上は「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合に比べ「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合のほうが多く、特に20歳～29歳は28.7%と高い。一方、30歳～69歳の年代では「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多く、なかでも40歳～49歳は31.9%となっている。

（図16-1- 2）

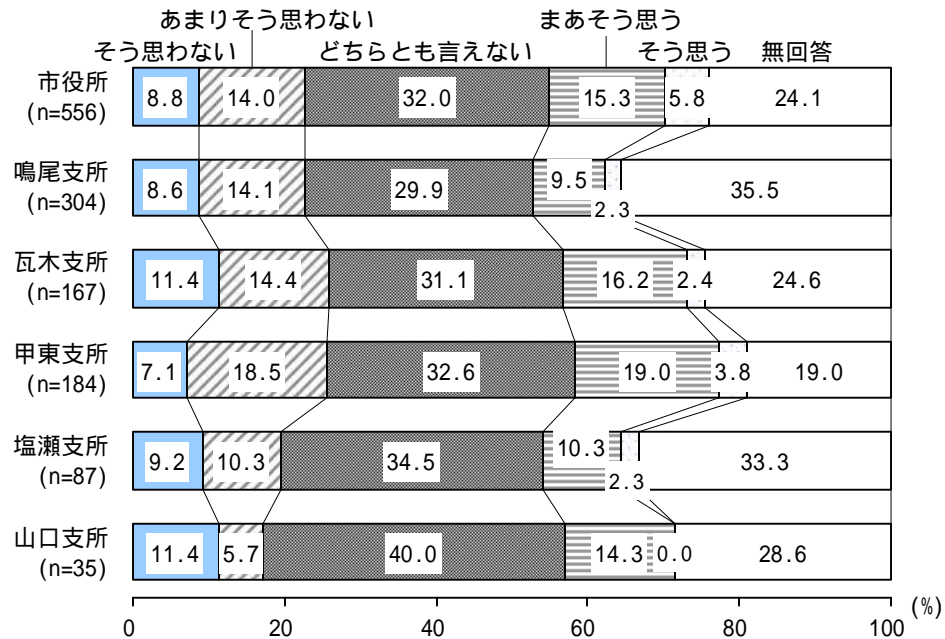
【図16-1- 2 年齢別 中央体育館に対する評価（ 駐車場・緑地スペースなど周辺設備が整っている ）】



“ 駐車場・緑地スペースなど周辺設備が整っている ” を居住地区別でみると、いずれの地区も「どちらとも言えない」が最も多く、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合が2割前後を占め、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合より多くなっている。

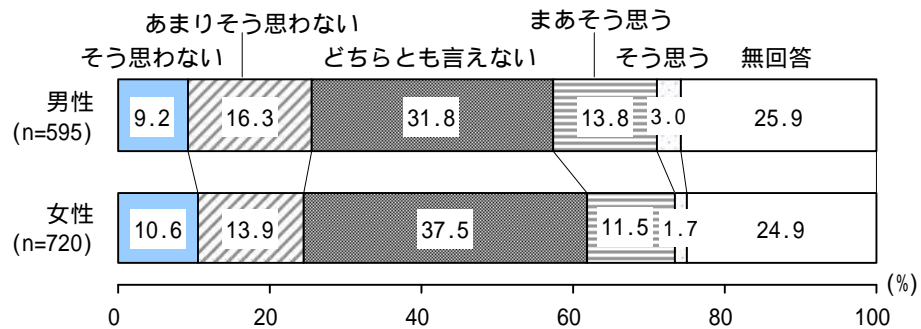
一方、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合は、市役所（21.1%）と甲東支所（22.8%）が2割台を占めている。（図16-1- -3）

【図16-1- -3 居住地区別 中央体育館に対する評価（ 駐車場・緑地スペースなど周辺設備が整っている ）】



“ 全体的にみて、利用したい施設である ” を性別でみると、男女とも「どちらとも言えない」が最も多く、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合に比べ「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合のほうが多い。また、「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合では女性（13.2%）より男性（16.8%）のほうが3.6ポイント高くなっている。（図16-1- -1）

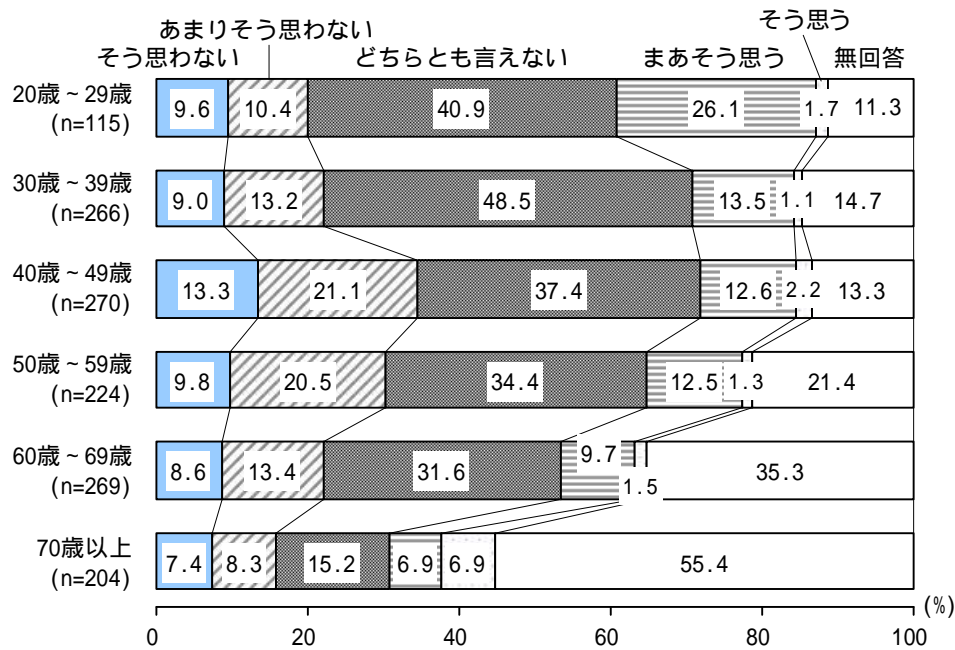
【図16-1- -1 性別 中央体育館に対する評価（ 全体的にみて、利用したい施設である ）】



“ 全体的にみて、利用したい施設である ” を年齢別でみると、いずれの年代も「どちらとも言えない」が最も多い。また、20歳～29歳では「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合（27.8%）が他の年代より割合が高く、一方で、40歳～49歳は「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合が34.4%と高くなっている。

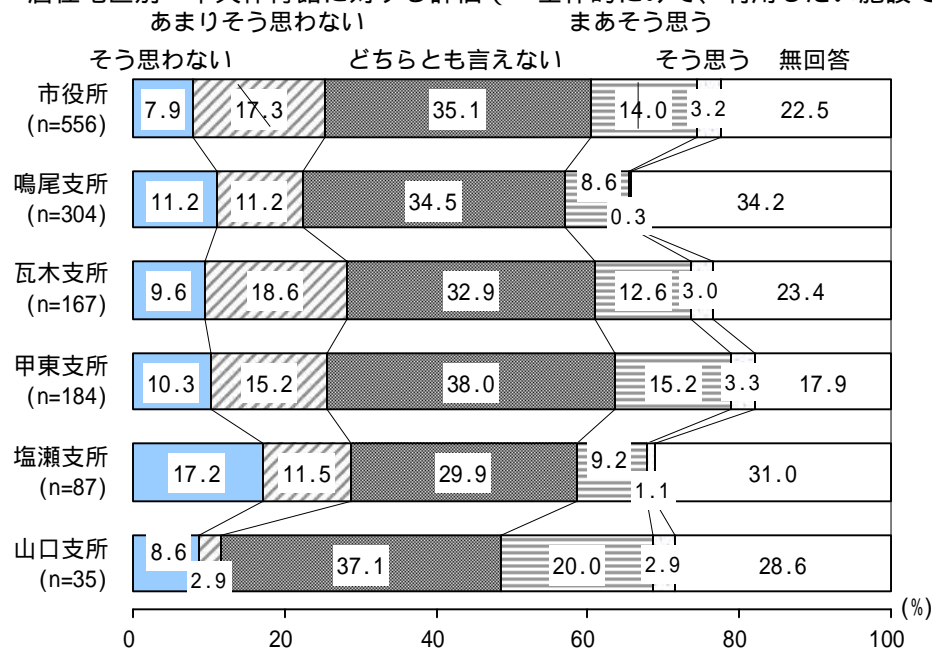
（図16-1- -2）

【図16-1- -2 年齢別 中央体育館に対する評価（ 全体的にみて、利用したい施設である ）】



“ 全体的にみて、利用したい施設である ” を居住地区別でみると、いずれの地区も「どちらとも言えない」が最も多い。また、山口支所では「まあそう思う」と「そう思う」を合わせた割合が22.9%と高く、それ以外の地区では「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた割合が2割台を占めている。なかでも、塩瀬支所では「そう思わない」が17.2%と他の地区に比べ割合が高くなっている。（図16-1- -3）

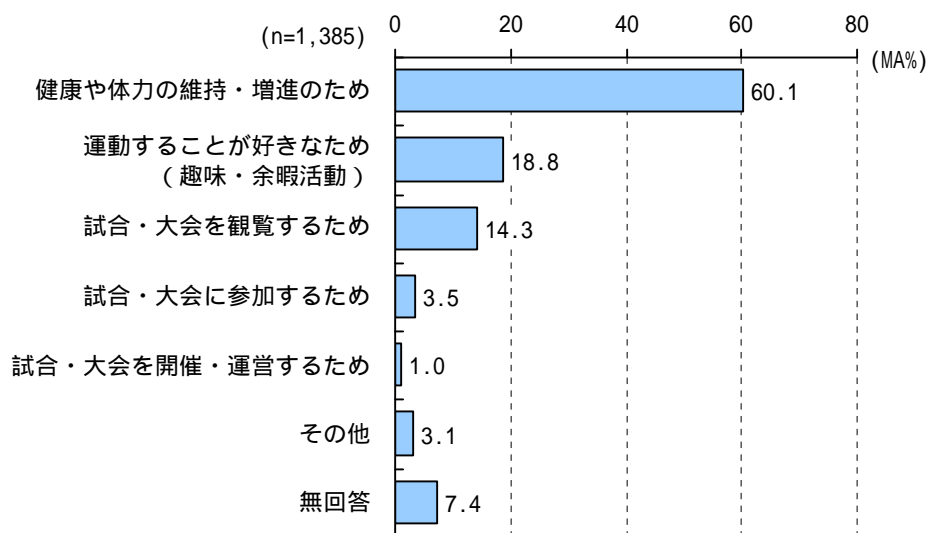
【図16-1- -3 居住地区別 中央体育館に対する評価（ 全体的にみて、利用したい施設である ）】



〔17〕市立体育施設の利用目的

問 16 今後、市立体育施設が整備された場合、あなたなら主にどのような目的で利用したいと思いますか。該当する項目 1 つに 印をつけて下さい。

【図17-1 市立体育施設の利用目的】

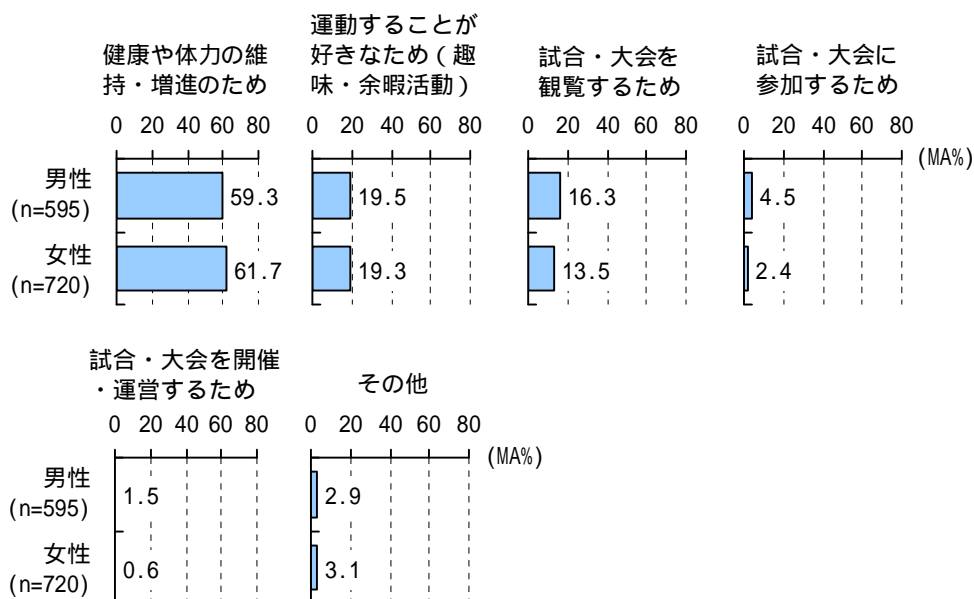


複数回答が多かったため、回答を全て有効とした。

市立体育施設の利用目的については、「健康や体力の維持・増進のため」が60.1%で最も多く、次いで「運動することが好きのため (趣味・余暇活動)」が18.8%、「試合・大会を観覧するため」が14.3%と続いている。(図17-1)

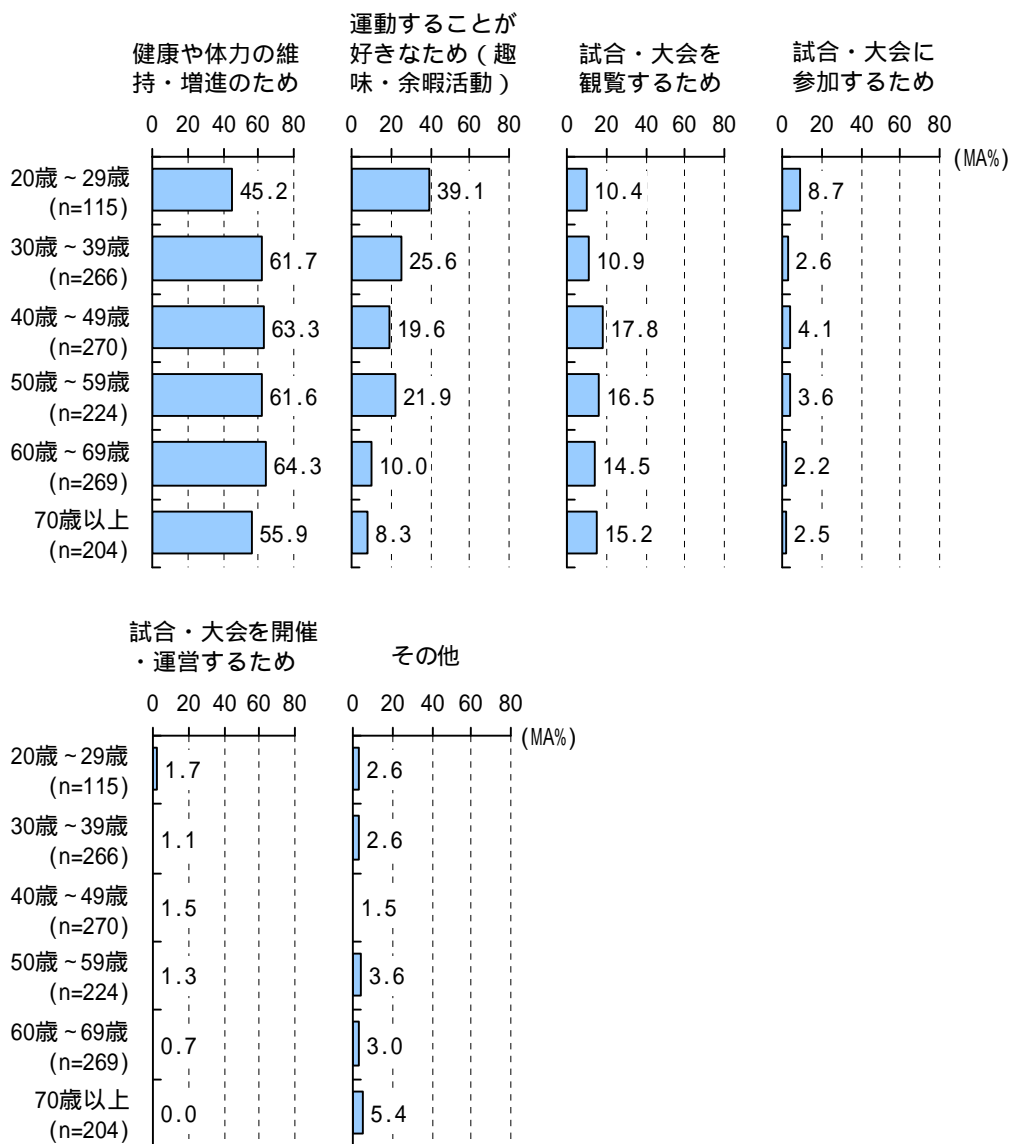
性別でみると、男女とも「健康や体力の維持・増進のため」が6割前後で最も多く、次いで「運動することが好きのため (趣味・余暇活動)」が2割弱となっており、男女の差はほとんど見られない。(図17-1-1)

【図17-1-1 性別 市立体育施設の利用目的】



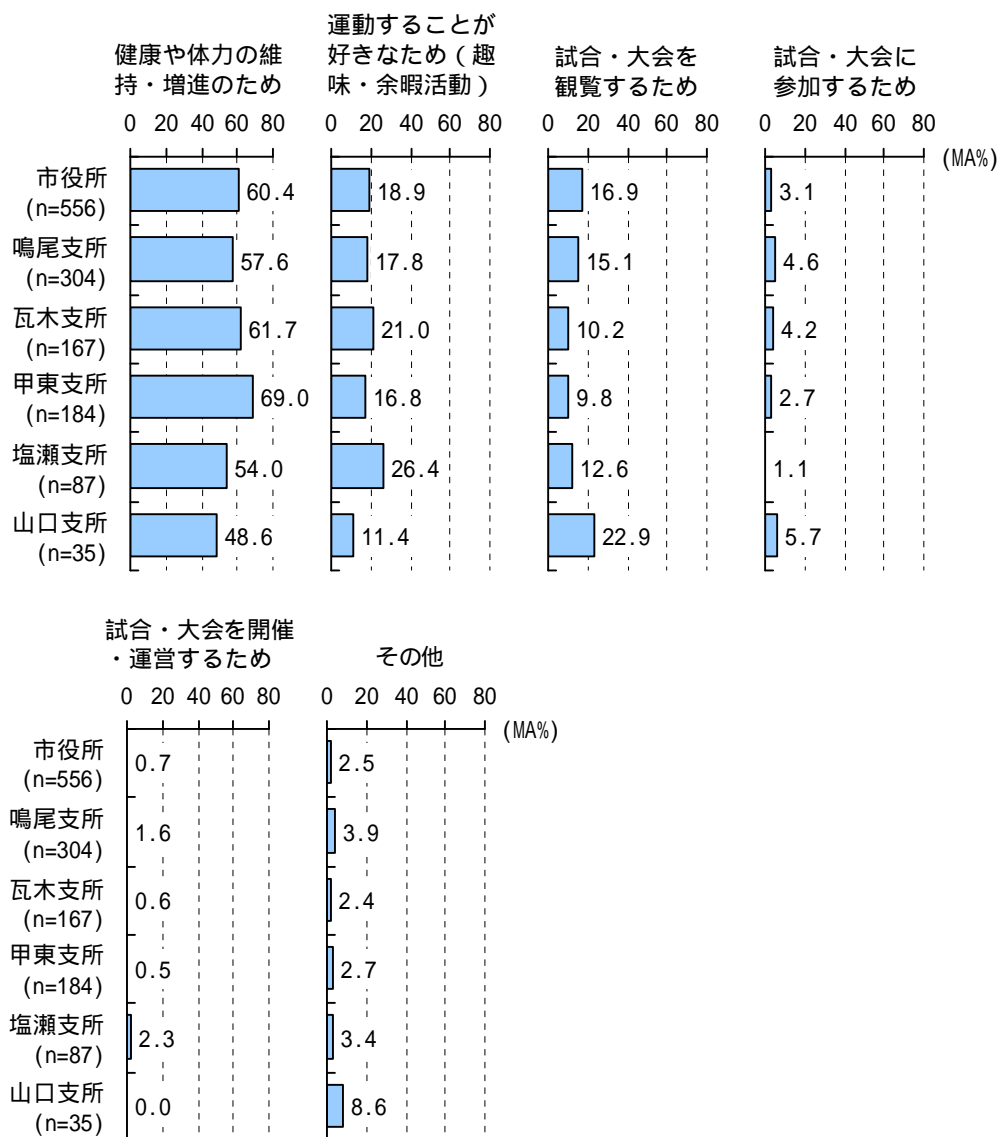
年齢別で見ると、いずれの年代も「健康や体力の維持・増進のため」が最も多くなっているが、20歳～29歳（45.2%）は他の年代に比べ割合が低くなっている。逆に、「運動することが好きなため（趣味・余暇活動）」は、20歳～29歳（39.1%）が最も高く、高齢になるほど低下している。（図17-1-2）

【図17-1-2 年齢別 市立体育施設の利用目的】



居住地区別でみると、いずれの地区も「健康や体力の維持・増進のため」が最も多く、なかでも甲東支所は69.0%と高い。また、「運動することが好きなため(趣味・余暇活動)」は塩瀬支所(26.4%)、「試合・大会を観覧するため」では山口支所(22.9%)が、それぞれ他の地区に比べ高い割合となっている。(図17-1-3)

【図17-1-3 居住地区別 市立体育施設の利用目的】

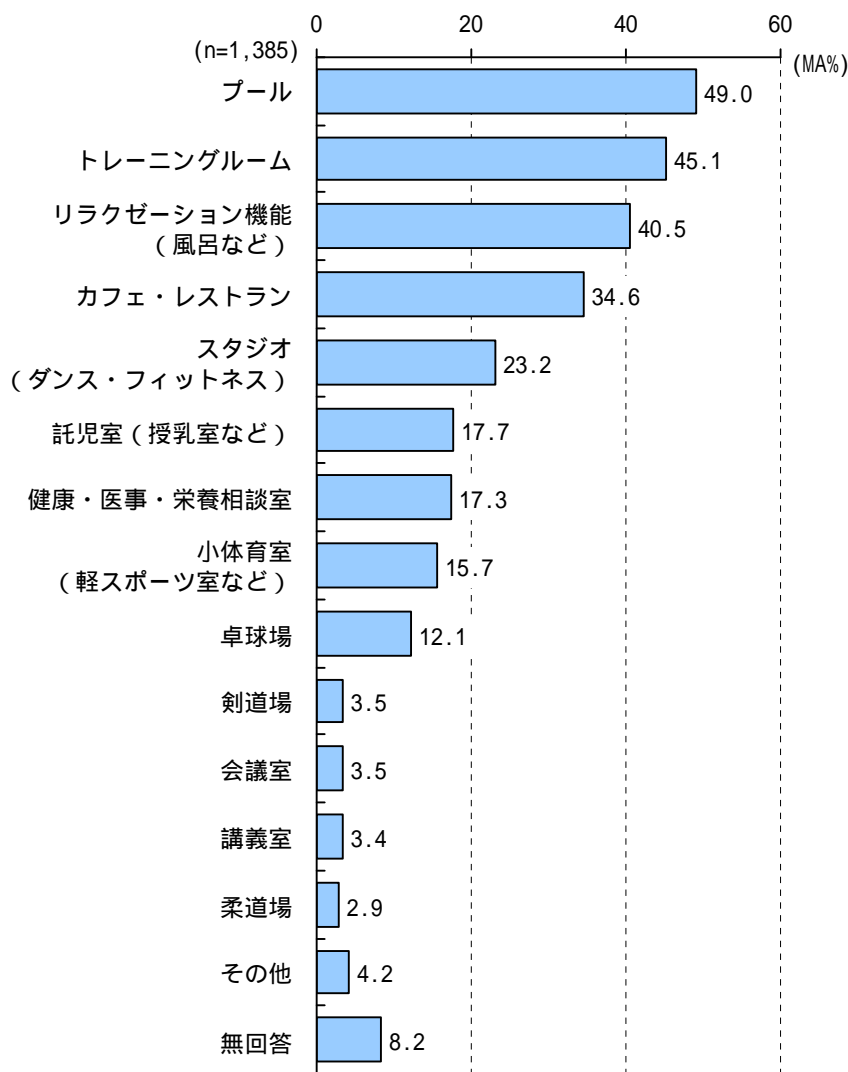


〔18〕希望する施設内容

市立体育館にあると良い施設

問 17 - 今後、市立体育館が整備された場合に、どのような施設があれば良いと思いますか。該当する項目に 印をつけて下さい。(いくつでも選択可)

【図18-1 市立体育館にあると良い施設】



市立体育館にあると良い施設については、「プール」が49.0%で最も多く、次いで「トレーニングルーム」が45.1%、「リラクゼーション機能(風呂など)」が40.5%、「カフェ・レストラン」が34.6%と続いている。(図18-1)

性別で見ると、男女とも「プール」が5割台で最も多く、これに次いで男性では「トレーニングルーム」も50.3%と高い割合となっている。(表18-1-1)

【表18-1-1 性別 市立体育館にあると良い施設(上位5項目)】

(MA%)					
性別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=595)	プール 50.4	トレーニングルーム 50.3	リラクゼーション機能(風呂など) 38.8	カフェ・レストラン 30.3	健康・医事・栄養相談室 15.8
女性 (n=720)	プール 50.0	リラクゼーション機能(風呂など) 42.5	トレーニングルーム 42.2	カフェ・レストラン 40.3	スタジオ(ダンス・フィットネス) 33.9

年齢別で見ると、「プール」が20歳～49歳の年代で6割弱となっているが、高齢になるほど割合が低下している。また、「トレーニングルーム」も若い年代で5割前後と高く、50歳～59歳が58.5%と最も高い。(表18-1-2)

【表18-1-2 年齢別 市立体育館にあると良い施設(上位5項目)】

(MA%)					
年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳～29歳 (n=115)	プール 56.5	トレーニングルーム 47.8	カフェ・レストラン/リラクゼーション機能(風呂など) 37.4	スタジオ(ダンス・フィットネス) 28.7	
30歳～39歳 (n=266)	プール 58.3	トレーニングルーム 48.9	リラクゼーション機能(風呂など) 43.6	託児室(授乳室など) 36.8	カフェ・レストラン 34.6
40歳～49歳 (n=270)	プール 58.9	トレーニングルーム 50.4	リラクゼーション機能(風呂など) 50.0	カフェ・レストラン 38.1	スタジオ(ダンス・フィットネス) 25.9
50歳～59歳 (n=224)	トレーニングルーム 58.5	プール 50.0	リラクゼーション機能(風呂など) 46.9	カフェ・レストラン 37.9	スタジオ(ダンス・フィットネス) 26.3
60歳～69歳 (n=269)	トレーニングルーム 38.7	プール 38.3	リラクゼーション機能(風呂など) 33.5	カフェ・レストラン 32.7	健康・医事・栄養相談室 22.7
70歳以上 (n=204)	プール 36.8	カフェ・レストラン 30.9	リラクゼーション機能(風呂など) 28.9	トレーニングルーム 27.5	健康・医事・栄養相談室 19.1

居住地区別でみると、鳴尾支所と山口支所では「トレーニングルーム」が最も多く、それ以外の地区は「プール」が最も多い。なかでも甲東支所は58.2%と高く、「リラクゼーション機能（風呂など）」（51.1%）も他の地区と比べ高くなっている。（表18-1-3）

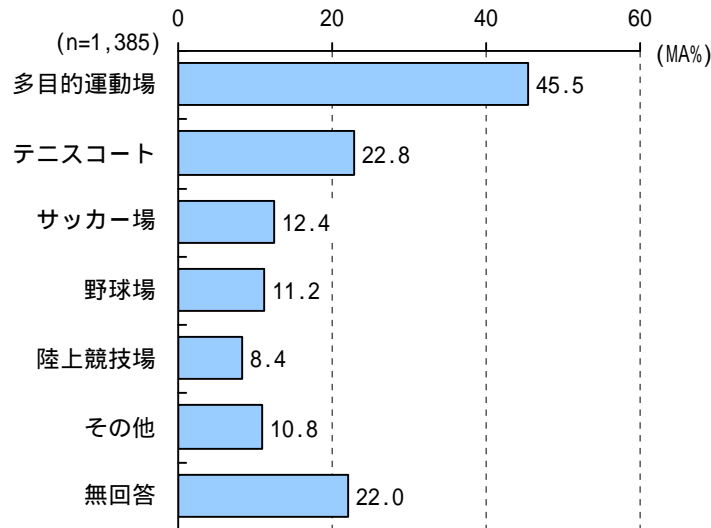
【表18-1-3 居住地区別 市立体育館にあると良い施設（上位5項目）】

居住地区	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
市役所 (n=556)	プール 52.2	トレーニング ルーム 46.2	リラクゼーシ ョン機能（風呂 など） 36.3	カフェ・レスト ラン 35.4	スタジオ（ダン ス・フィットネ ス） 23.2
鳴尾支所 (n=304)	トレーニング ルーム 45.7	プール 44.7	リラクゼーシ ョン機能（風呂 など） 44.1	カフェ・レスト ラン 36.5	スタジオ（ダン ス・フィットネ ス） 24.3
瓦木支所 (n=167)	プール 47.9	リラクゼーシ ョン機能（風呂 など） 44.9	トレーニング ルーム 43.1	カフェ・レスト ラン 34.1	スタジオ（ダン ス・フィットネ ス）/託児室 （授乳室など） 22.8
甲東支所 (n=184)	プール 58.2	リラクゼーシ ョン機能（風呂 など） 51.1	トレーニング ルーム 47.8	カフェ・レスト ラン 35.9	スタジオ（ダン ス・フィットネ ス） 24.5
塩瀬支所 (n=87)	プール 47.1	トレーニング ルーム 44.8	カフェ・レスト ラン 32.2	リラクゼーシ ョン機能（風呂 など） 31.0	スタジオ（ダン ス・フィットネ ス） 21.8
山口支所 (n=35)	トレーニング ルーム 37.1	プール/カフェ・レストラン/リラクゼーシ ョン機能（風呂など）		28.6	スタジオ（ダン ス・フィットネ ス） 22.9

体育館以外にあれば良い施設

問 17 - 体育館以外の市立体育施設に、どのような施設があれば良いと思いますか。
該当する項目に 印をつけて下さい。(いくつでも選択可)

【図18-2 体育館以外にあれば良い施設】

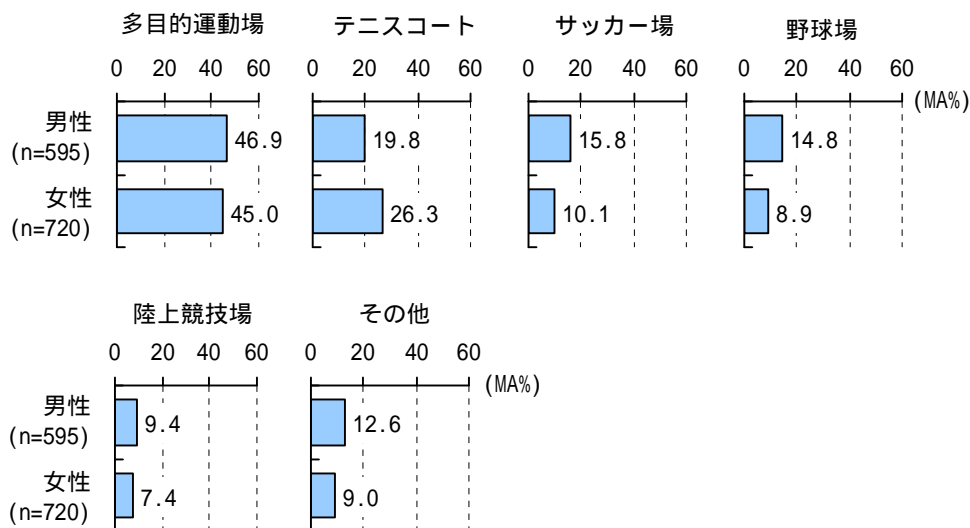


体育館以外にあれば良い施設については、「多目的運動場」が45.5%で最も多く、次いで「テニスコート」が22.8%、「サッカー場」が12.4%、「野球場」が11.2%と続いている。(図18-2)

性別でみると、男女とも「多目的運動場」が4割台で最も多くなっている。

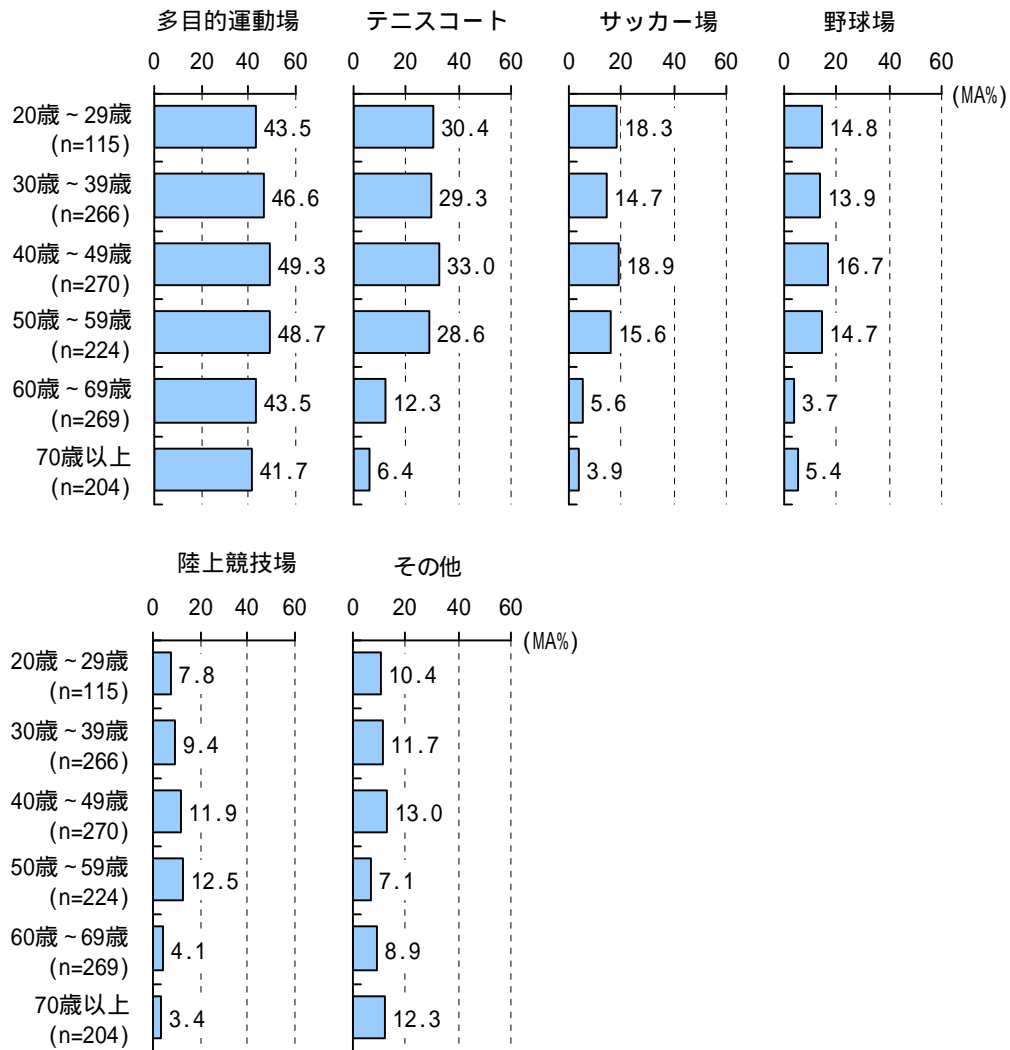
また、女性は「テニスコート」(26.3%)、男性は「サッカー場」(15.8%)と「野球場」(14.8%)が、それぞれ高くなっている。(図18-2-1)

【図18-2-1 性別 体育館以外にあれば良い施設】



年齢別でみると、いずれの年代も「多目的運動場」が4割台で最も多くなっている。次いで「テニスコート」が多く、とくに20歳～59歳の年代で3割前後と高いのに対し、60歳以上の年代では1割前後に低下している。「サッカー場」や「野球場」も同様に60歳以上の年代で低くなっている。(図18-2-2)

【図18-2-2 年齢別 体育館以外にあれば良い施設】



居住地区別でみると、いずれの地区も「多目的運動場」が最も多くなっているが、塩瀬支所（36.8%）は他の地区に比べ割合が低くなっている。次いで「テニスコート」が多く、山口支所（14.3%）は他の地区に比べ割合が低くなっている。

（図18-2-3）

【図18-2-3 居住地区別 体育館以外にあれば良い施設】

